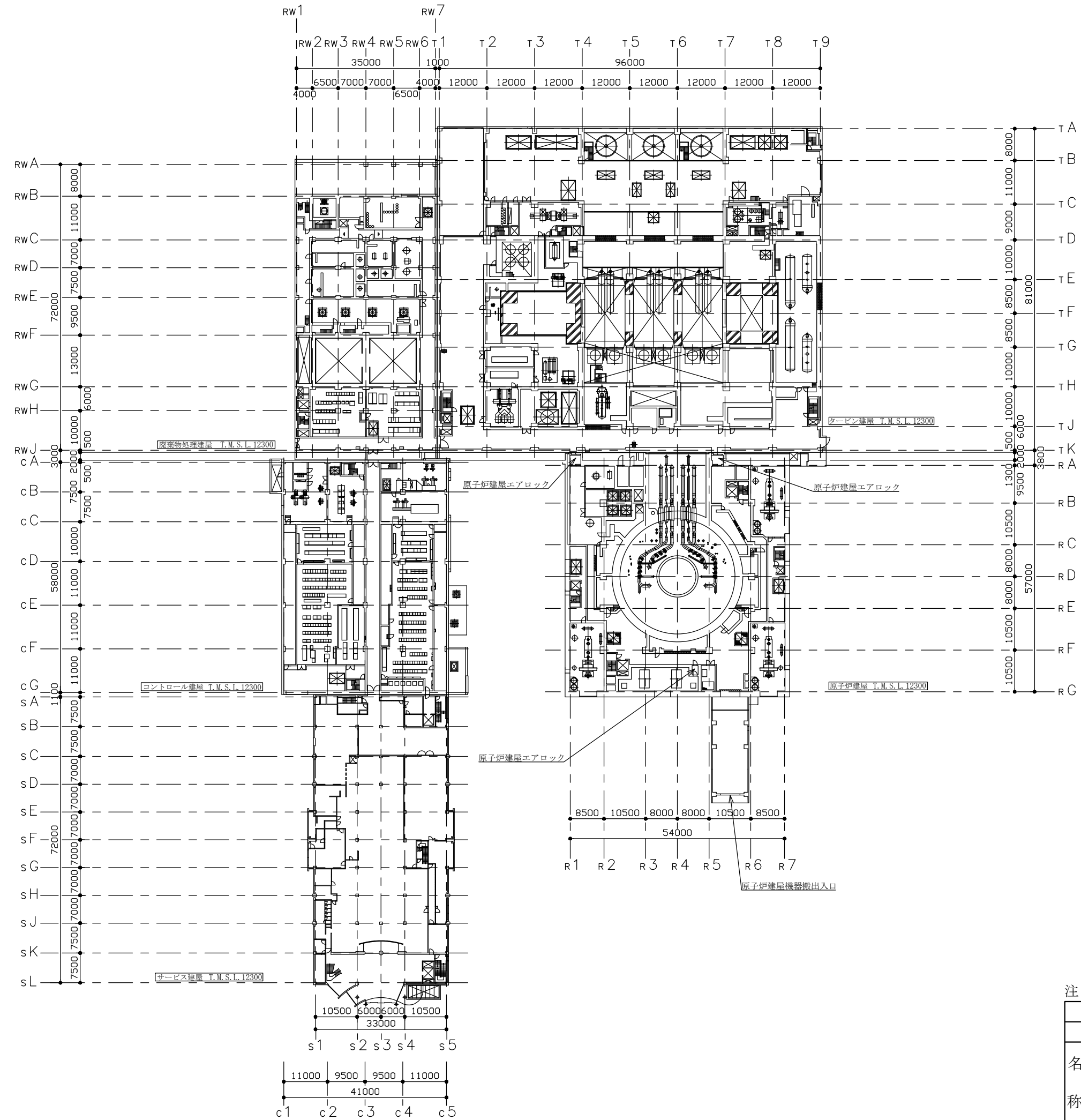


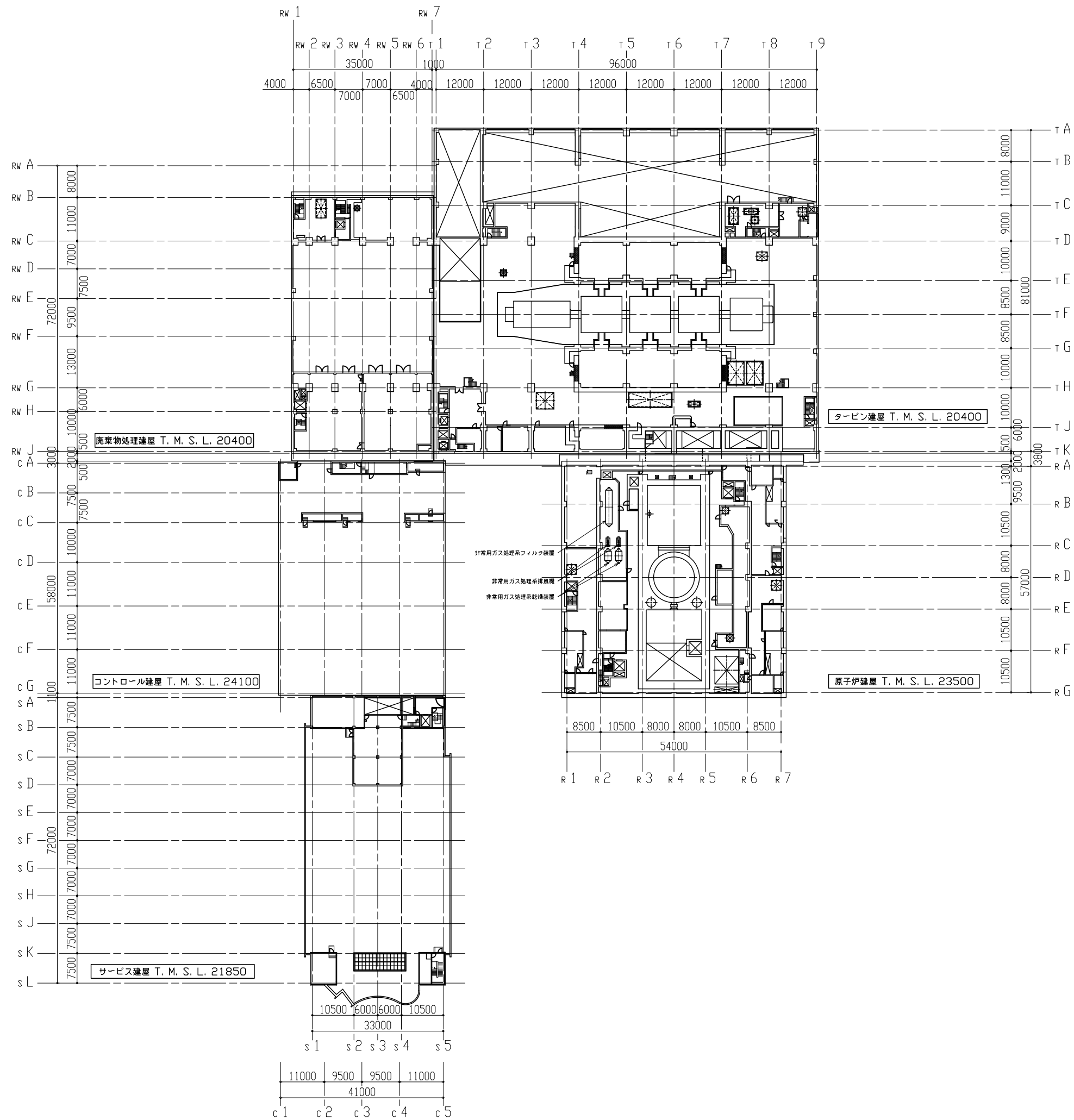
8.3.5 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備
並びに格納容器再循環設備

8.3.5.1 非常用ガス処理系



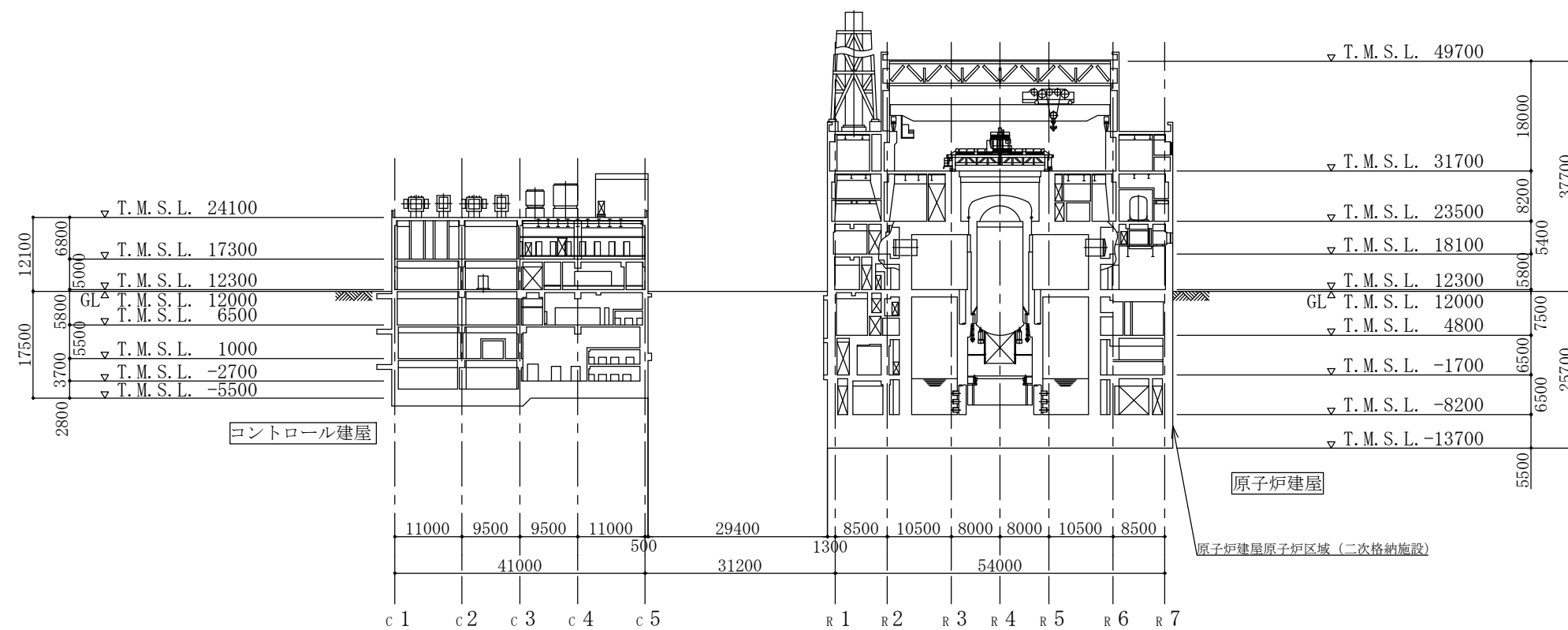
注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-1-1-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る機器の配置を明示した図面（その1）
東京電力ホールディングス株式会社	

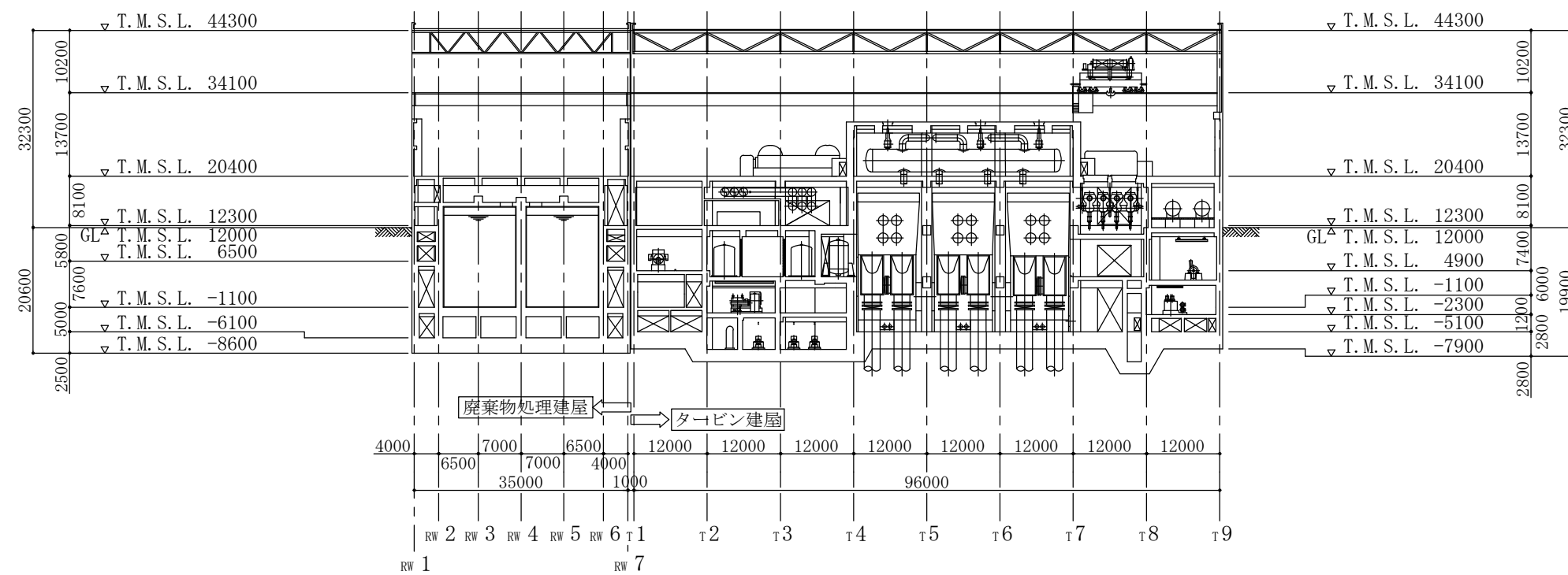


注：寸法はmmを示す。

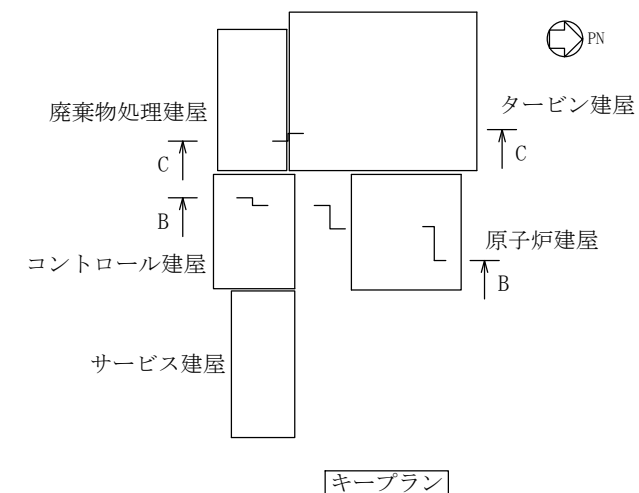
第8-3-5-1-1-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る機器の配置を明示した図面（その2）
東京電力ホールディングス株式会社	
SGTS	1222



B-B断面図

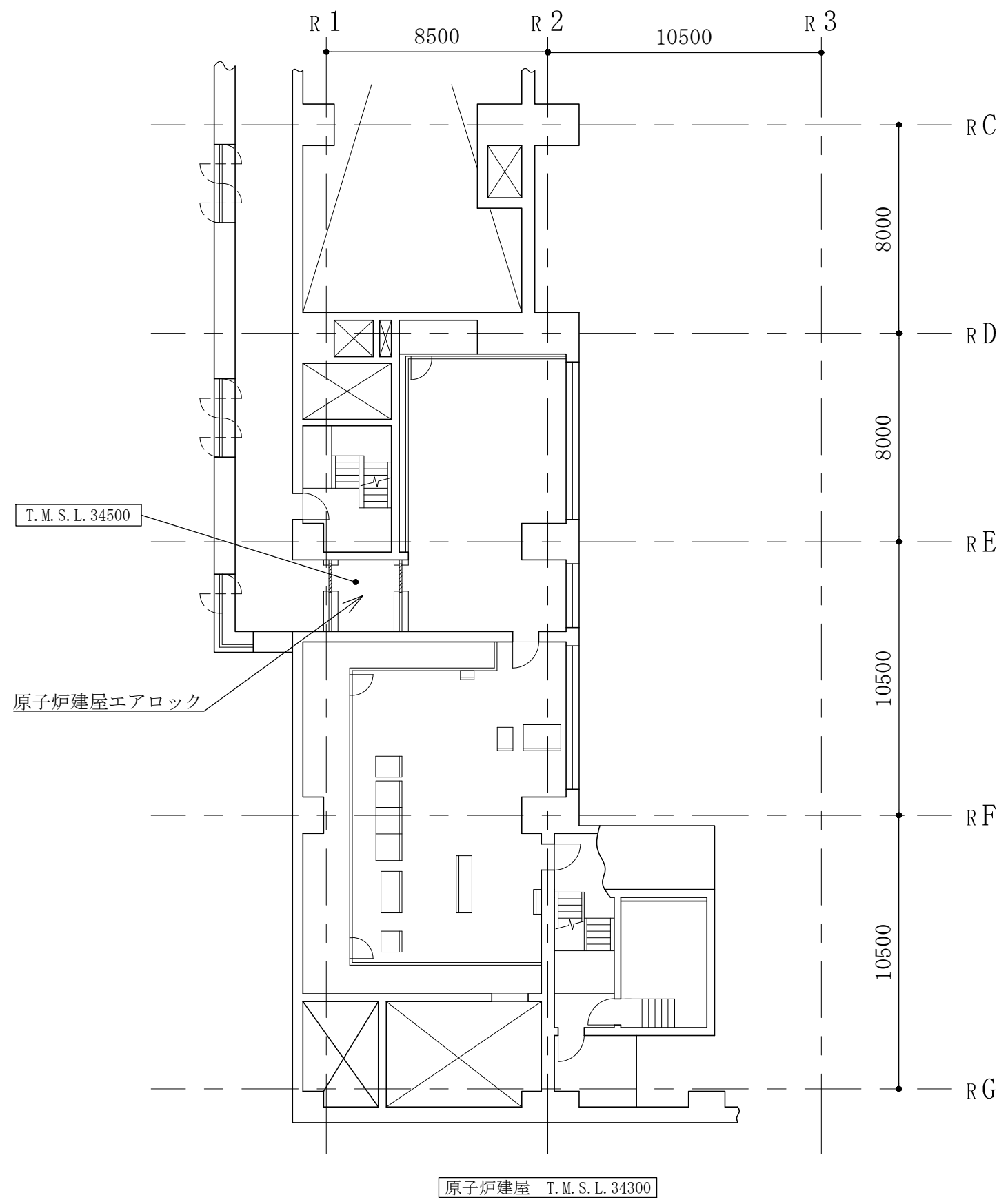


C-C断面図



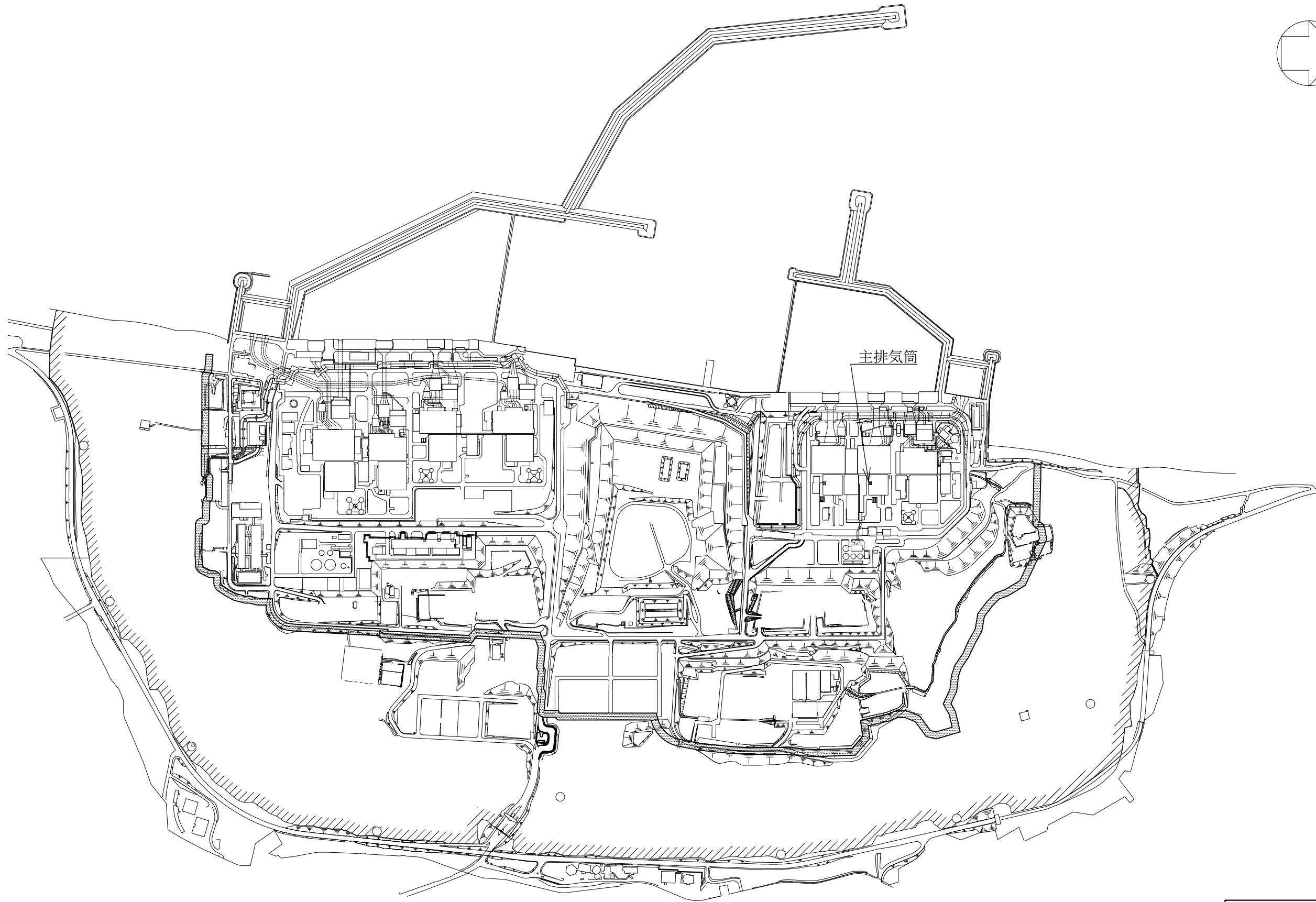
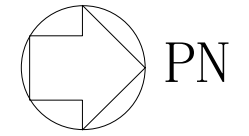
注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-1-1-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備 及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環 設備（非常用ガス処理系）に係る機器の配置を 明示した図面（その3）
	東京電力ホールディングス株式会社



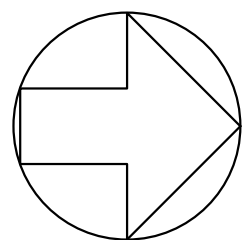
注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-1-1-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る機器の配置を明示した図面（その4）
東京電力ホールディングス株式会社	

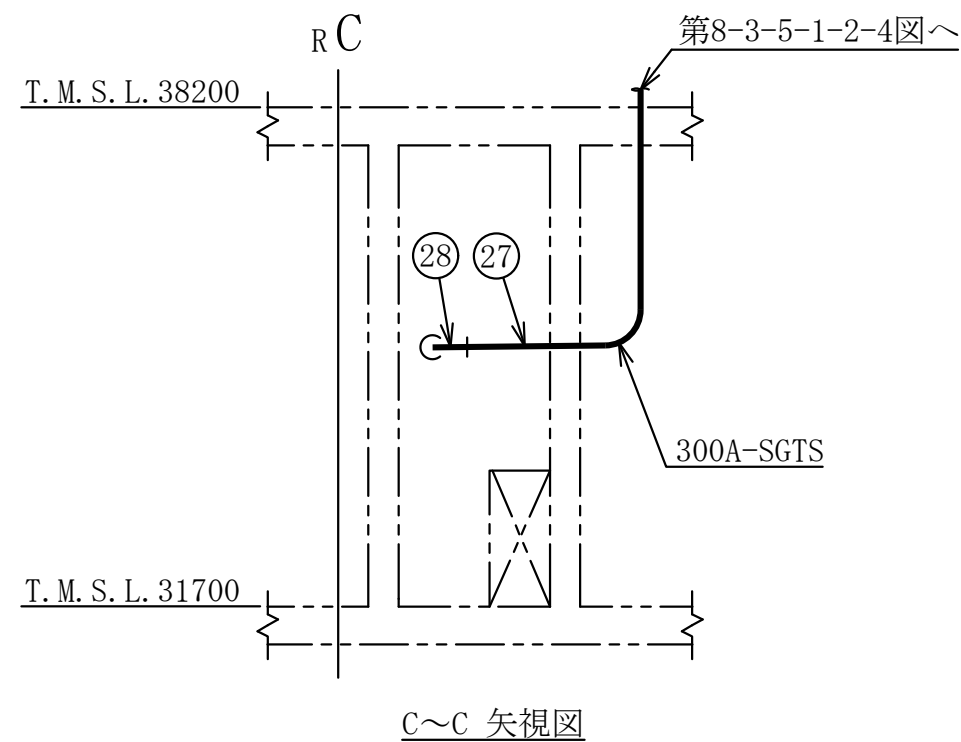
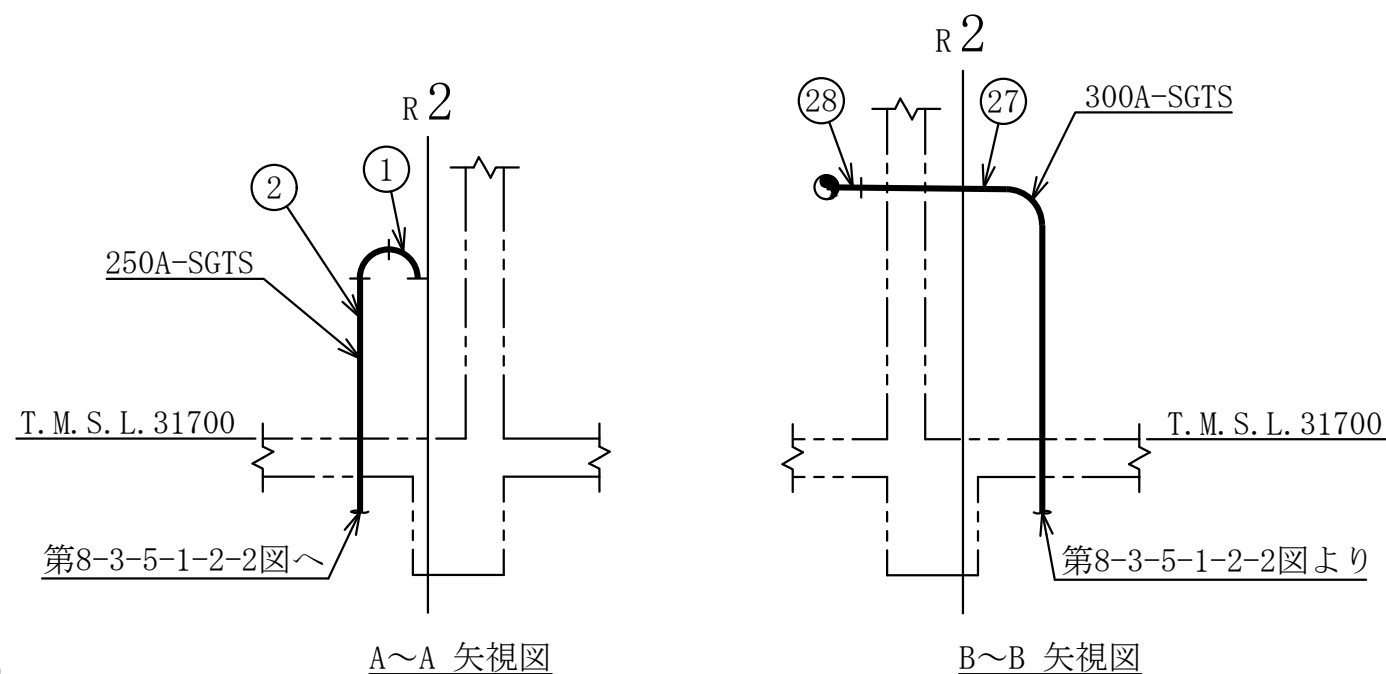
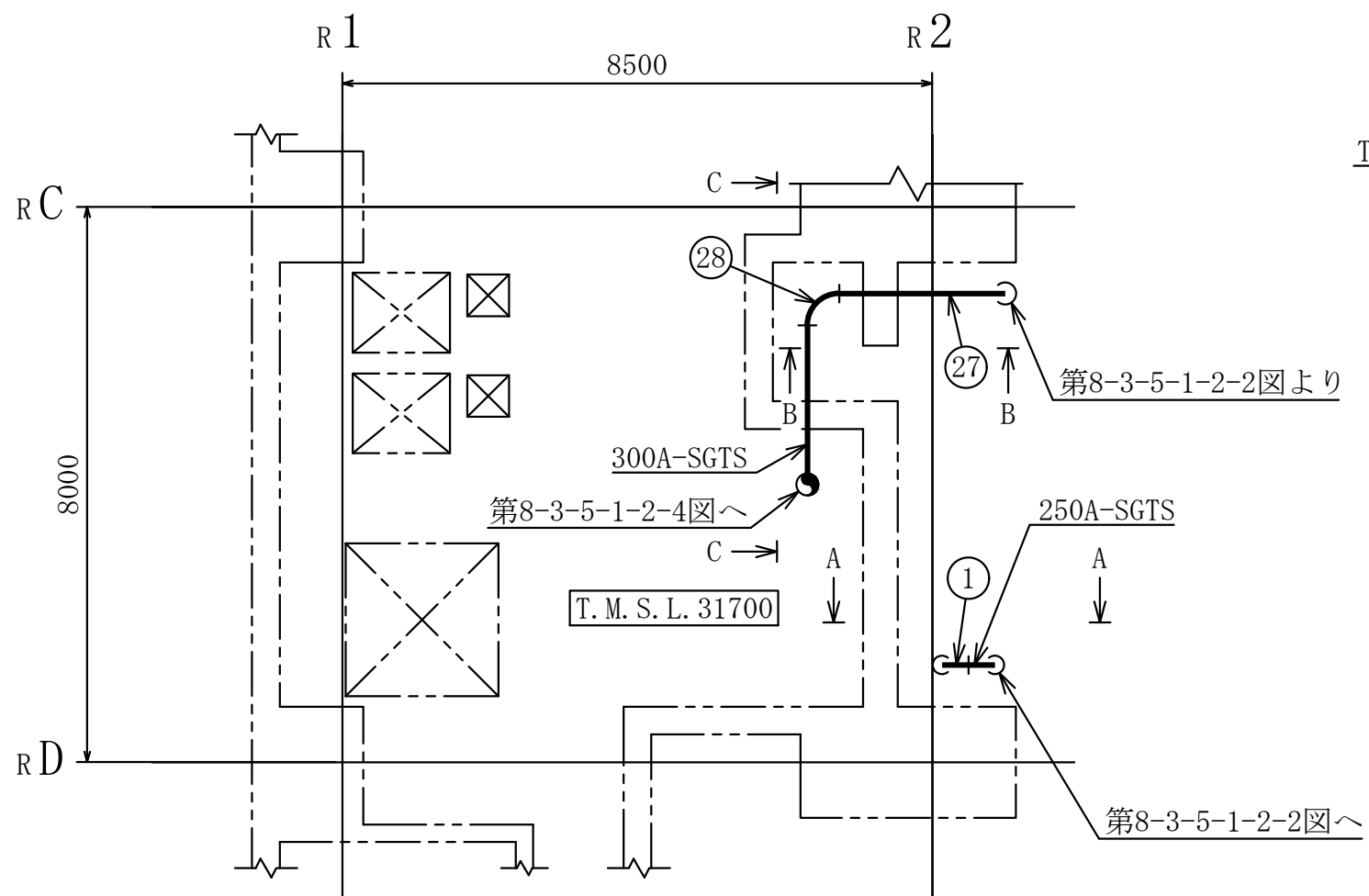


主排気筒

第8-3-5-1-1-5図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その
称	他の安全設備のうち放射性物質濃度制御 設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備（非常用ガス処理系） に係る機器の配置を明示した図面（その5）
東京電力ホールディングス株式会社	



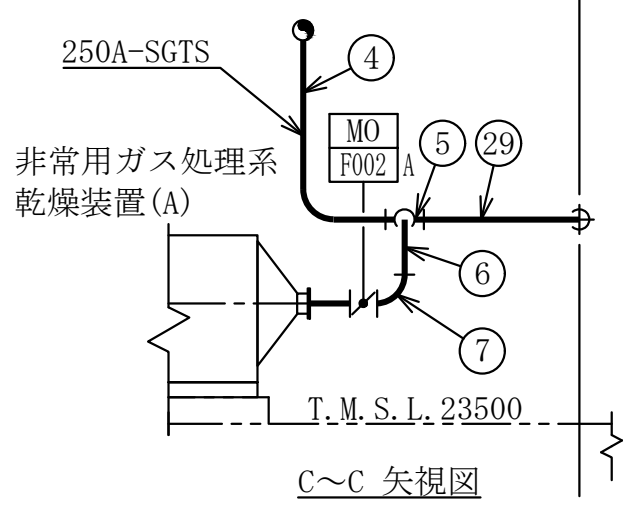
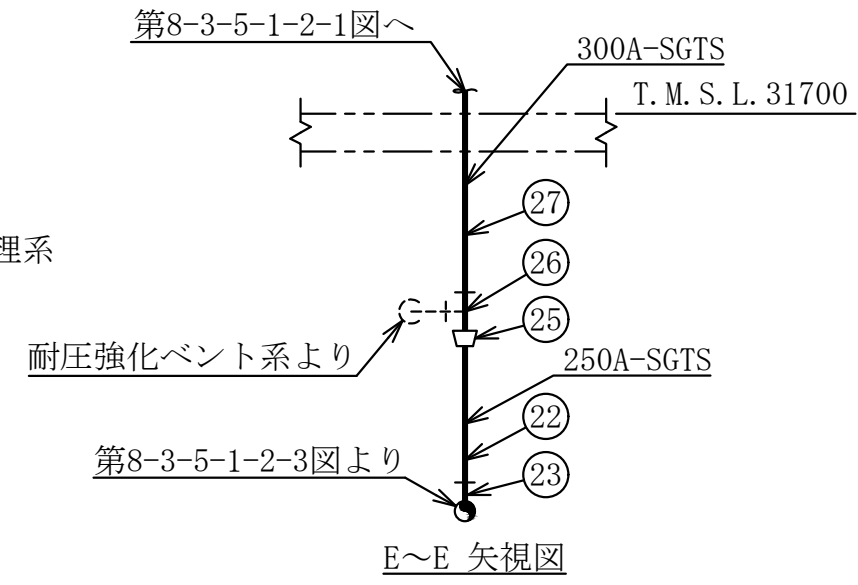
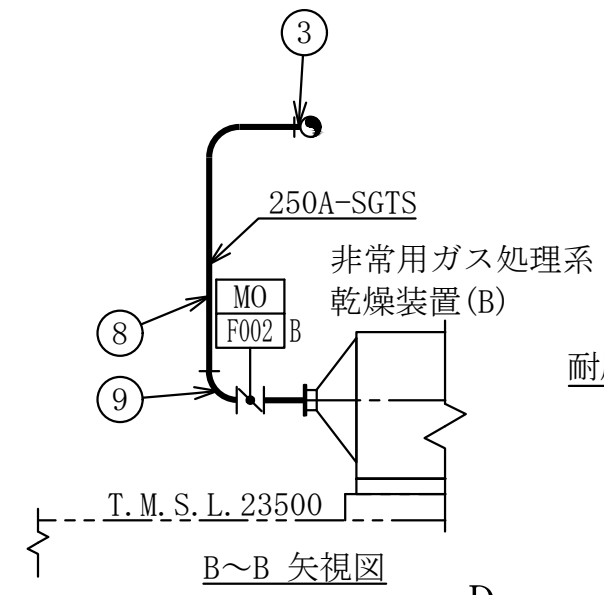
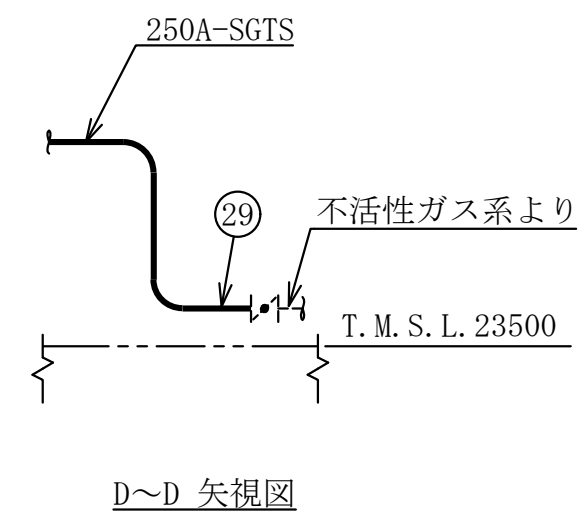
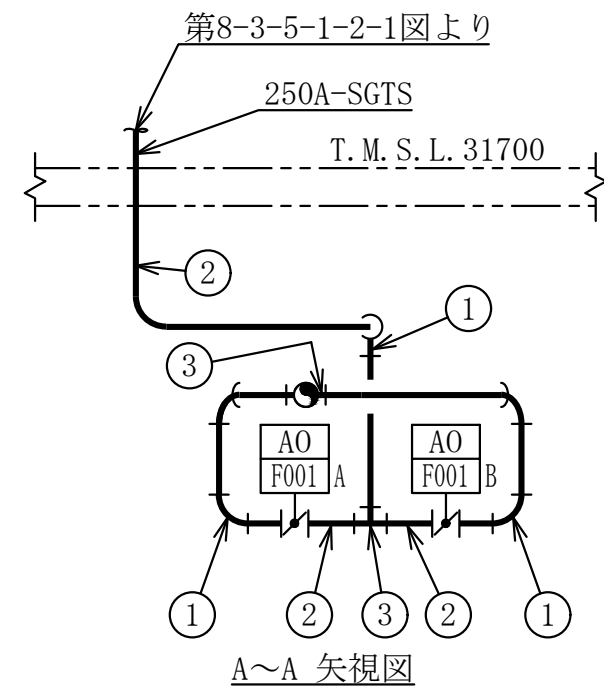
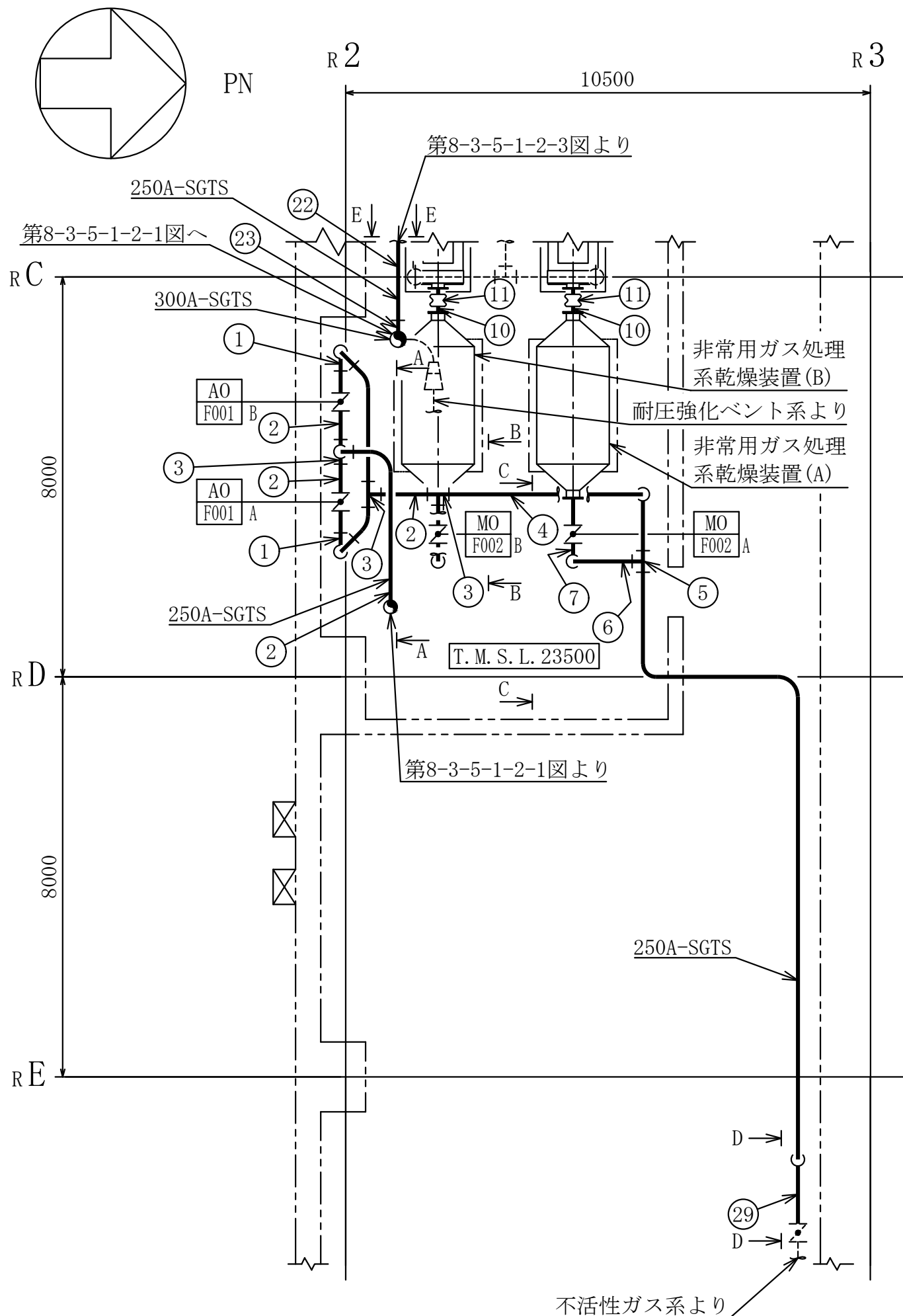
PN



注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-5-1-2-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(非常用ガス処理系)に係る主配管の配置を明示した図面(その1)
東京電力ホールディングス株式会社	
SGTS	1628

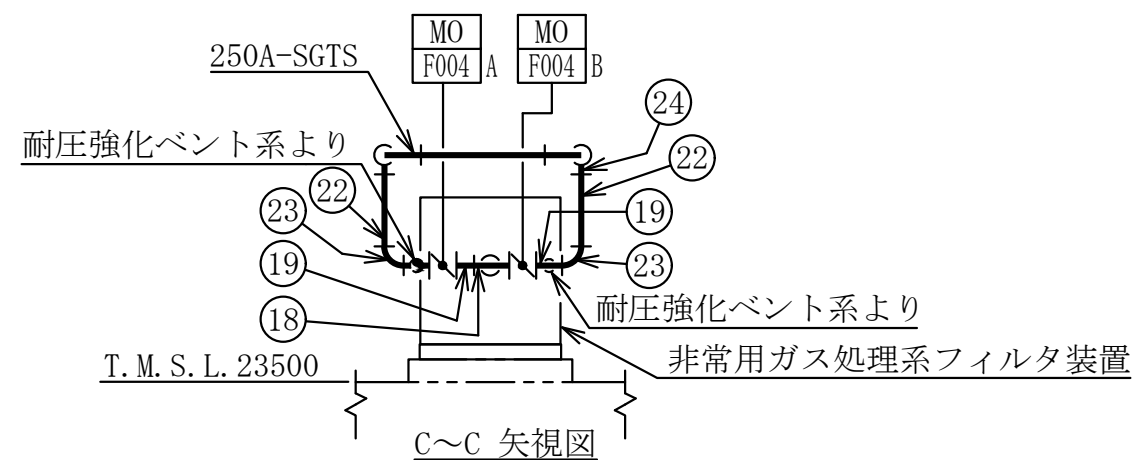
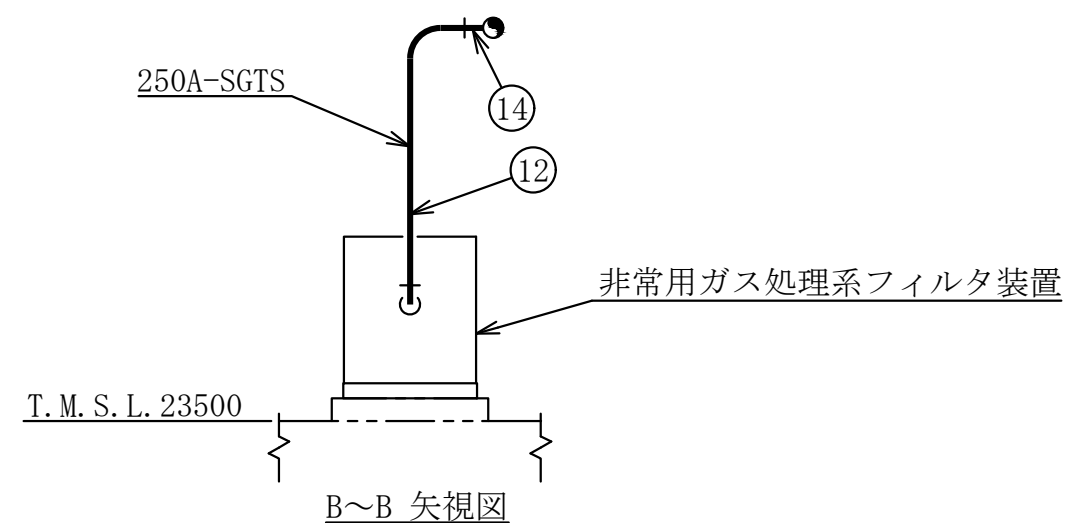
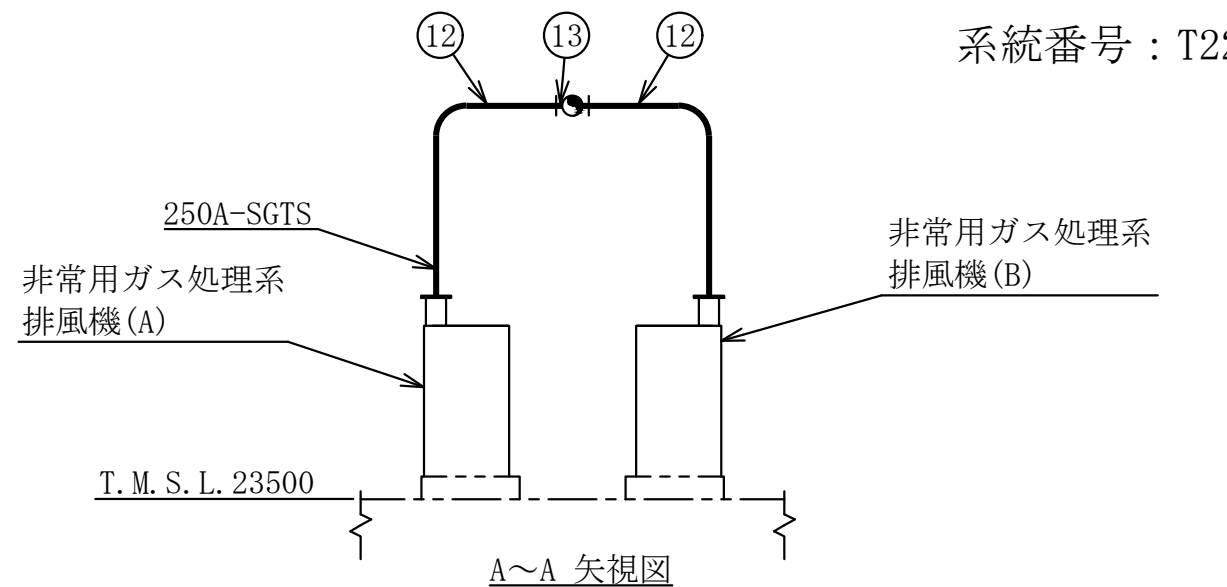
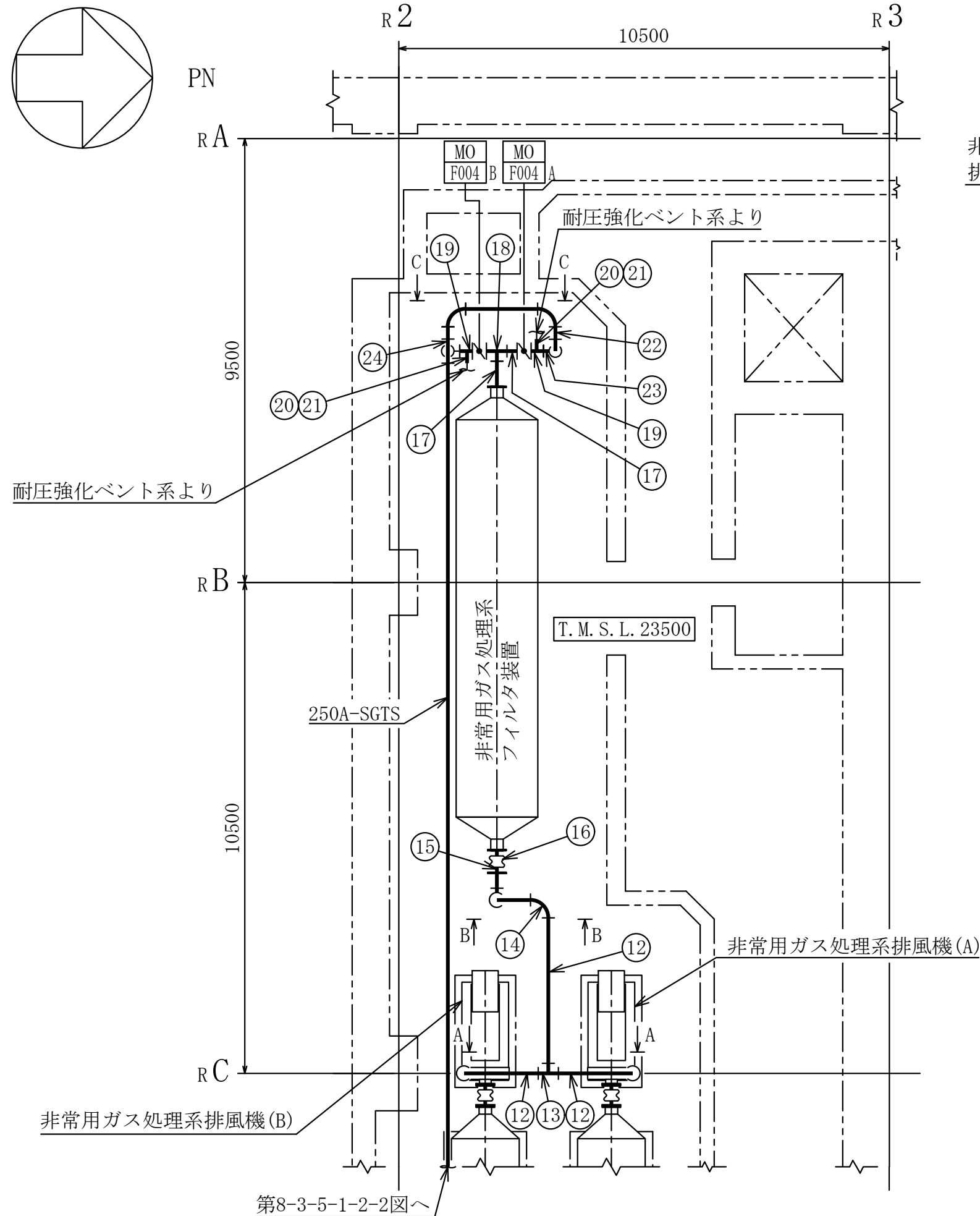


注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-5-1-2-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(非常用ガス処理系)に係る主配管の配置を明示した図面(その2)
東京電力ホールディングス株式会社	
SGTS	1817

系統番号：T22

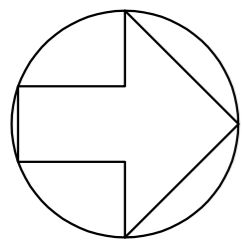


第8-3-5-1-2-2図へ

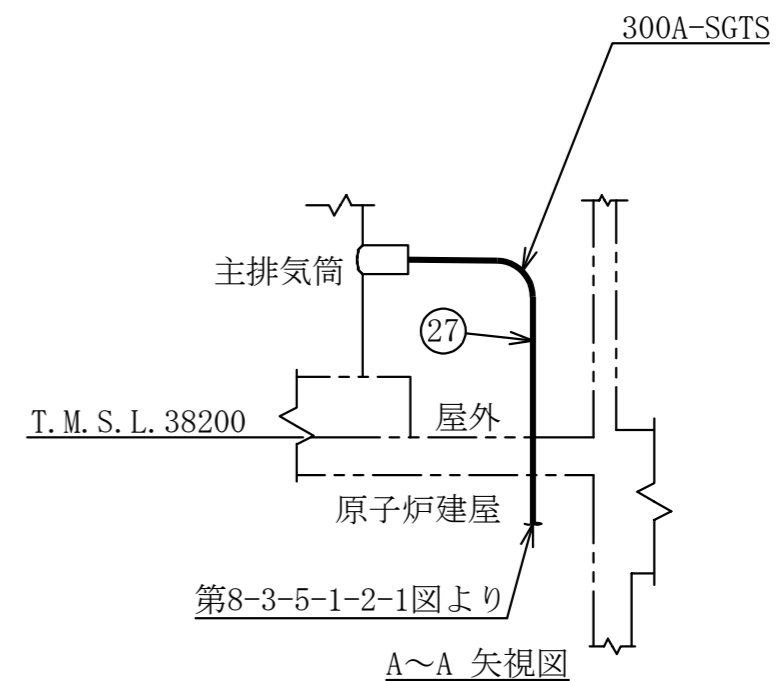
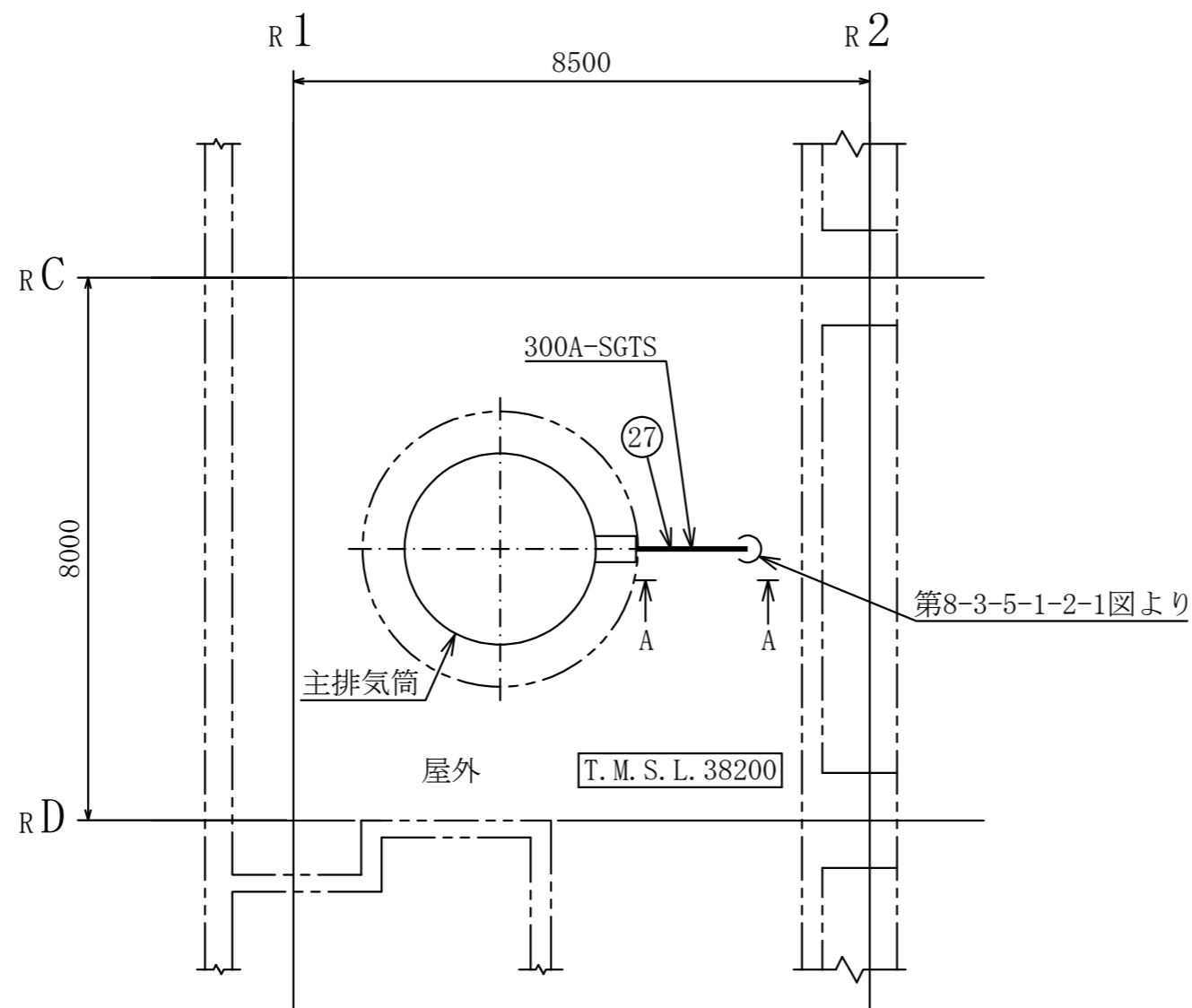
注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-5-1-2-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(非常用ガス処理系)に係る主配管の配置を明示した図面(その3)
東京電力ホールディングス株式会社	
SGTS	3821



PN



屋外
原子炉建屋

注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

第8-3-5-1-2-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(非常用ガス処理系)に係る主配管の配置を明示した図面(その4)
東京電力ホールディングス株式会社	
SGTS	3621

第 8-3-5-1-2-1~4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る主配管の配置を明示した図面別紙 1

工事計画抜粋

変更前 ^{*1}						変更後						*17 NO.
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
非常 用 ガ ス 処 理 系	*2 原子炉建屋原子炉区域 ～ 原子炉建屋原子炉区域 入口配管分岐部	—					14 ^{*3}	100 ^{*3}	*4, *5, *6 267.4	*4, *5, *6 9.3	STS410 ^{*5, *6}	1
		14 ^{*7}	100	267.4 ^{*4}	9.3 ^{*4}	STS410 ^{*8}	変更なし					2
		—					14 ^{*3}	100 ^{*3}	*4, *6 267.4 /267.4 /267.4	*4, *6 9.3 /9.3 /9.3	STS410 ^{*6}	3
	*2 原子炉建屋原子炉区域 入口配管分岐部 ～ 非常用ガス処理系不活性ガス 配管合流部	—					変更なし					4
		14 ^{*7}	100	267.4 ^{*4}	9.3 ^{*4}	STS410 ^{*8}	変更なし					4
		—					14 ^{*3}	100 ^{*3}	*4, *6 267.4 /— /267.4	*4, *6 9.3 /— /9.3	STS410 ^{*6}	5
	*2 非常用ガス処理系不活性ガス 配管合流部 ～ 非常用ガス処理系乾燥装置 (A)	—					変更なし					6
		14 ^{*7}	100	267.4 ^{*4}	9.3 ^{*4}	STS410 ^{*8}	変更なし					6
		—					14 ^{*3}	100 ^{*3}	*4, *5, *6 267.4	*4, *5, *6 9.3	STS410 ^{*5, *6}	7
	*2 原子炉建屋原子炉区域 入口配管分岐部 ～ 非常用ガス処理系乾燥装置 (B)	—					変更なし					8
		14 ^{*7}	100	267.4 ^{*4}	9.3 ^{*4}	STS410 ^{*8}	14 ^{*3}	100 ^{*3}	*4, *5, *6 267.4	*4, *5, *6 9.3	STS410 ^{*5, *6}	9
非常用ガス処理系乾燥装置		14 ^{*7}	120	267.4 ^{*4}	□ (9.0 ^{*4})	— ^{*10}					—	
				*4, *11 1650×1300	□ (9.0 ^{*4})						—	
*12 非常用ガス処理系乾燥装置 (A)及び(B) ～ 非常用ガス処理系排風機	14		120		267.4 ^{*4}	9.3 ^{*4}	変更なし					10
					□ ^{*4}	□ (□ ^{*4})						11

K6 ① 8-3-5-1-2-1~4 R0

変更前*1						変更後						*17 NO.		
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料			
非常用ガス 処理系	非常用ガス処理系排風機 ～ 非常用ガス処理系フィルタ装置	25*7	150	267.4*4	9.3*4	STS410*8	非常用 ガス 処理 系	変更なし					12	
	—							25*3	150*3	*4, *6 267.4 /267.4	*4, *6 9.3 /9.3	STS410*6	13	
	—									*4, *5, *6 267.4	*4, *5, *6 9.3	STS410*5, *6	14	
	25*7	150	267.4*4, *12	9.3*4, *12	STPT410*12	変更なし					15			
	—							—*10					—	
	非常用ガス処理系フィルタ装置	25*7	150	267.4*4	□(9.0*4)	SM400B*9		—*10					—	
	—							—*10					—	
	非常用ガス処理系フィルタ装置*14 ～ T22-F004A, B	25*7	150	267.4*4	9.3*4	STS410*8		非常用 ガス 処理 系	変更なし					17
	—								25*3	150*3	*4, *6 267.4 /267.4	*4, *6 9.3 /9.3	STS410*6	18
	T22-F004A, B ～ 非常用ガス処理系窒素パージライン (A)合流部及び非常用ガス処理系 窒素パージライン(B)合流部	25*7	150	267.4*4	9.3*4	STS410*8		変更なし					19	
非常用ガス処理系窒素パージライン*14 (A)合流部及び非常用ガス処理系 窒素パージライン(B)合流部	—						非常用 ガス 処理 系	620*3	171*3	46.0*4	□(5.75*4)	S25C	20	
—						46.0*4				□(9.4*4)	S25C	21		
～ 耐圧強化ベントライン合流部	25*7	150	267.4*4	9.3*4	STS410*8	非常用ガス処理系窒素パージライン*15 (A)合流部及び非常用ガス処理系 窒素パージライン(B)合流部 ～ 耐圧強化ベントライン合流部	変更なし 620*3	変更なし 171*3	変更なし			22		
—						620*3	171*3	*4, *5, *6 267.4	*4, *5, *6 9.3	STS410*5, *6	23			
—								*4, *6 267.4 /267.4	*4, *6 9.3 /9.3	STS410*6	24			
—								*4, *6 318.5 /267.4	*4, *6 10.3 /9.3	STS410*6	25			

変更前*1						変更後						*17 NO.	
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料		
非常 用 ガ ス 処 理 系	*14 耐圧強化ベントライン合流部 ～ 主排気筒	—				非 常 用 ガ ス 処 理 系	*16 耐圧強化ベントライン合流部 ～ 主排気筒	620*3	171*3	*4, *6 318.5 /318.5 /318.5	*4, *6 10.3 /10.3 /10.3	STS410*6	26
		25*7	150	318.5*4	10.3*4			STS410*8	変更なし 620*3	変更なし 171*3	変更なし		27
		—						620*3	171*3	*4, *5, *6 318.5	*4, *5, *6 10.3	STS410*5, *6	28
	*12 T31-F020 ～ 非常用ガス処理系不活性ガス 配管合流部	14	100	267.4*4	9.3*4	STS410	変更なし					29	

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には放射線管理設備のうち換気設備に記載。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋原子炉区域から非常用ガス処理系乾燥装置まで」と記載。

*3：重大事故等時における使用時の値。

*4：公称値を示す。

*5：エルボを示す。

*6：本設備は既存の設備である。

*7：SI単位に換算したものである。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は、設計図書による。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41B」と記載。記載内容は、設計図書による。

*10：当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「角形 1300W×1650H」と記載。

*12：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「角形 1600W×1650H」と記載。

*14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「非常用ガス処理系フィルタ装置から排気筒まで」と記載。

*15：圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）と兼用。

*16：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）と兼用。

*17：第 8-3-5-1-2-1~4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る主配管の配置を示した図面に記載の丸番号を示す。

第 8-3-5-1-2-1~4 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）に係る主配管の配置を明示した図面 別紙 2

工事計画記載の公称値の許容範囲

[主配管]

管NO.1*- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	267.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	9.3	+規定しない -12.5%	同上

管NO.3*- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	267.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	9.3	+規定しない -12.5%	同上

管NO.5*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	46.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	5.75	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

管NO.6*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	46.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	9.4	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO.7*- 管継手

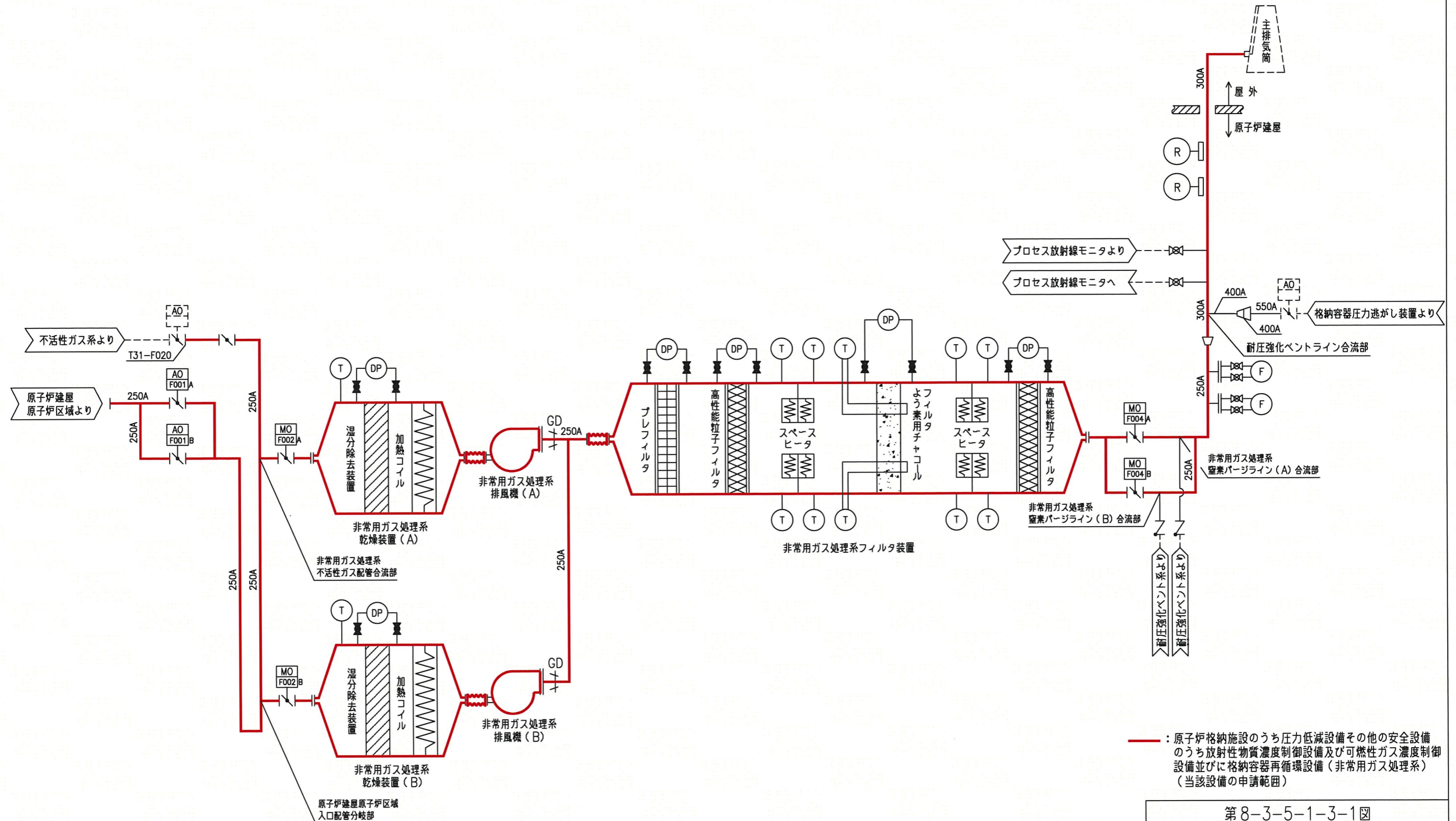
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	267.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	9.3	+規定しない -12.5%	同上

管NO.8*- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	318.5	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	10.3	+規定しない -12.5%	同上

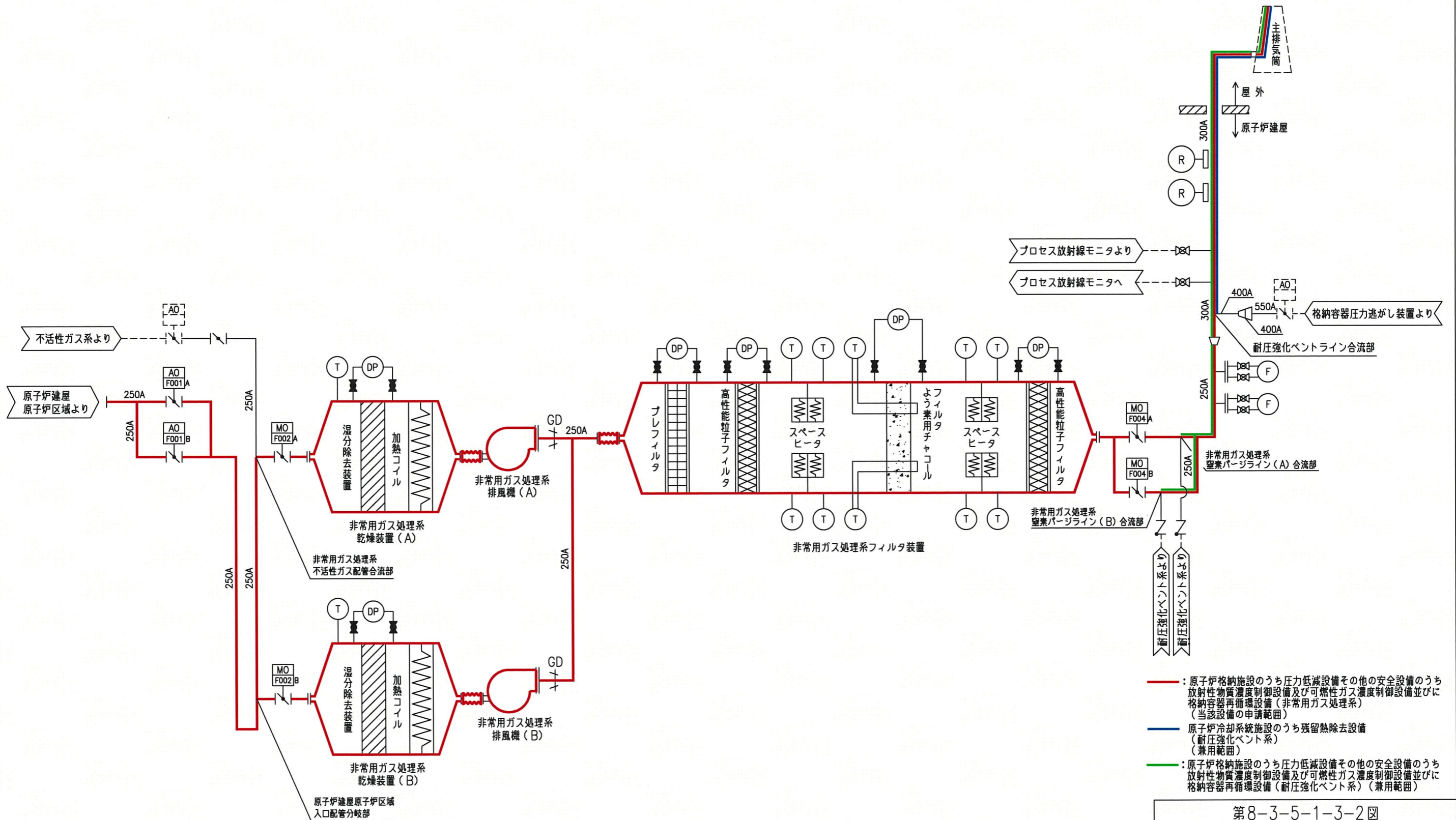
注：主要寸法は、工事計画記載の公称値

注記*：管の基本板厚計算書のNO.を示す。



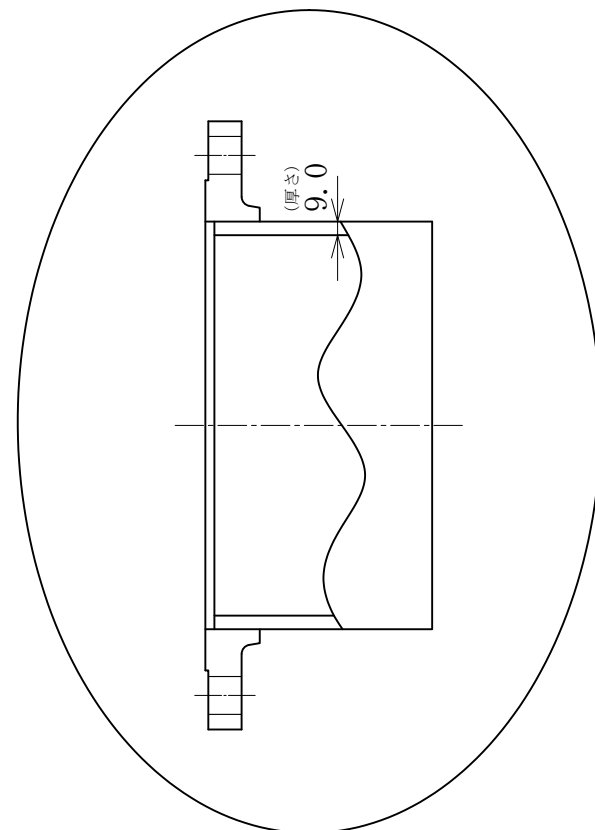
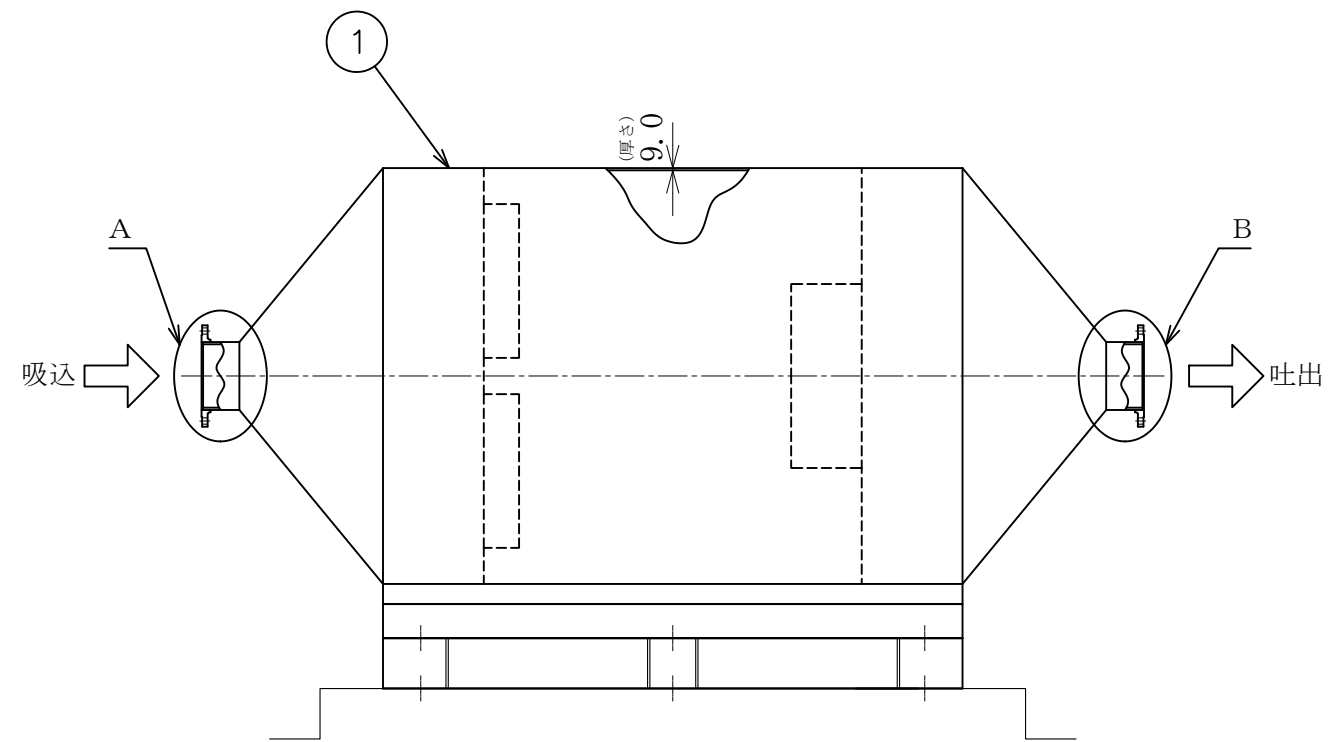
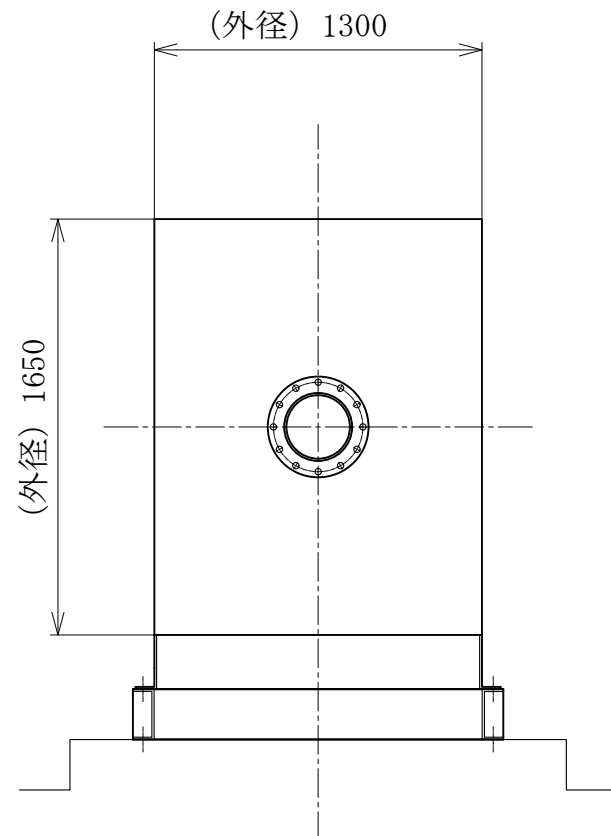
— : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）（当該設備の申請範囲）

第8-3-5-1-3-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の系統図（その1）（設計基準対象施設）
東京電力ホールディングス株式会社	

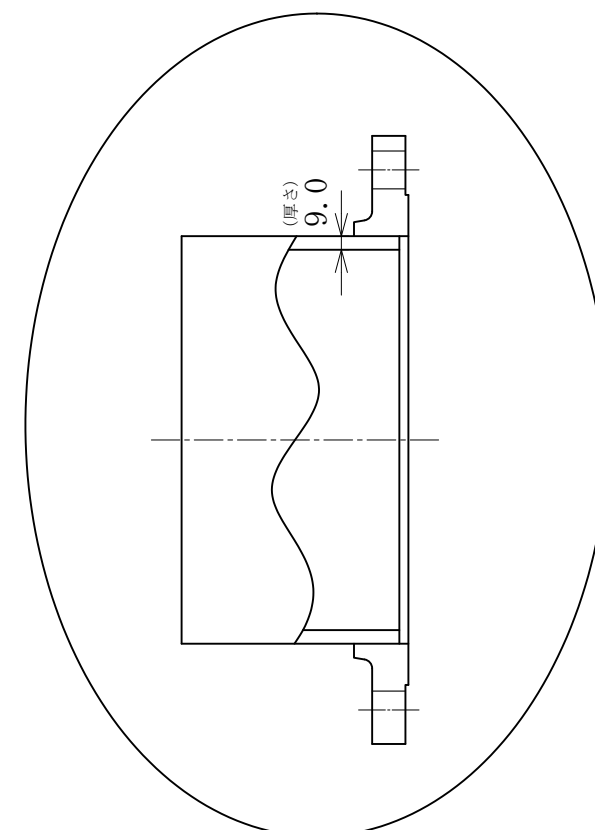


- 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）（当該設備の申請範囲）
- 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）
- 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）

第8-3-5-1-3-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の系統図（その2）（重大事故等対処設備）
東京電力ホールディングス株式会社	



A部詳細図



B部詳細図

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

1	ケーシング	1	SM400B
番号	品名	個数	材料
部品表			

第8-3-5-1-4-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の構造図 非常用ガス処理系乾燥装置
東京電力ホールディングス株式会社	
SGTS	1221

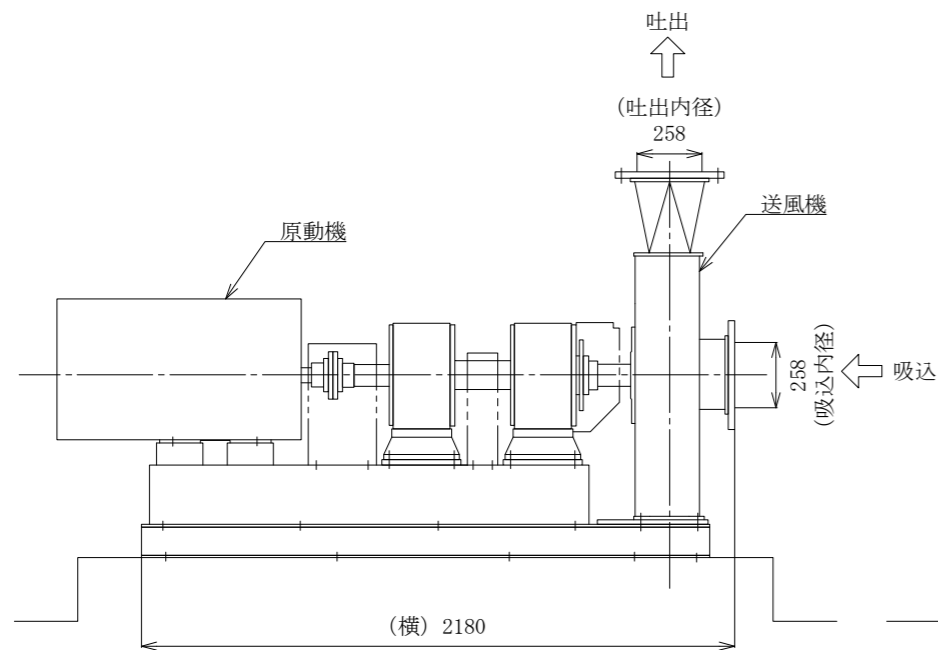


図-1 正面図

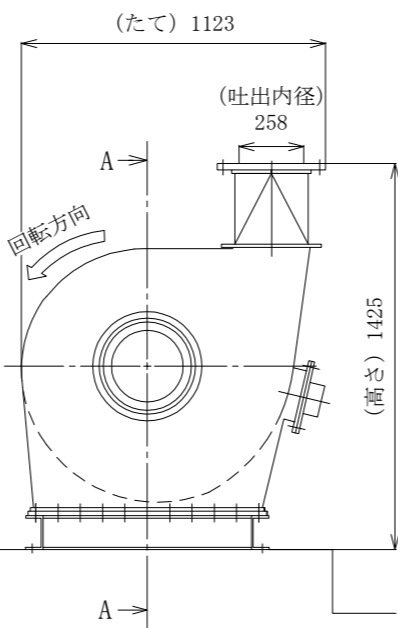


図-2 側面図

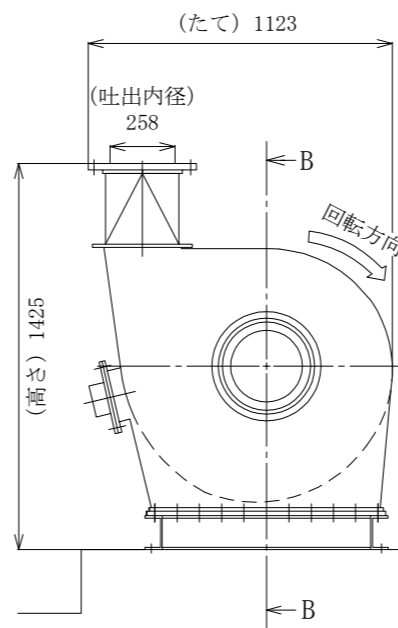


図-5 側面図

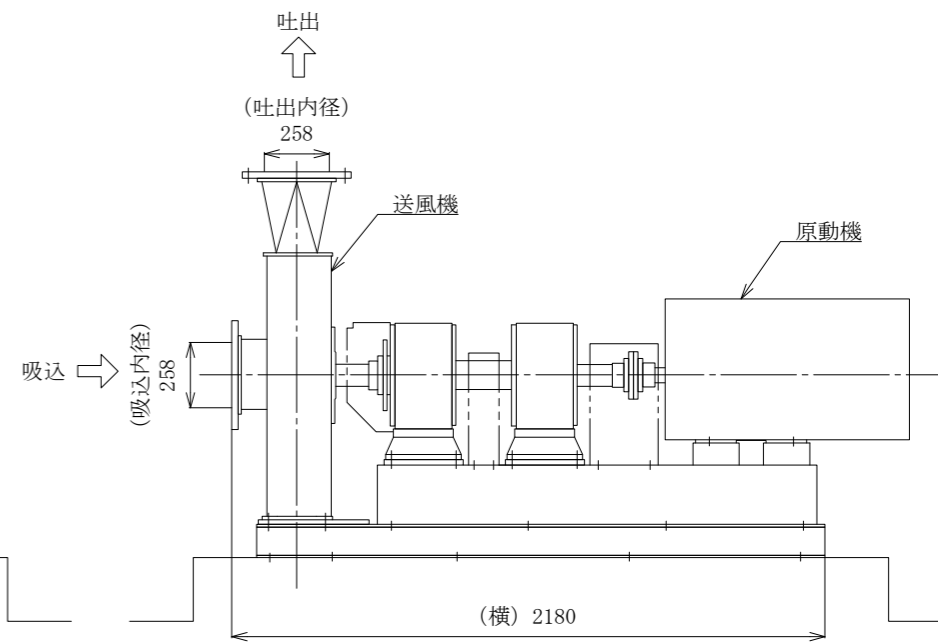


図-4 正面図

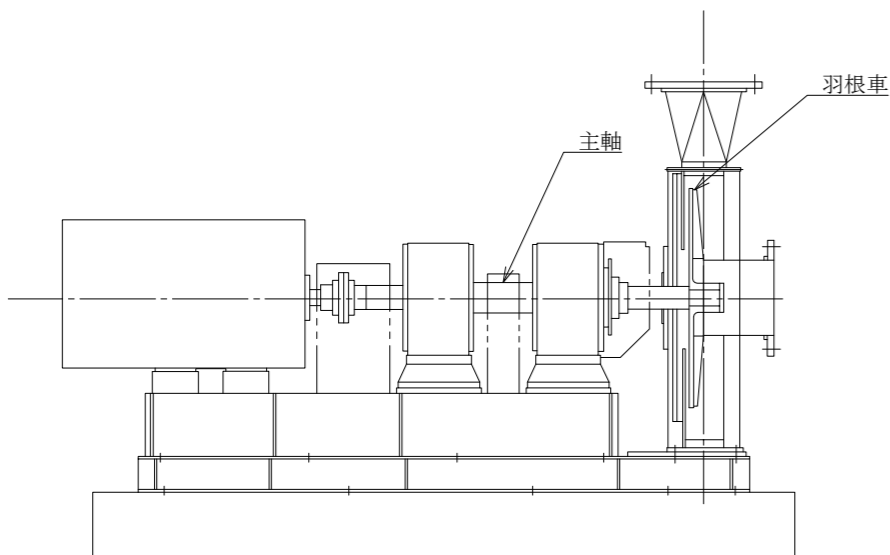


図-3 A~A断面図

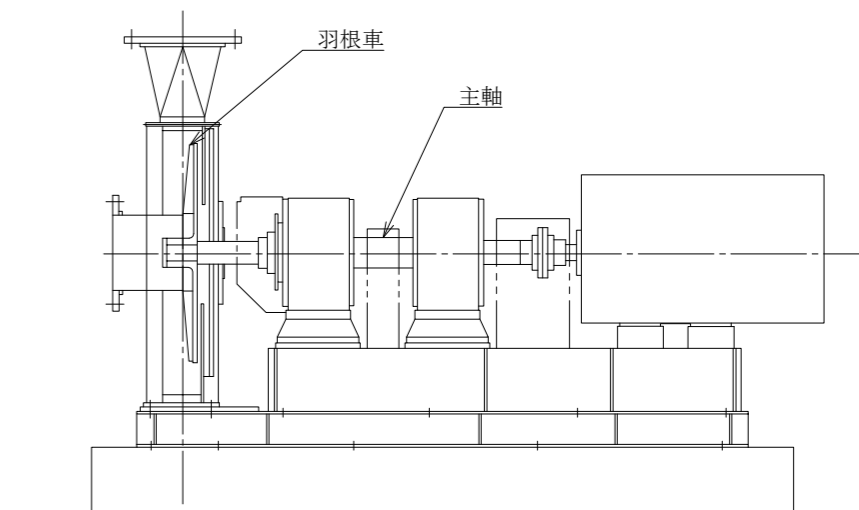
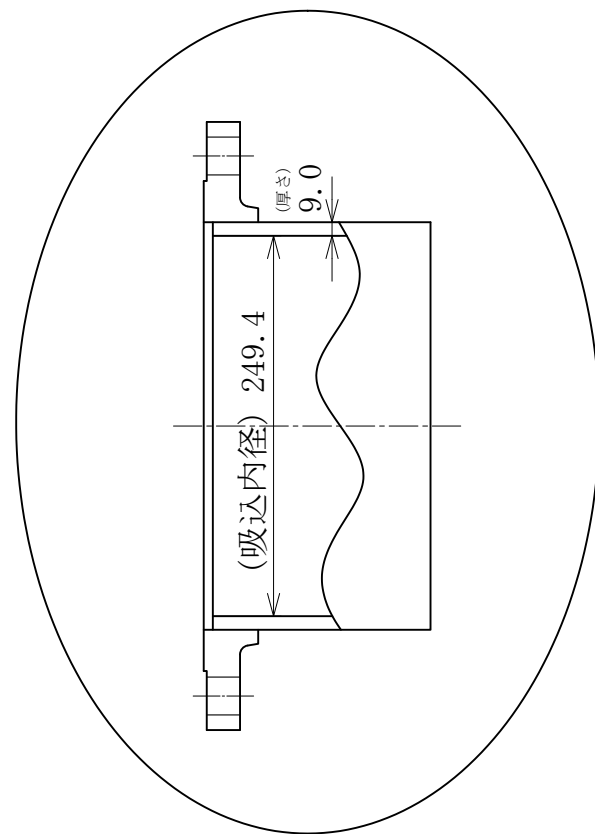
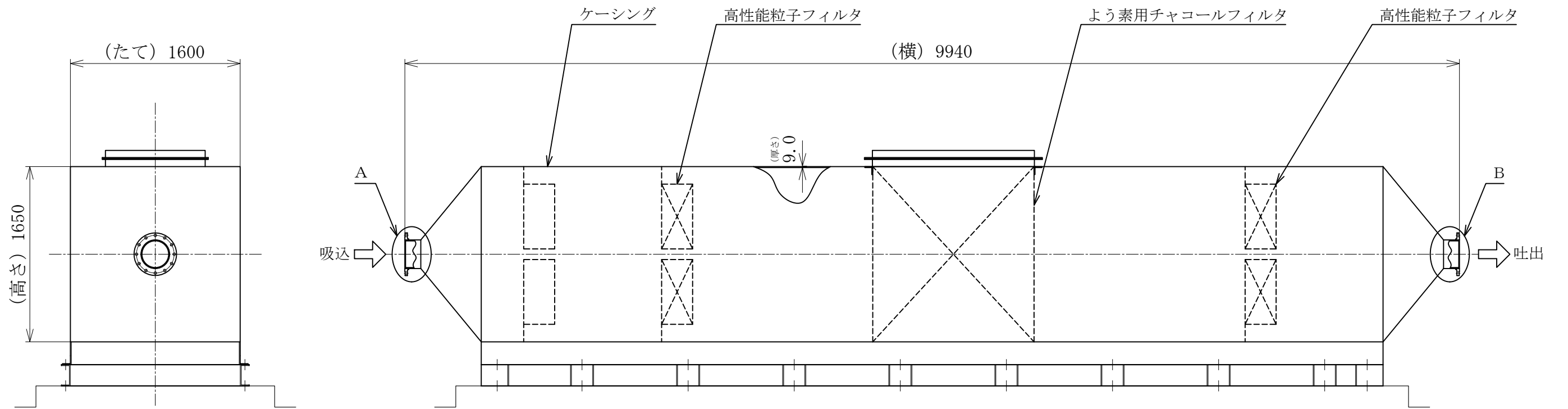


図-6 B~B断面図

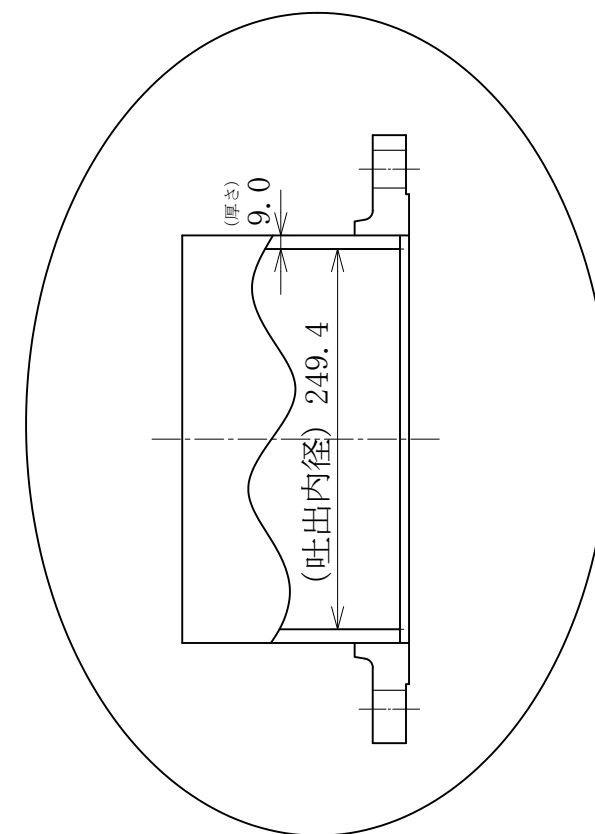
2	非常用ガス処理系排風機(B)	図-4, 5, 6
1	非常用ガス処理系排風機(A)	図-1, 2, 3
番号	名称	備考
排風機一覧表		

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

第8-3-5-1-4-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の構造図 非常用ガス処理系排風機
東京電力ホールディングス株式会社	
SGTS	1707



A部詳細図

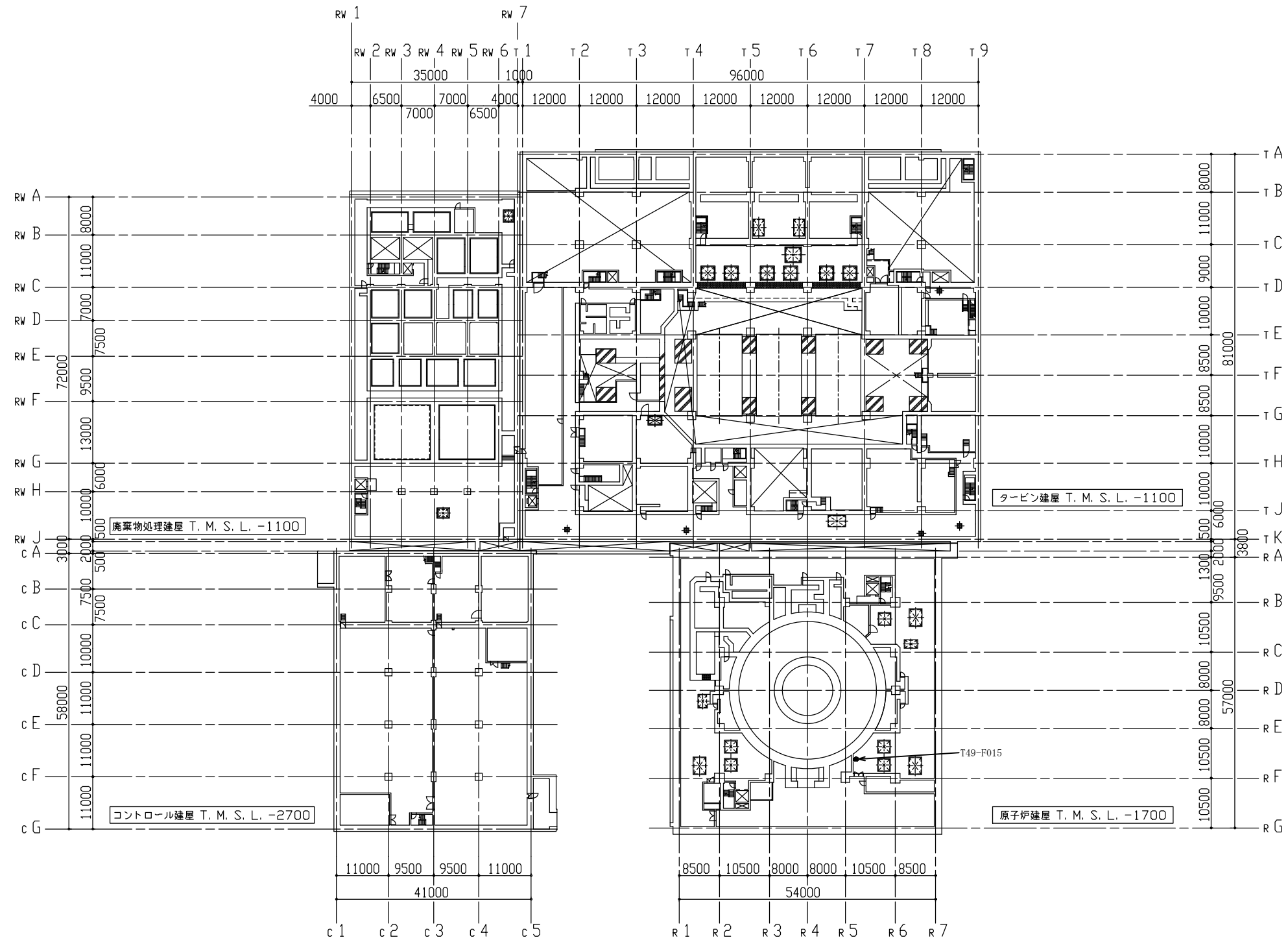


B部詳細図

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

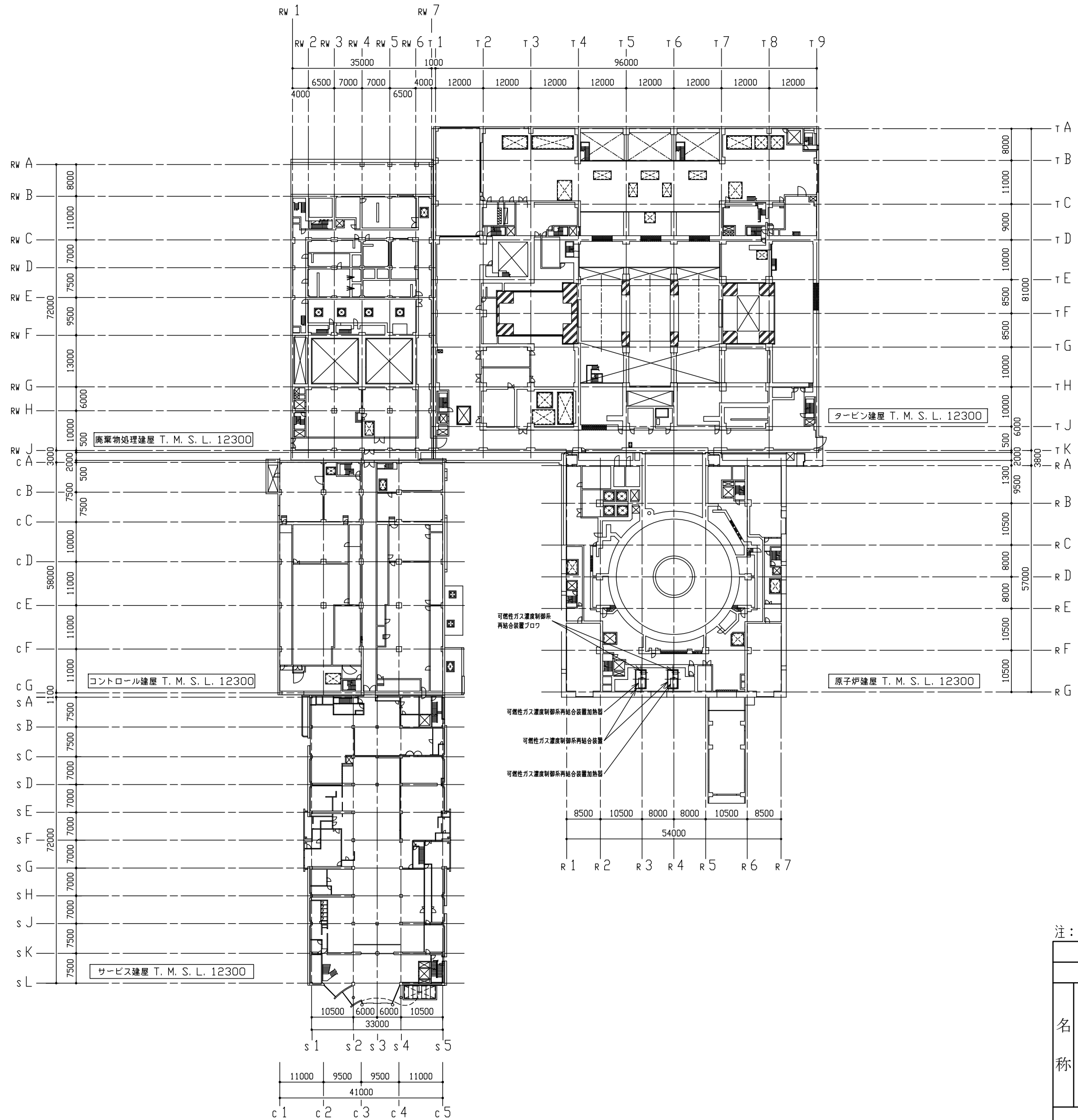
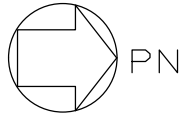
第8-3-5-1-4-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）の構造図 非常用ガス処理系フィルタ装置
東京電力ホールディングス株式会社	
SGTS	1221

8.3.5.2 可燃性ガス濃度制御系



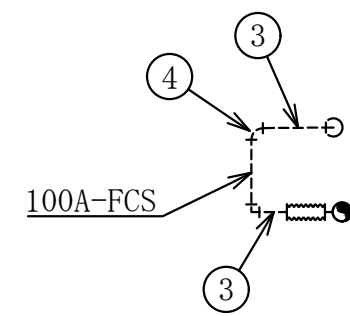
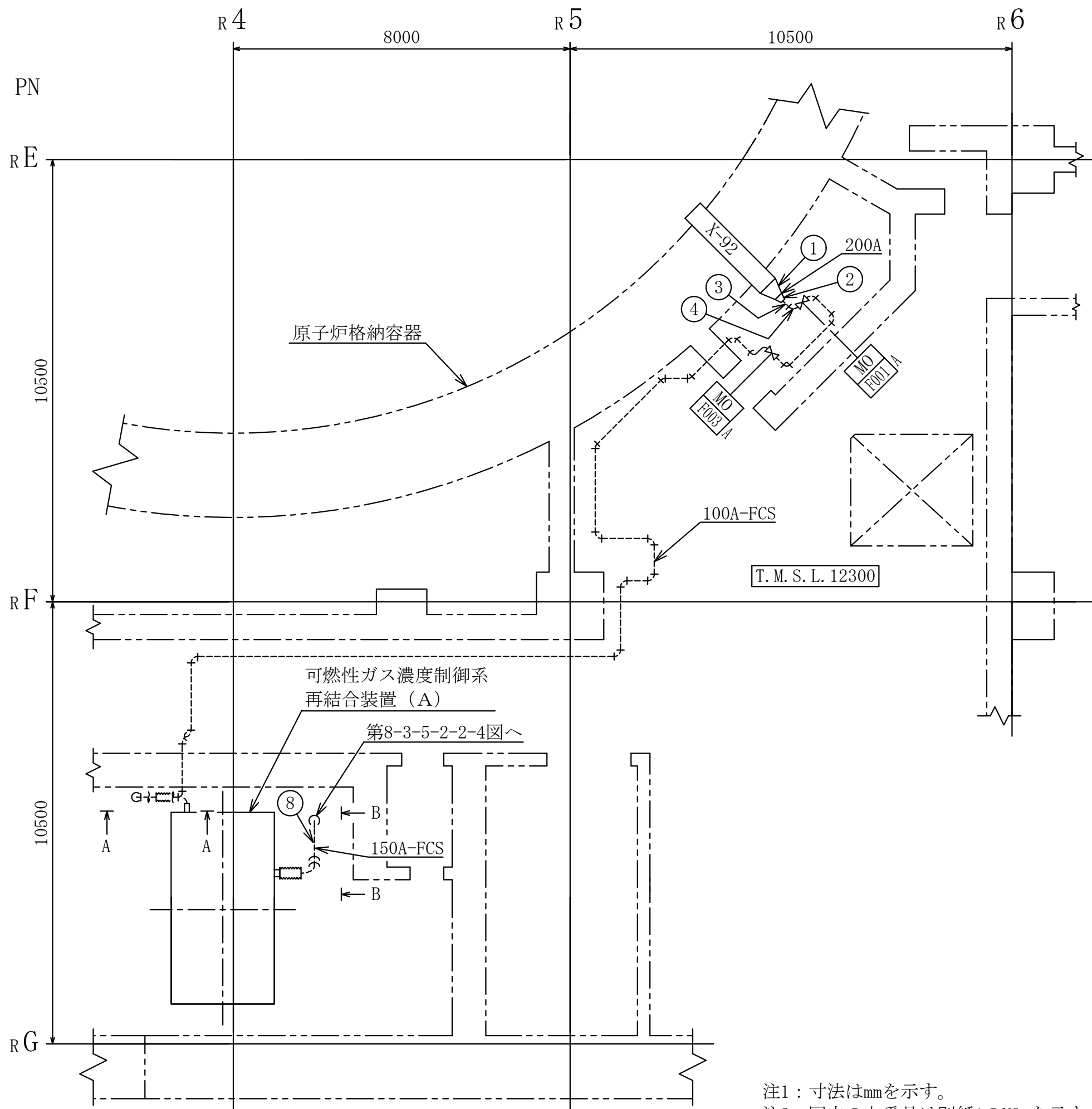
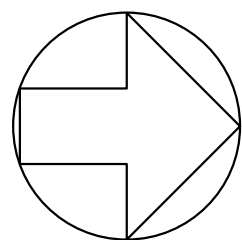
注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-2-1-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る機器の配置を明示した図面（その1）
東京電力ホールディングス株式会社	
101 3612	

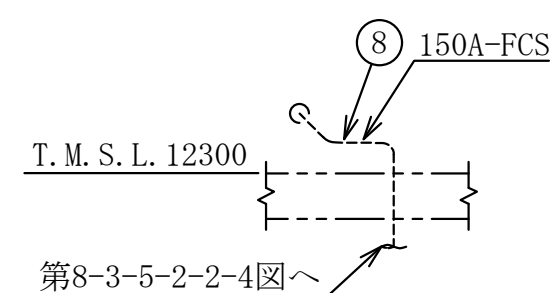


注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-2-1-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち放射性物質濃度 制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備 並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス 濃度制御系）に係る機器の配置を明示し た図面（その2）
	東京電力ホールディングス株式会社



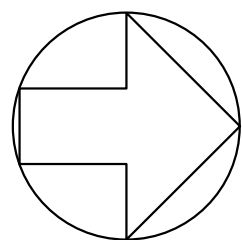
A~A 矢視図



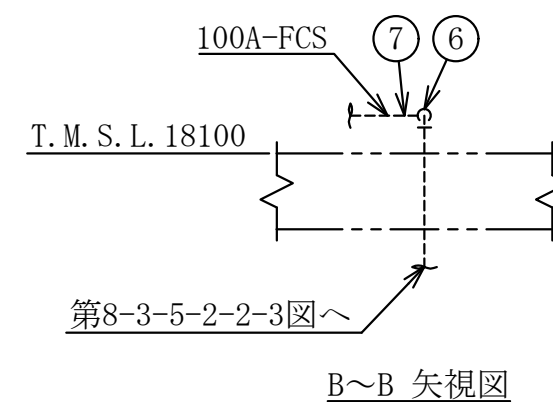
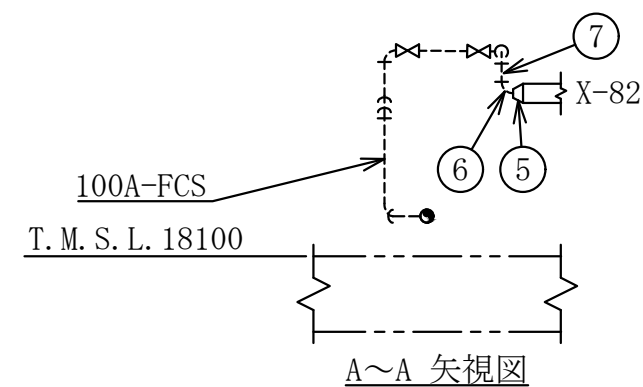
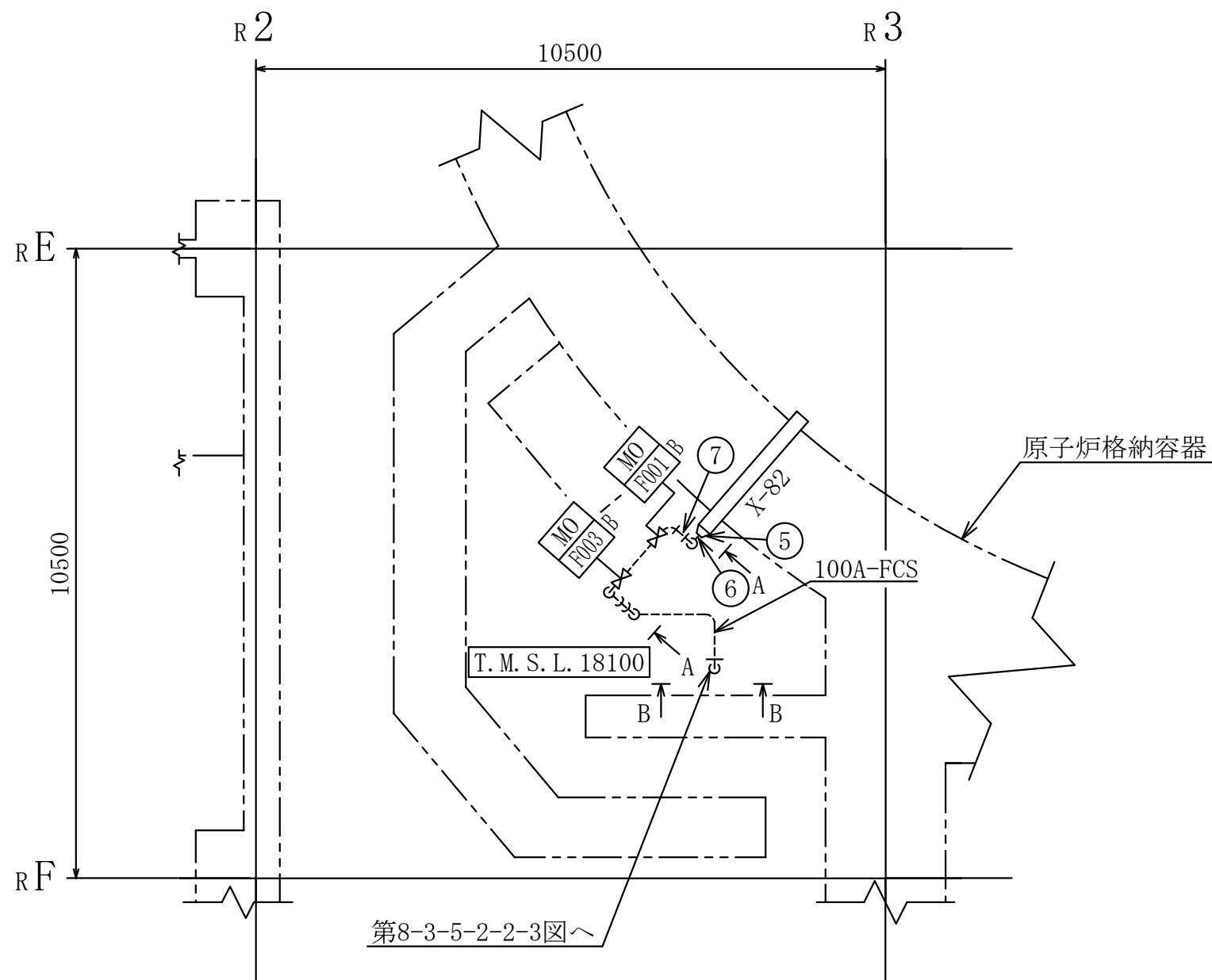
B~B 矢視図

注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋	
第8-3-5-2-2-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)に係る主配管の配置を明示した図面(その1)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCS	1820



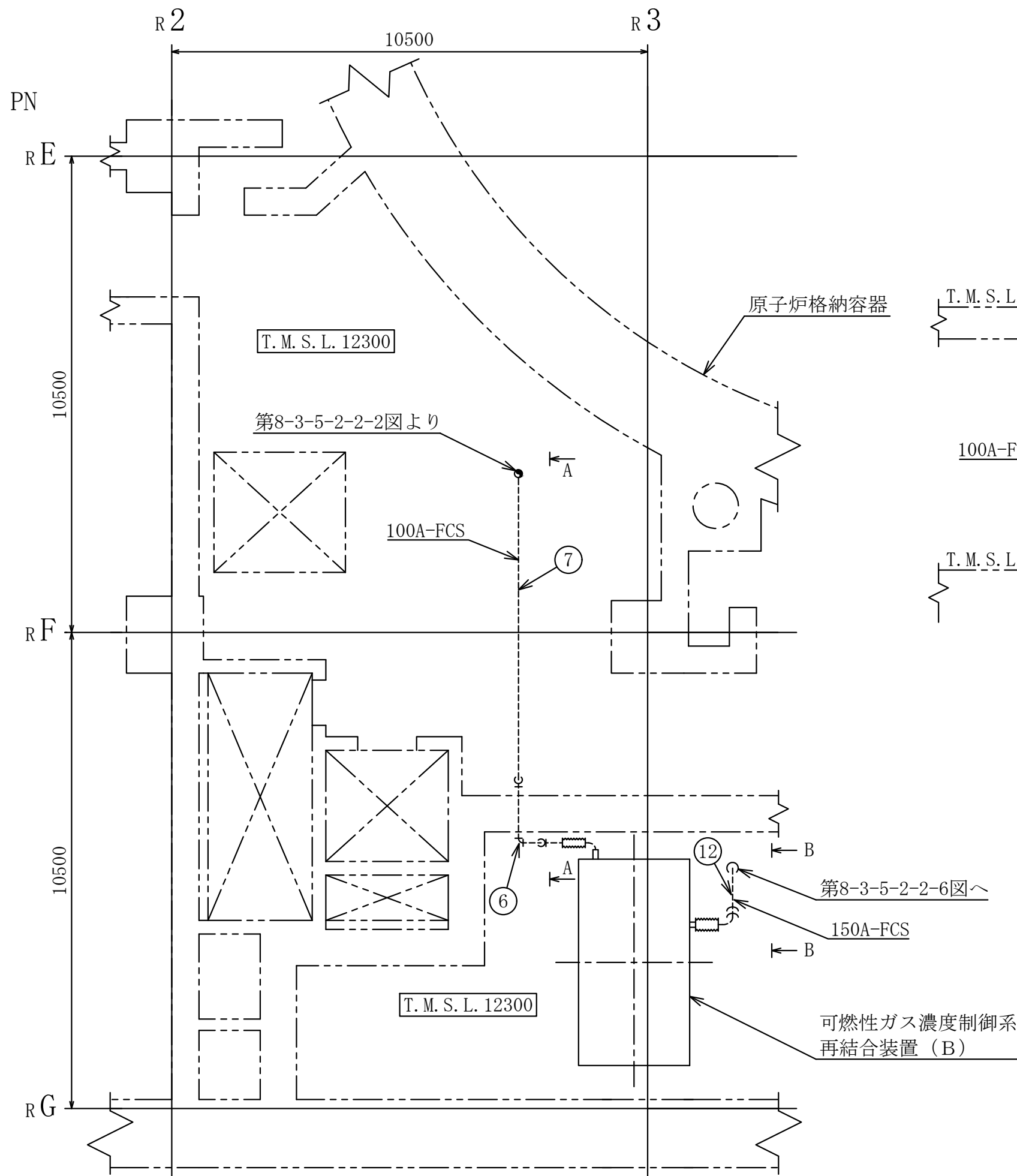
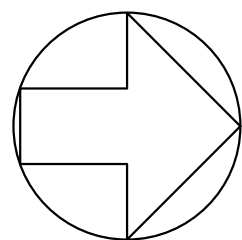
PN



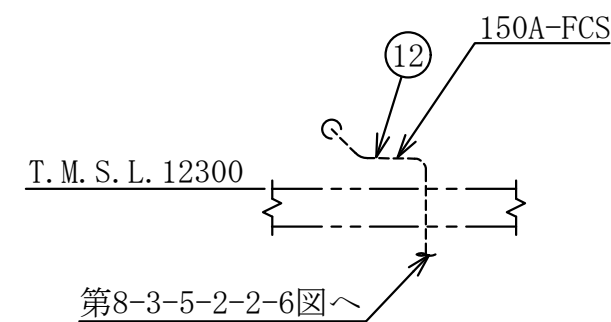
注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-5-2-2-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)に係る主配管の配置を明示した図面(その2)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCS	3821



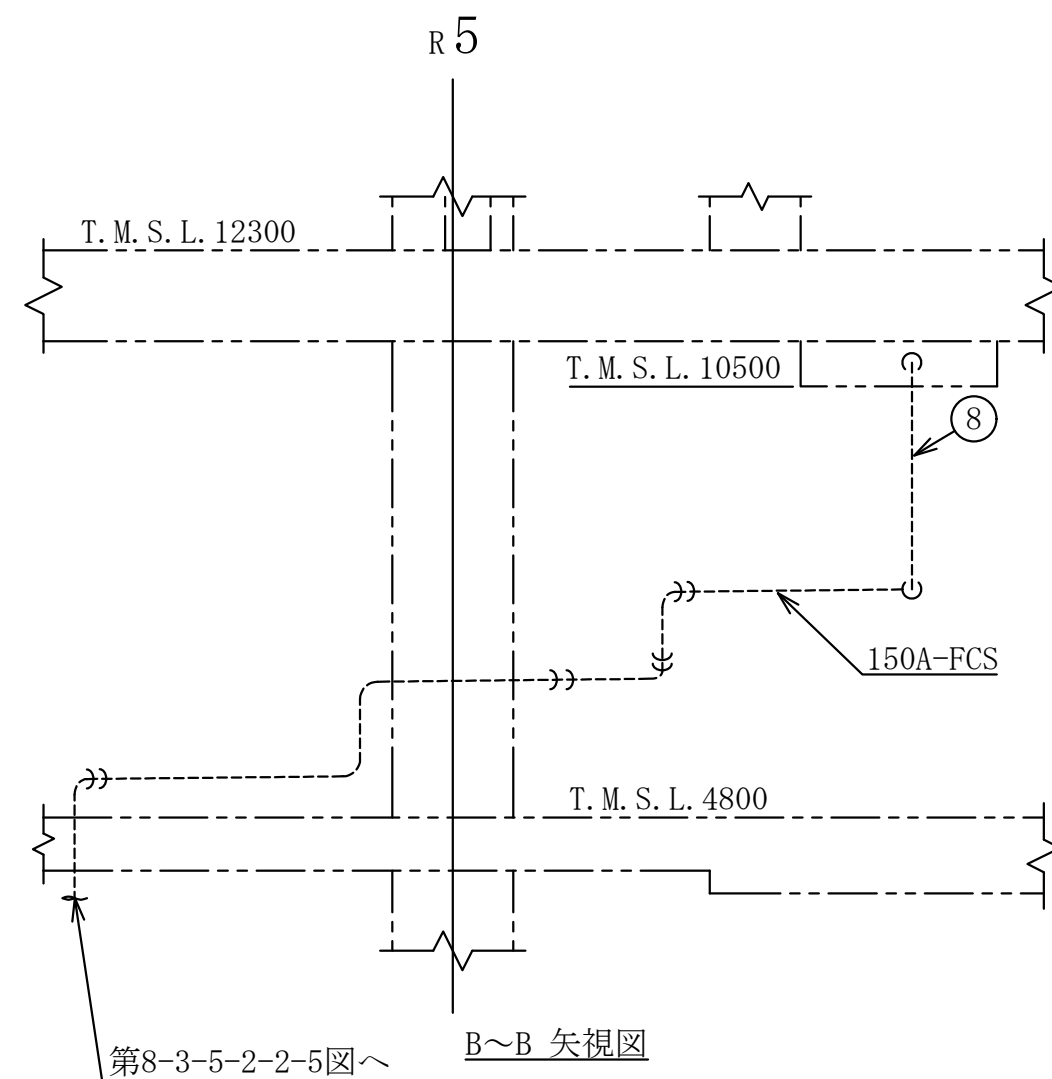
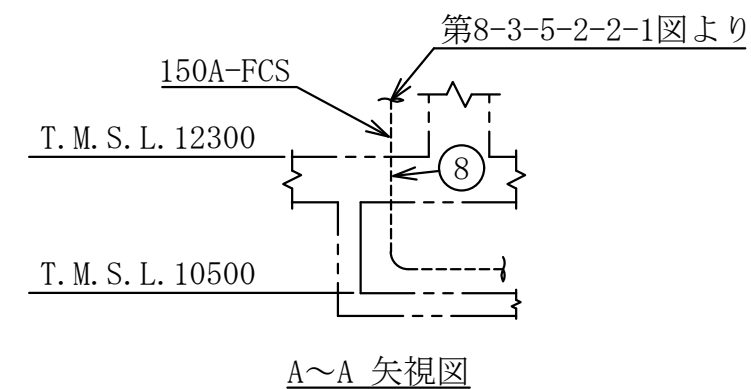
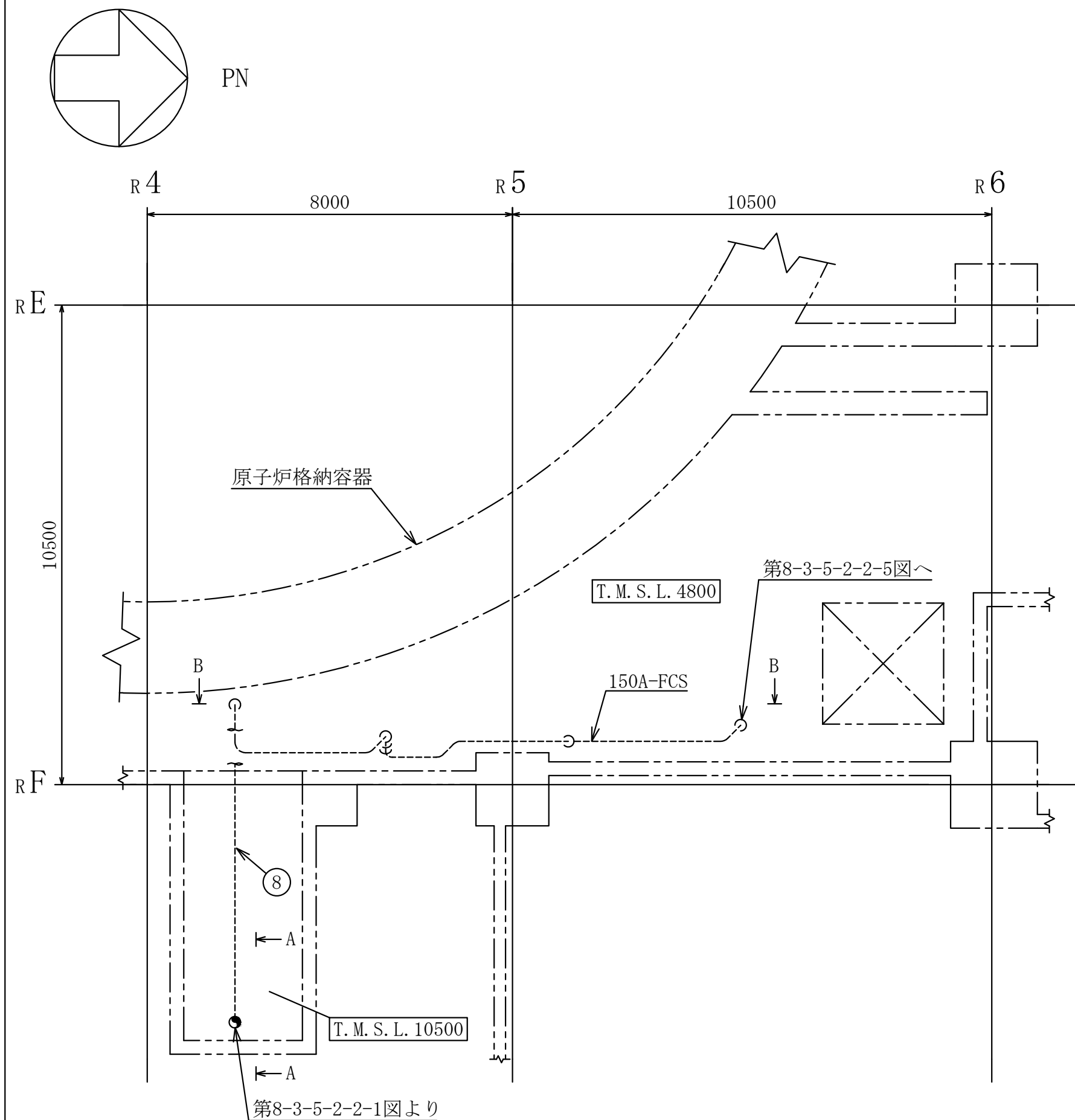
A~A 矢視図



B~B 矢視図

注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋	
第8-3-5-2-2-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)に係る主配管の配置を明示した図面(その3)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCS	1820



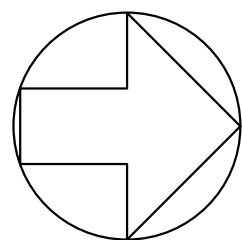
第8-3-5-2-2-1図より

第8-3-5-2-2-5図へ

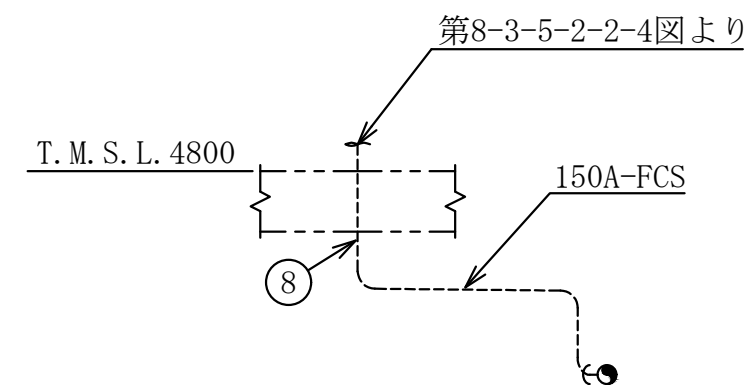
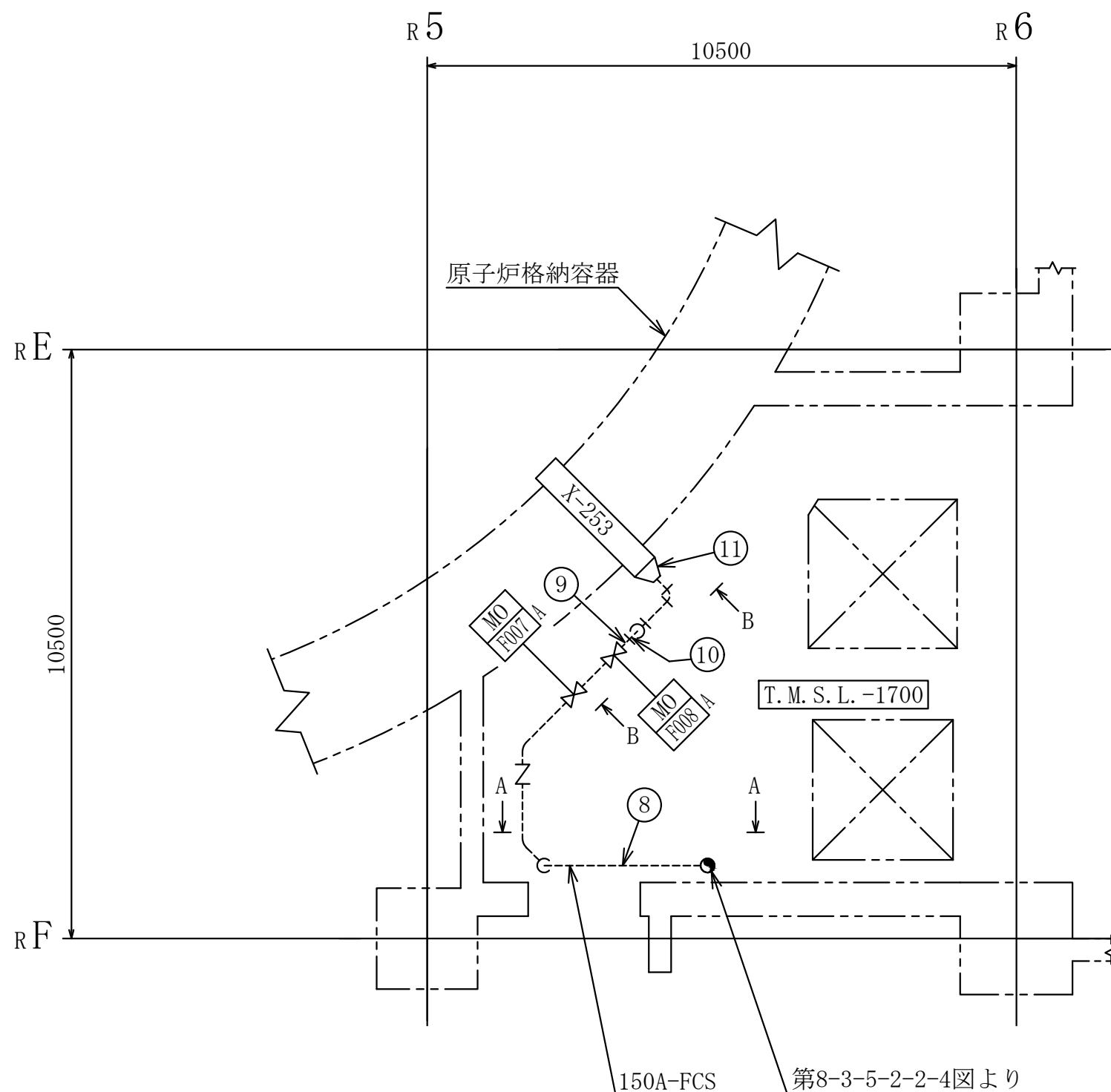
第8-3-5-2-2-5図へ

注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

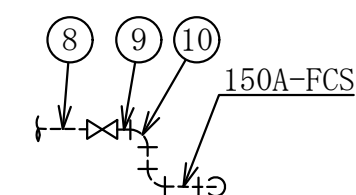
原子炉建屋	
第8-3-5-2-2-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)に係る主配管の配置を明示した図面(その4)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCS	1820



PN



A~A 矢視図



B~B 矢視図

原子炉建屋

第8-3-5-2-2-5図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

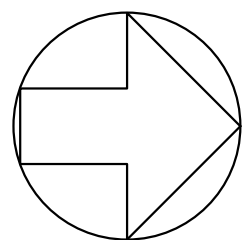
名称 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)に係る主配管の配置を明示した図面(その5)

東京電力ホールディングス株式会社

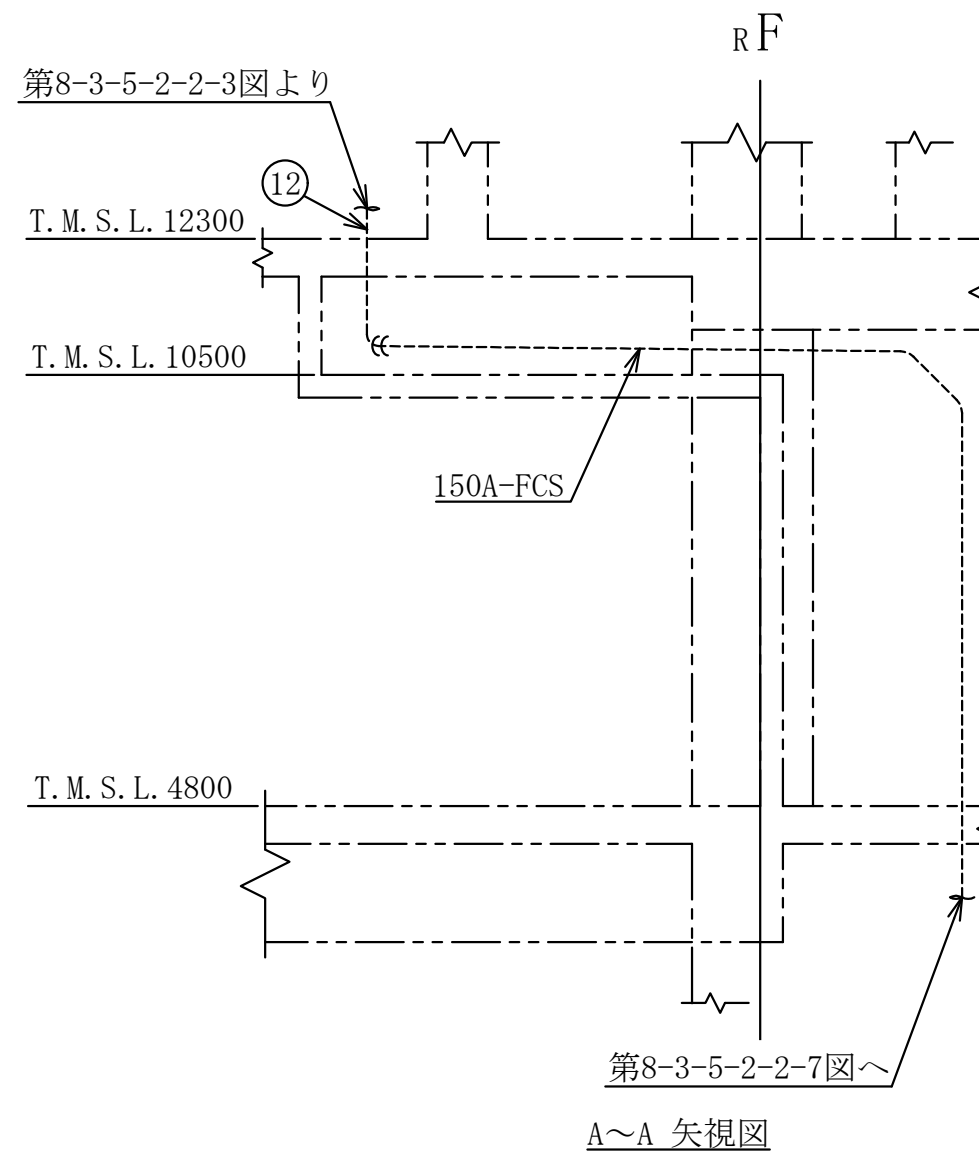
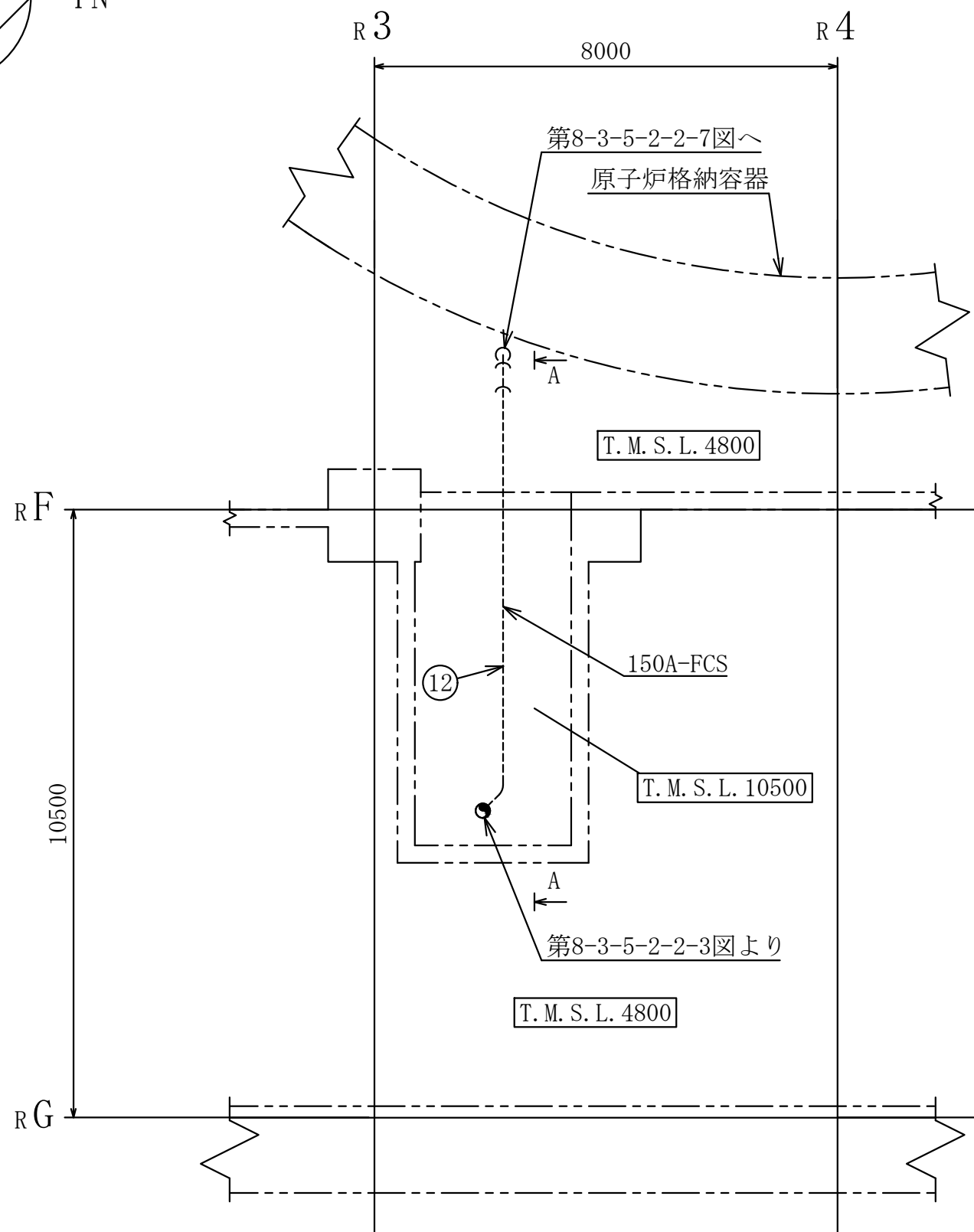
FCS 1820

注1：寸法はmmを示す。

注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。



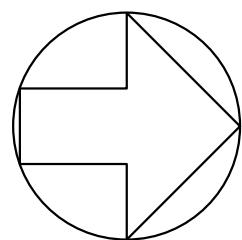
PN



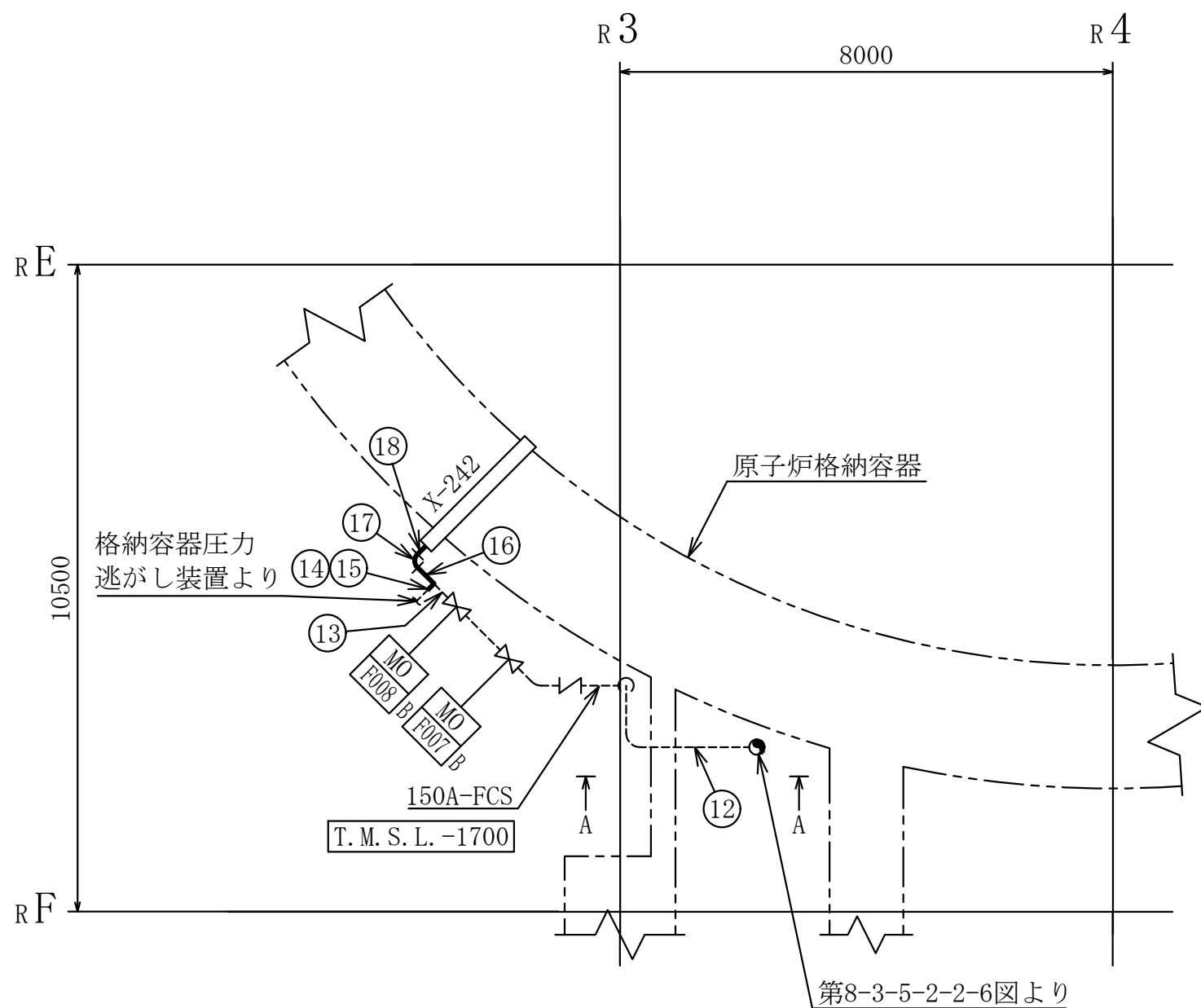
原子炉建屋

第8-3-5-2-2-6図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)に係る主配管の配置を明示した図面(その6)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCS	1820

注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。



PN



原子炉建屋

第8-3-5-2-2-7図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)に係る主配管の配置を明示した図面(その7)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCS	1824

第 8-3-5-2-2-1~7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)に係る主配管の配置を明示した図面別紙 1

工事計画抜粋

変 更 前*1						変 更 後						*11 NO.	
名 称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料		
可 燃 性 ガ ス 濃 度 制 御 系	*2 ドライウエル ～ 可燃性ガス濃度制御系再結合 装置(A)	—				310*4 171 114.3*3 6.0*3 STS410*5 *3, *6, *7 114.3 6.0*3, *6, *7 STS410*6, *7	変更なし	310	171	*3 406.4 /216.3	*3 12.7 / 8.2	STS410	1
		*3 216.3 /114.3	*3 8.2 /6.0	STS410	2								
		変更なし								3			
		変更なし								4			
	*2 ドライウエル ～ 可燃性ガス濃度制御系再結合 装置(B)	310*4 171	*3, *7 165.2 /114.3	*3, *7 7.1 /6.0	STS410*7	変更なし	310	171	変更なし			5	
			*3, *6, *7 114.3	6.0*3, *6, *7	STS410*6, *7				6				
			114.3*3	6.0*3	STS410*5				7				
			*3, *7 114.3 /114.3 /114.3	*3, *7 6.0 /6.0 /6.0	STS410*7				(削除)		—		
	*8 可燃性ガス濃度制御系再結合 装置(A) ～ サプレッションチェンバ	310*4 171	165.2*3	7.1*3	STS410*5	変更なし	310	104	変更なし			8	
		310*4 104	165.2*3	7.1*3	STS410*5				9				
			*3, *6, *7 165.2	7.1*3, *6, *7	STS410*6, *7				10				
	—					310	104	*3 318.5 /165.2	*3 17.4 / 7.1	SUS304TP	11		
	*8 可燃性ガス濃度制御系再結合 装置(B) ～ フィルタベントドレン移送 ライン合流部	310*4 171	165.2*3	7.1*3	STS410*5	変更なし						12	
310*4 104		165.2*3	7.1*3	STS410*5	変更なし						13		

K6 ① 8-3-5-2-2-1~7 R0

変更前 ^{*1}						変更後						*11 NO.				
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料					
可燃性ガス濃度制御系	*8 フィルタベントドレン移送 ライン合流部 ～ サプレッションチェンバ	—				可燃性ガス濃度制御系	*9 フィルタベントドレン移送 ライン合流部 ～ サプレッションチェンバ	620 ^{*10}	200 ^{*10}	75.0 ^{*3}	□ (6.95 ^{*3})	S25C	14			
		620 ^{*10}	200 ^{*10}	75.0 ^{*3}	□ (11.15 ^{*3})			S25C	15							
		変更なし 620 ^{*10}	変更なし 200 ^{*10}	変更なし				16								
		変更なし 620 ^{*10}	変更なし 200 ^{*10}						17							
		310 ^{*4}		104	165.2 ^{*3}			7.1 ^{*3}		STS410 ^{*5}	(削除)					
		310 ^{*4}	104	*3, *6, *7 165.2	7.1 ^{*3, *6, *7}			STS410 ^{*6, *7}	変更なし						18	
310 ^{*4}	104	*3, *7 165.2 /165.2 /165.2	*3, *7 7.1 /7.1 /7.1	STS410 ^{*7}	変更なし						18					
310 ^{*4}	104	165.2 ^{*3}	7.1 ^{*3}	STS42	変更なし						18					

注記*1 : 変更後の記載に合わせるため、既工事計画書の記載から修正を行う。

- *2 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェルから可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置（通常運転時、可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置が設置されない場合は閉止フランジ）まで」と記載。
- *3 : 公称値を示す。
- *4 : SI 単位に換算したものである。
- *5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は、設計図書による。
- *6 : エルボを示す。
- *7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置（通常運転時、可燃性ガス濃度制御系可搬式再結合装置が設置されない場合は閉止フランジ）からサプレッションチェンバまで」と記載。
- *9 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）、圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。
- *10 : 重大事故等時における使用時の値。
- *11 : 第 8-3-5-2-2-1~7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)に係る主配管の配置を明示した図面に記載の丸番号を示す。

第 8-3-5-2-2-1~7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）に係る主配管の配置を明示した図面 別紙 2

工事計画記載の公称値の許容範囲

[主配管]

管NO.1*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	75.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	6.95	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

管NO.2*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	75.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	11.15	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

管NO.5*- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	12.7	+規定しない -12.5%	同上

管NO.6*- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	216.3	+2.4mm -1.6mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	8.2	+規定しない -12.5%	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO.7*- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	114.3	±1.6mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	6.0	+規定しない -12.5%	同上

管NO.8*- 管継手

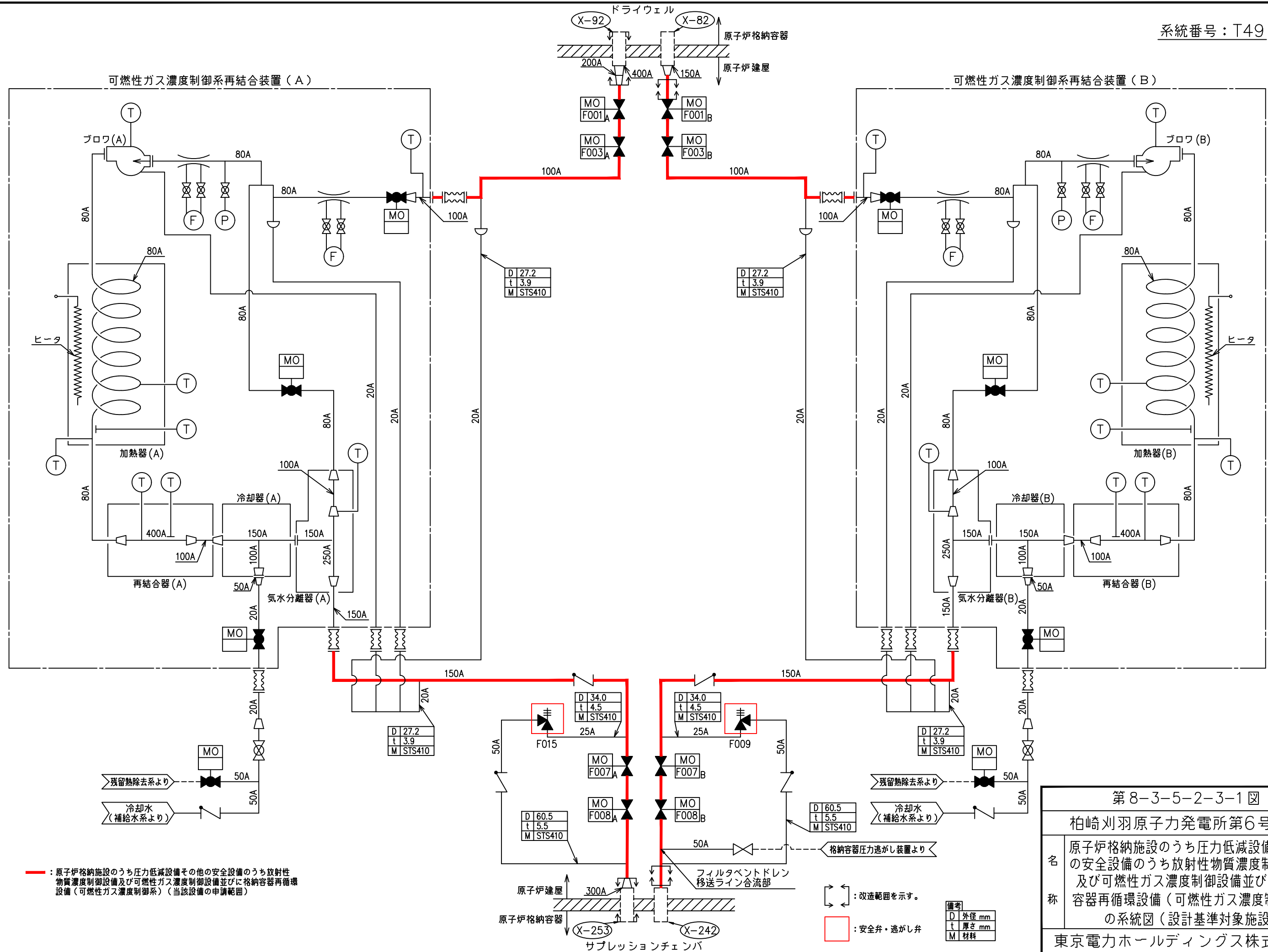
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	165.2	+2.4mm -1.6mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	7.1	+規定しない -12.5%	同上

管NO.9*- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	318.5	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	17.4	+規定しない -12.5%	同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値

注記*：管の基本板厚計算書のNO.を示す。

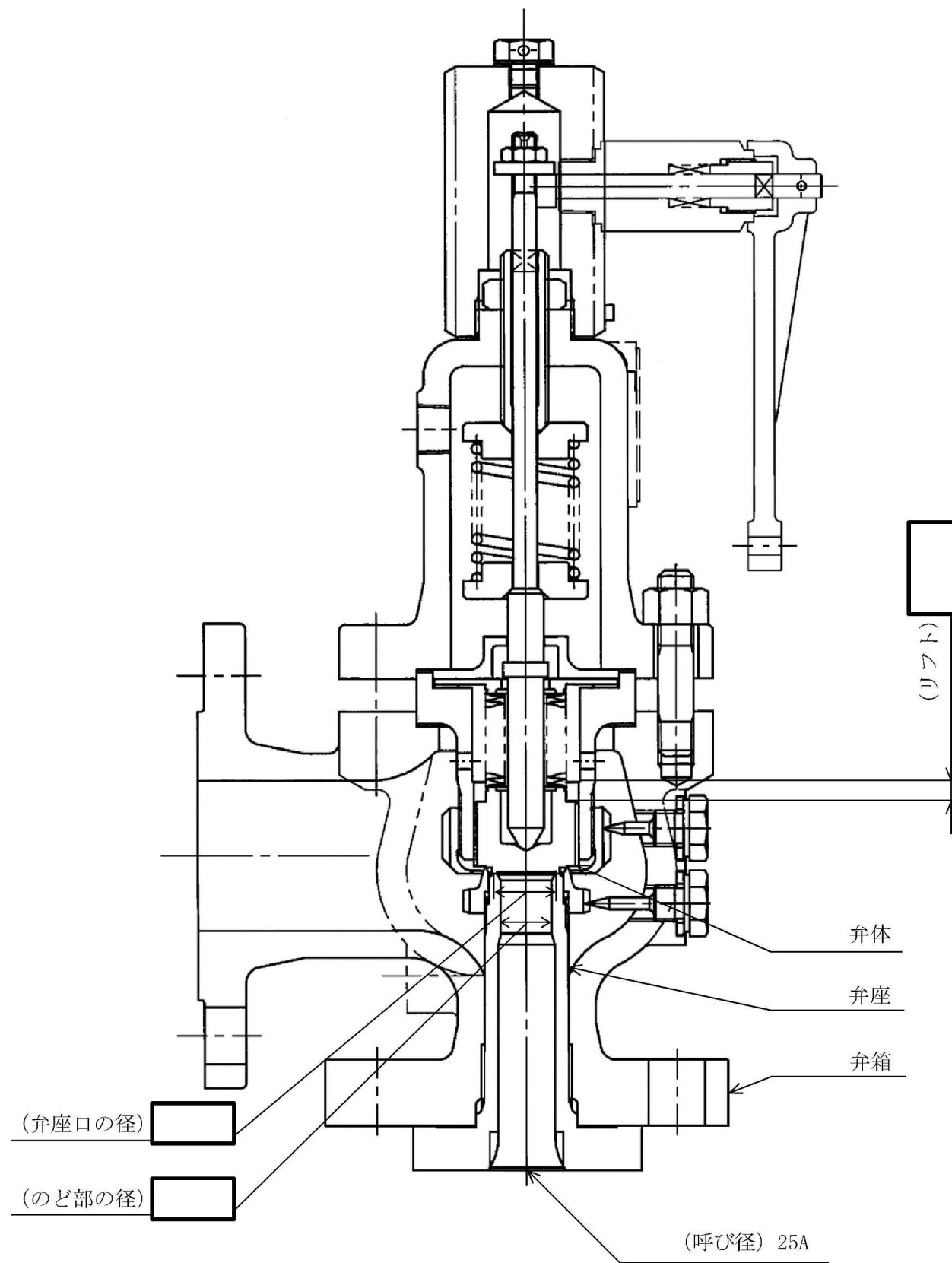


第 8-3-5-2-3-1 図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (可燃性ガス濃度制御系) の系統図 (設計基準対象施設)

東京電力ホールディングス株式会社





注1：寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

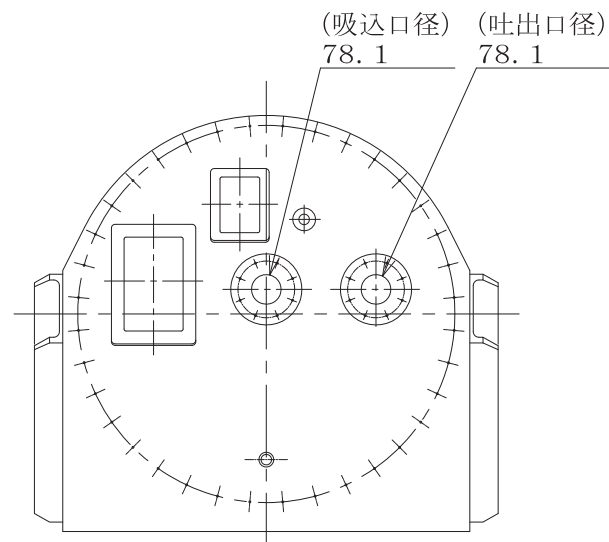
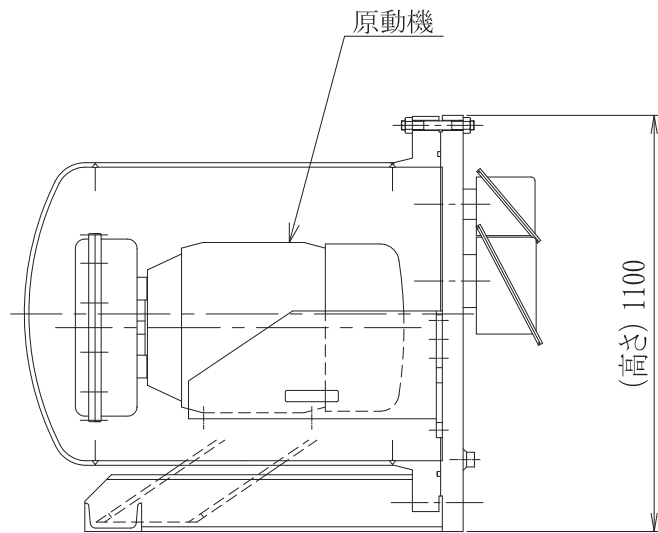
第8-3-5-2-4-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）の構造図 T49-F015
東京電力ホールディングス株式会社	
FCS	3726

第 8-3-5-2-4-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）の構造図 T49-F015 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
のど部の径		+0.2mm 0mm	【プラス側公差】 J I S B 8 2 1 0による製造公差 【マイナス側公差】 J I S B 8 2 1 0による規定
弁座口の径		+0.2mm 0mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



注1:寸法はmmを示す。

注2:特記なき寸法は公称値を示す。

第8-3-5-2-4-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)の構造図
称	可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロウ
東京電力ホールディングス株式会社	

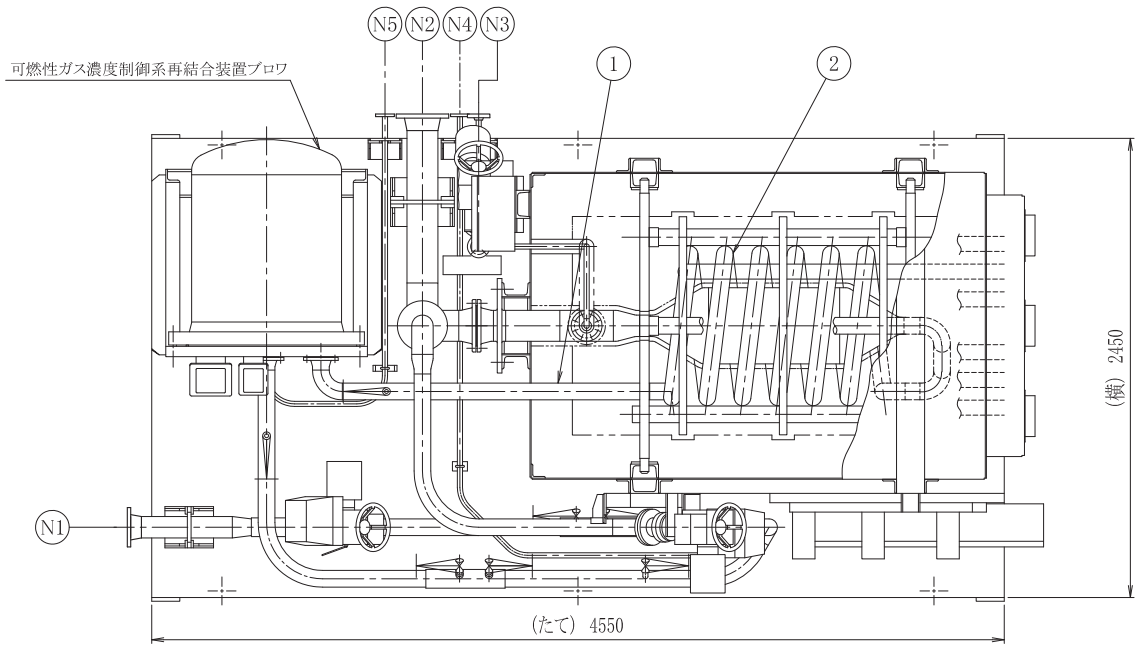
第 8-3-5-2-4-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）の構造図
 可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ]

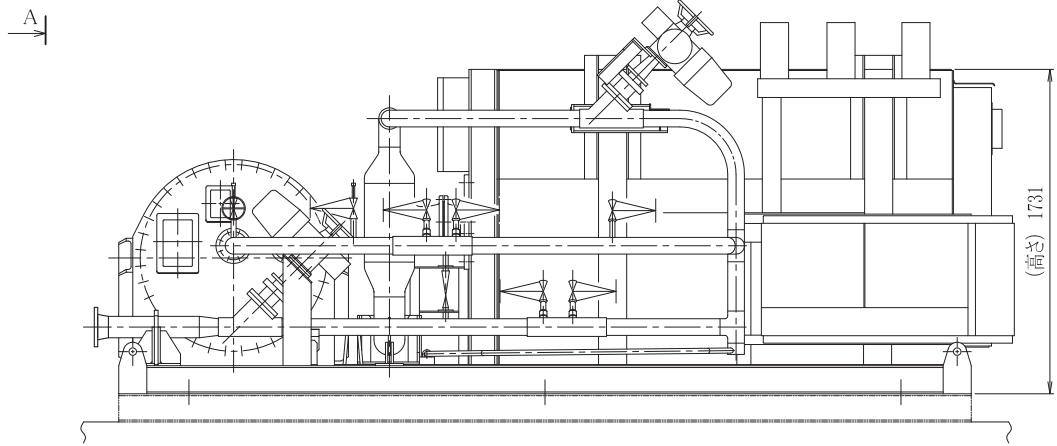
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
吸込口径	78.1	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
吐出口径	78.1	<input type="text"/> mm	同上
高さ	1100	<input type="text"/> mm	同上

注：主要寸法は，工事計画書記載の公称値

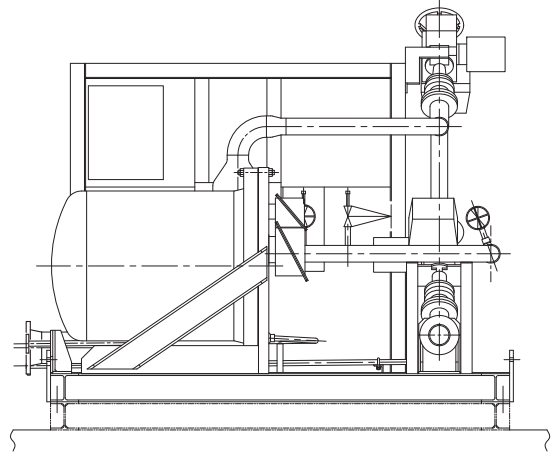


N5	ドレン出口	1	20A
N4	ドレン出口	1	20A
N3	冷却水入口	1	20A
N2	ガス出口	1	150A
N1	ガス入口	1	100A
符号	名称	個数	呼び径
管台一覧表			

2	再結合装置加熱器	1	SUS304TP
1	再結合装置内配管	一式	SUS304TP,SUSP304
番号	品名	個数	材料
部品表			



外形図



A~A矢視図

注1:寸法はmmを示す。
 注2:特記なき寸法は公称値を示す。

第8-3-5-2-4-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可燃性ガス濃度制御系)の構造図 可燃性ガス濃度制御系再結合装置
称	
東京電力ホールディングス株式会社	

第 8-3-5-2-4-3 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可燃性ガス濃度制御系）の構造図
可燃性ガス濃度制御系再結合装置 別紙

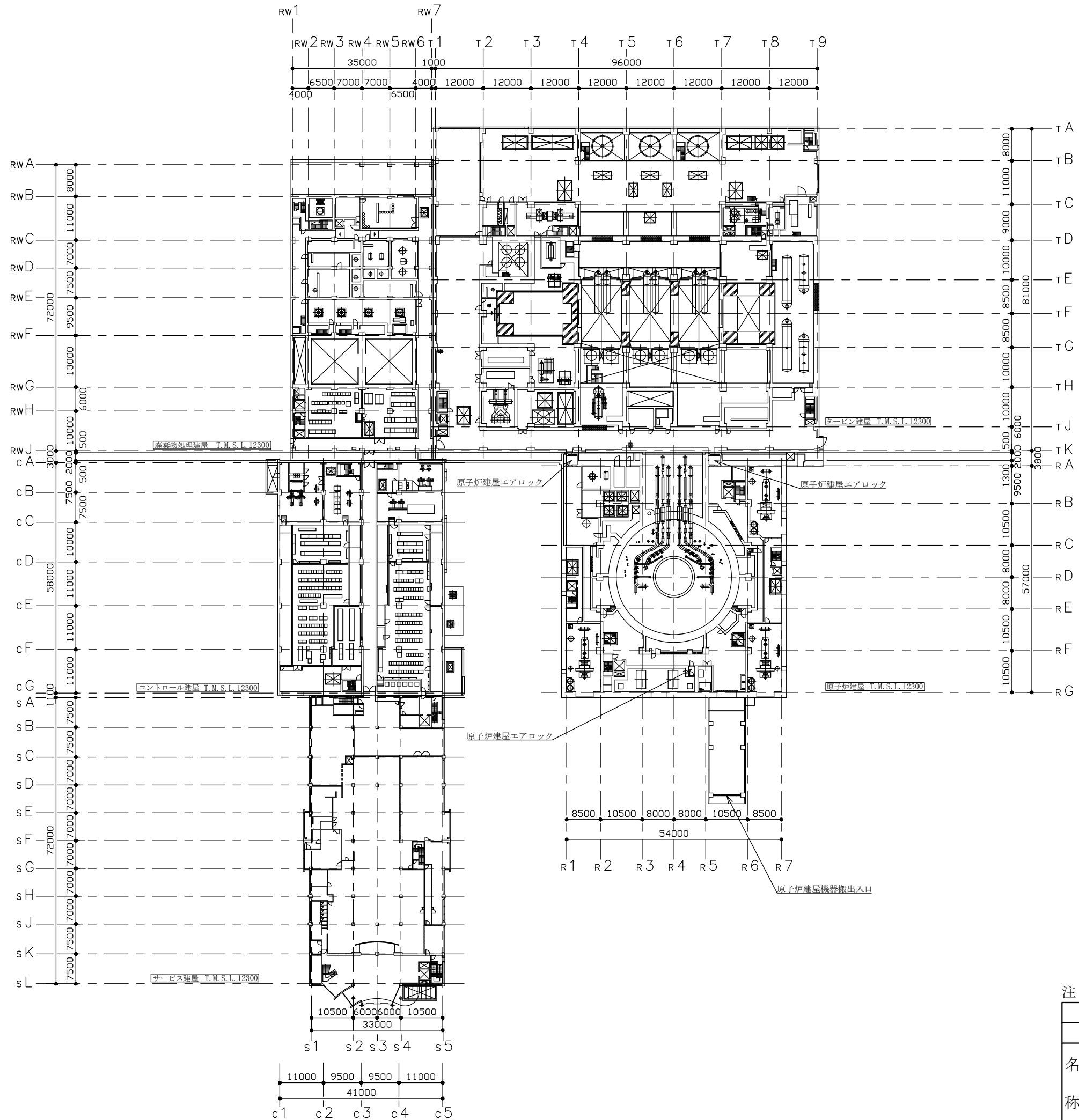
工事計画記載の公称値の許容範囲

[可燃性ガス濃度制御系再結合装置]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	4550	□ mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	2450	□ mm	同上
高さ	1731	□ mm	同上

注：主要寸法は，工事計画書記載の公称値

8.3.5.3 水素濃度抑制系

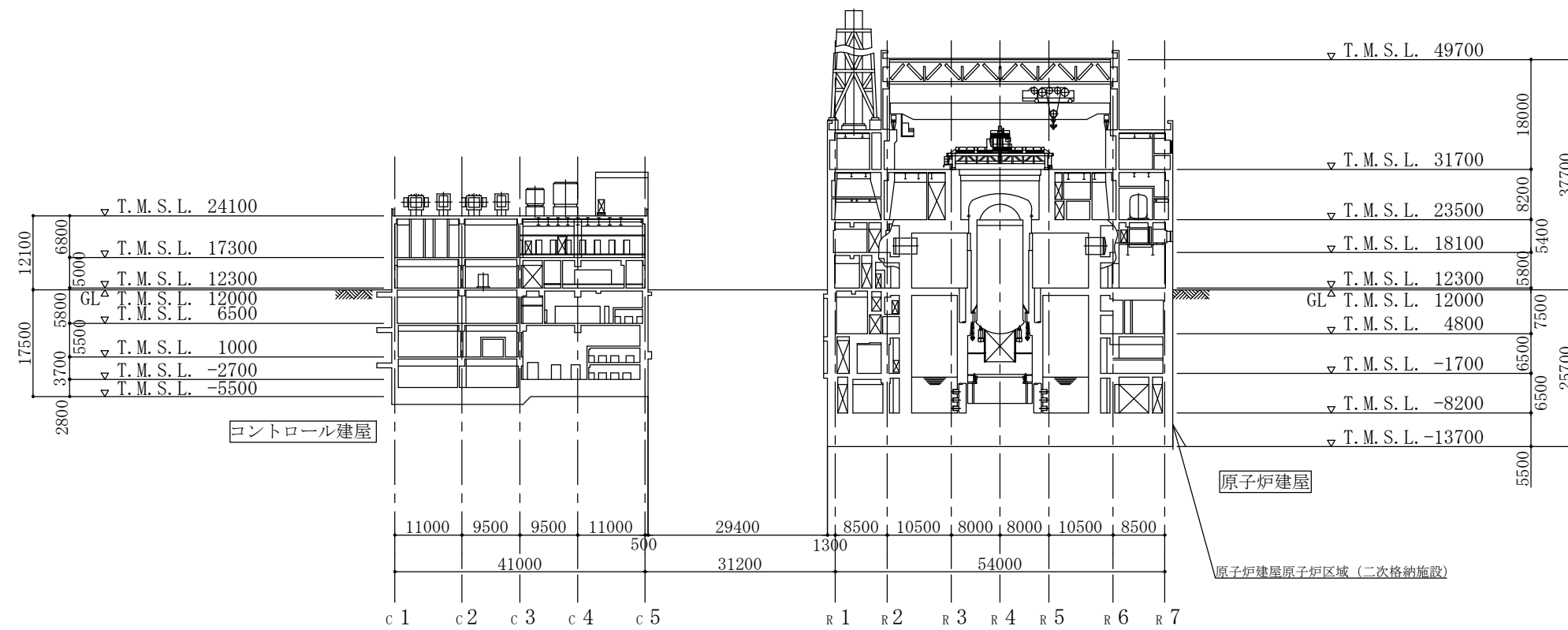


第8-3-5-3-1-1図

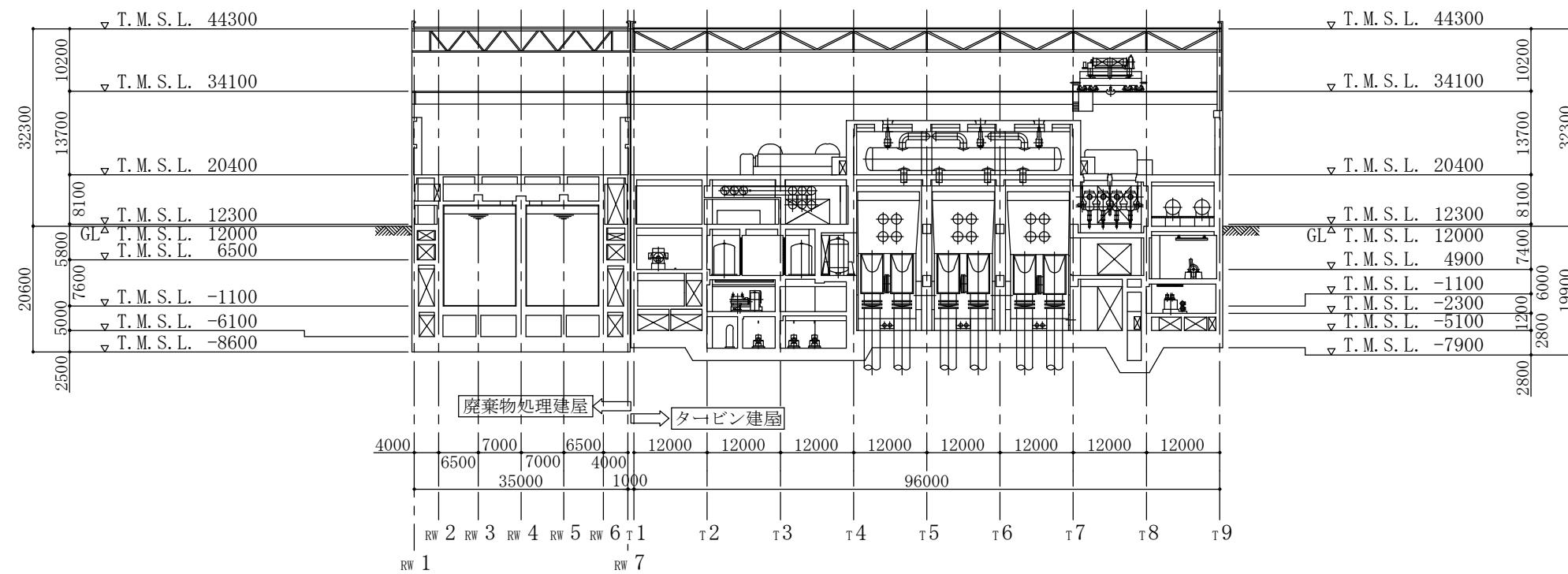
柏崎刈羽原子力発電所第6号機

名称 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（水素濃度抑制系）に係る機器の配置を明示した図面（その1）

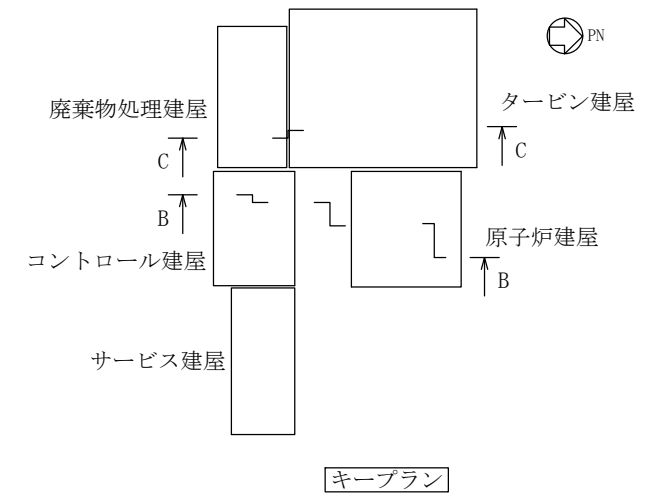
東京電力ホールディングス株式会社



B-B断面図

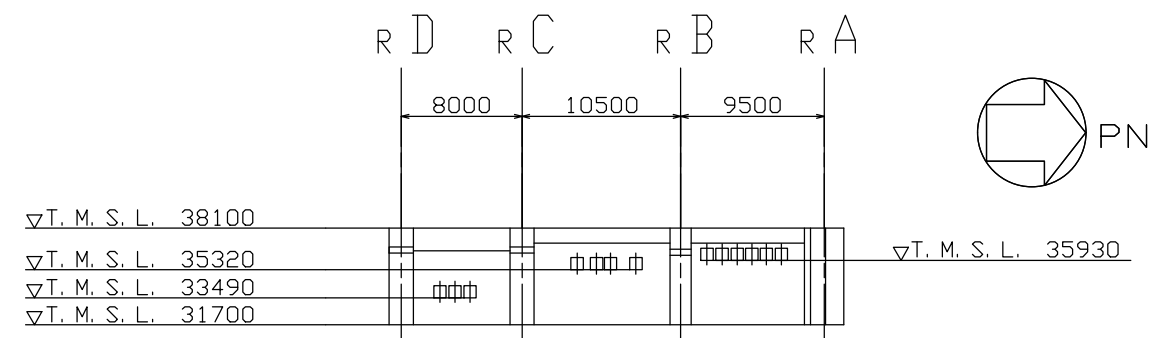
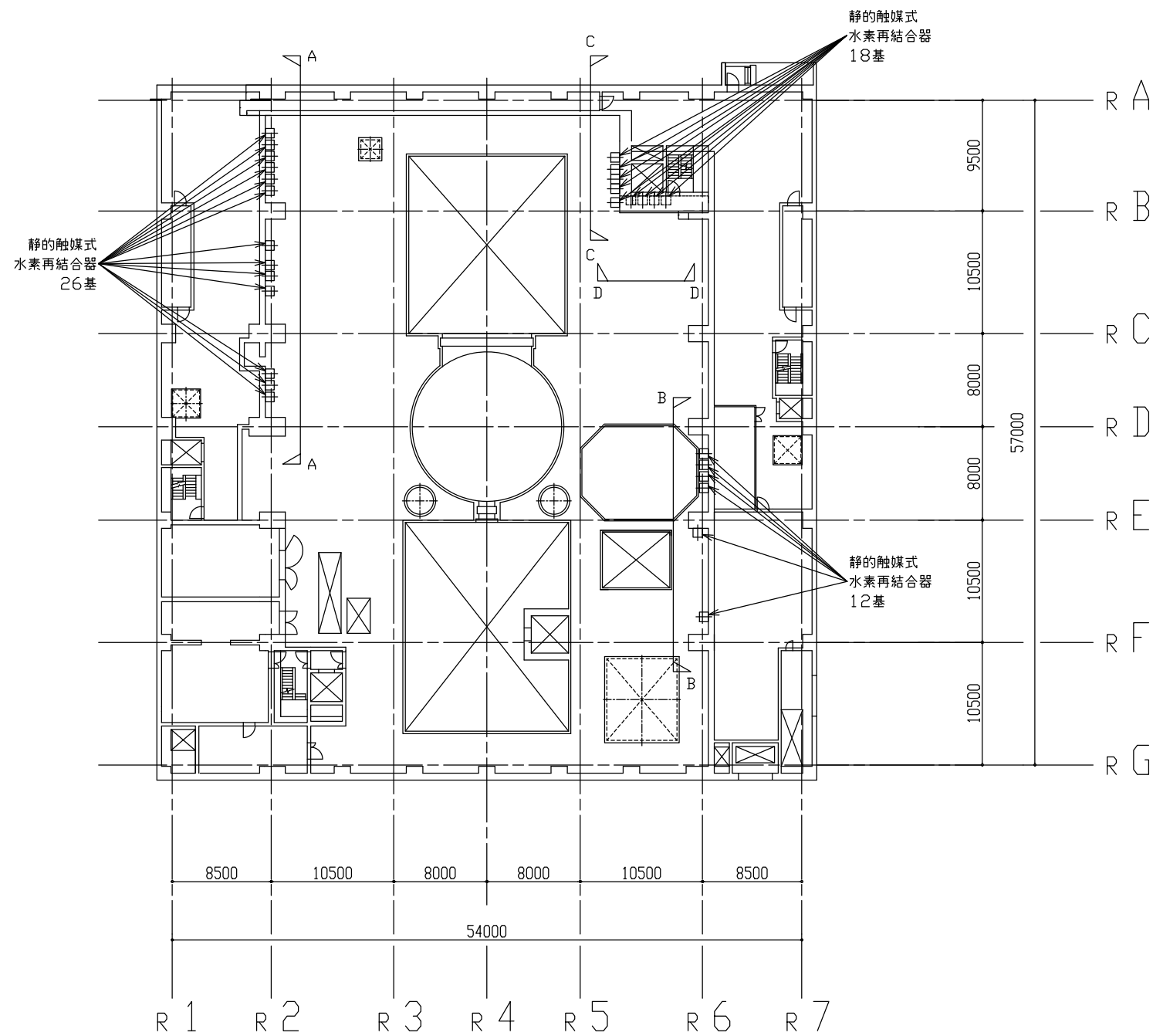


C-C断面図

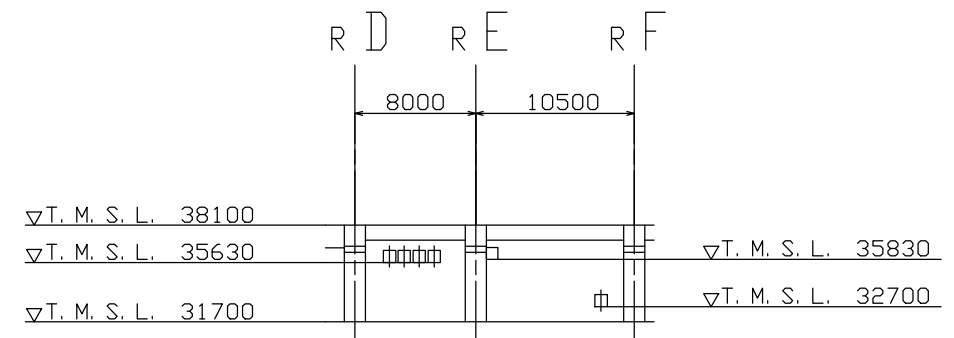


注：寸法はmmを示す。

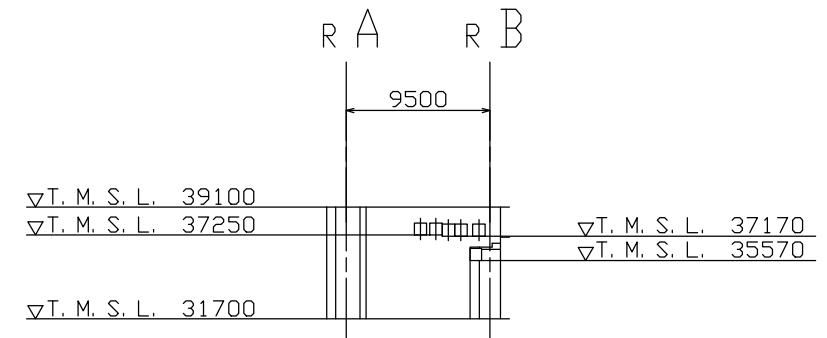
第8-3-5-3-1-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備 及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環 設備（水素濃度抑制系）に係る機器の配置を明 示した図面（その2）
	東京電力ホールディングス株式会社



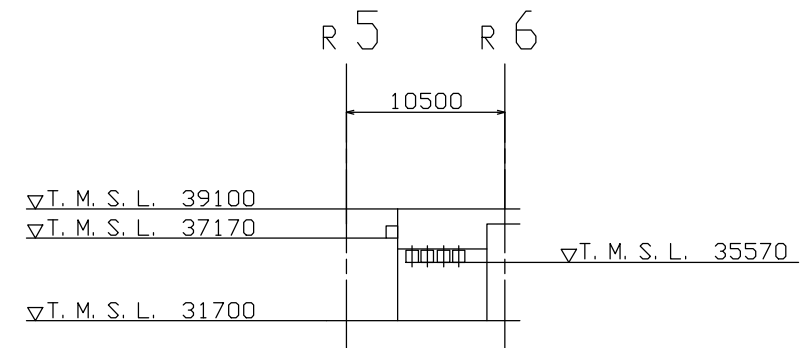
A - A 断面図



B - B 断面図



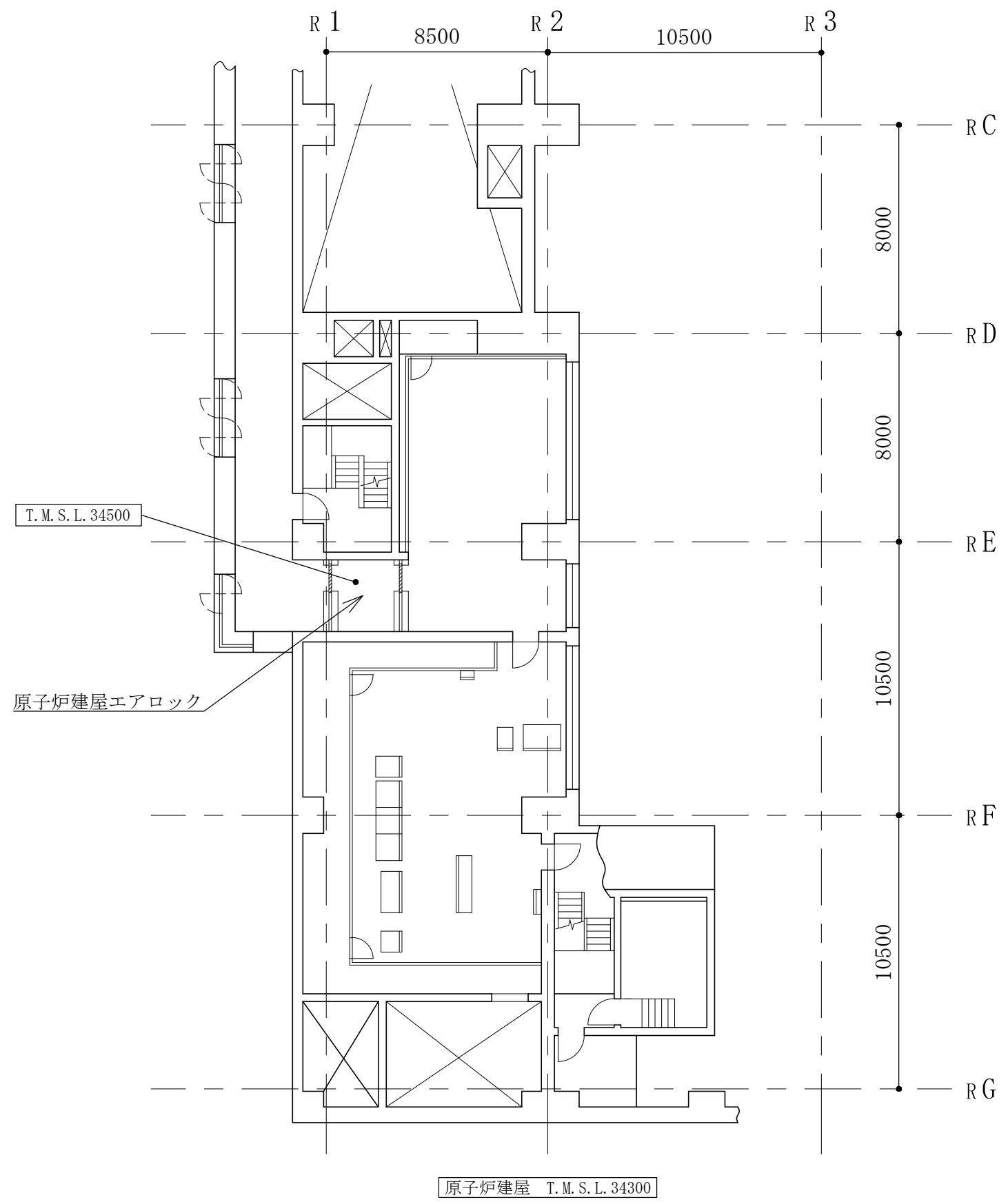
C - C 断面図



D - D 断面図

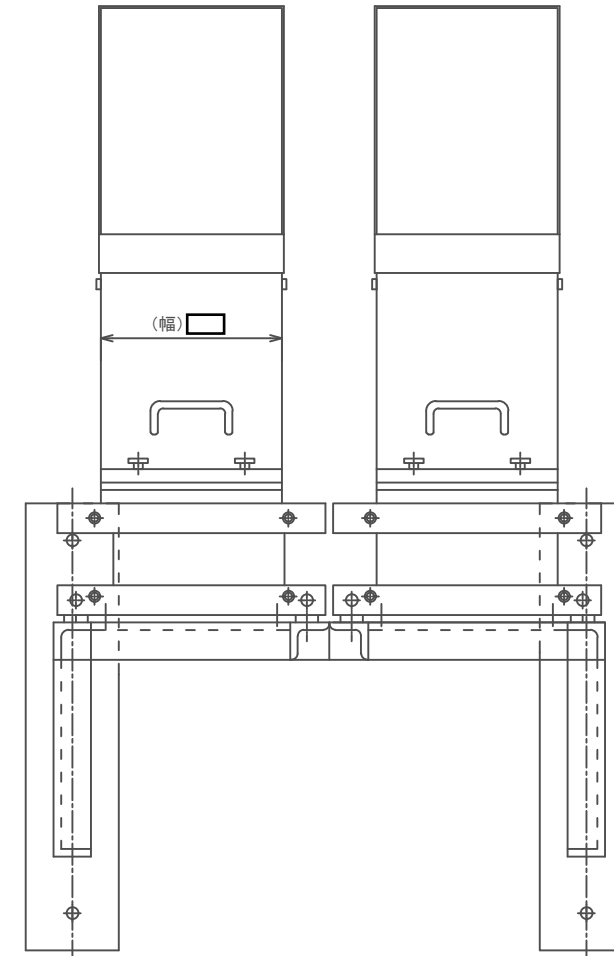
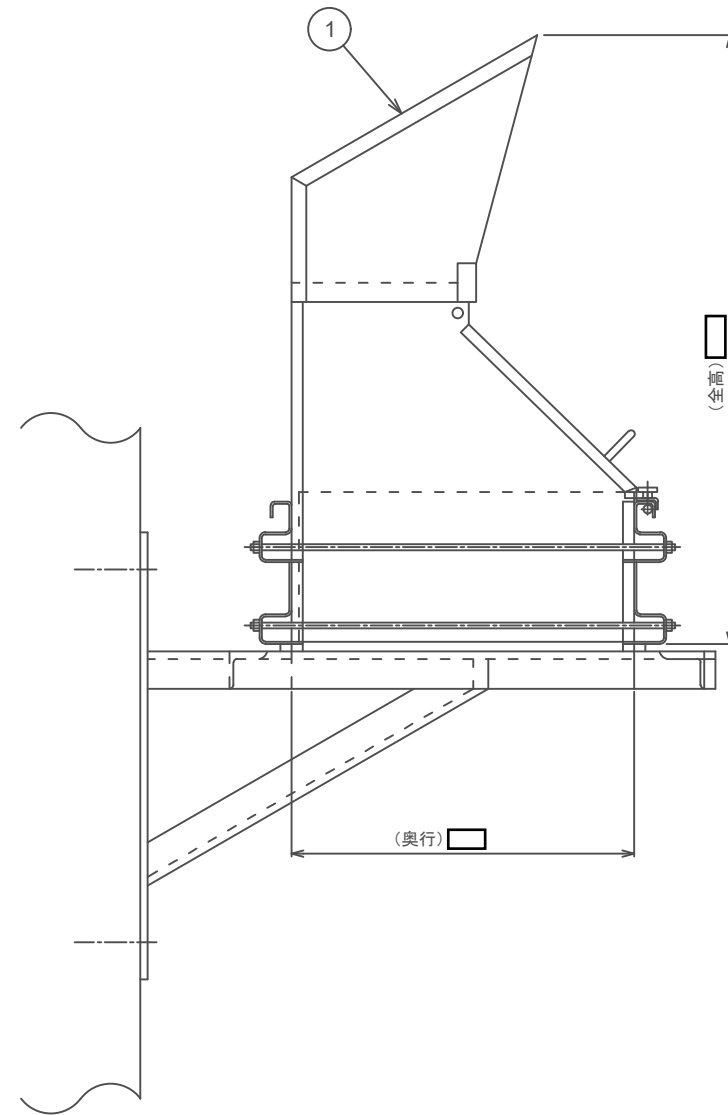
注1: 寸法はmmを示す。
注2: □は静的触媒式水素再結合器 取付架台(2基用)を示す。

第8-3-5-3-1-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち放射性物質濃度 制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備 並びに格納容器再循環設備(水素濃度抑 制系)に係る機器の配置を明示した図面 (その3)
東京電力ホールディングス株式会社	



注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-3-1-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（水素濃度抑制系）に係る機器の配置を明示した図面（その4）
東京電力ホールディングス株式会社	



1	ハウジング	56	
番号	品名	個数	材料
部品表			

注1：寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

第8-3-5-3-2-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち放射性物質 濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備 並びに格納容器再循環設備 (水素濃度抑制系)の構造図 静的触媒式水素再結合器
東京電力ホールディングス株式会社	

第 8-3-5-3-2-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（水素濃度抑制系）の構造図 静的触媒式水素再結合器 別紙

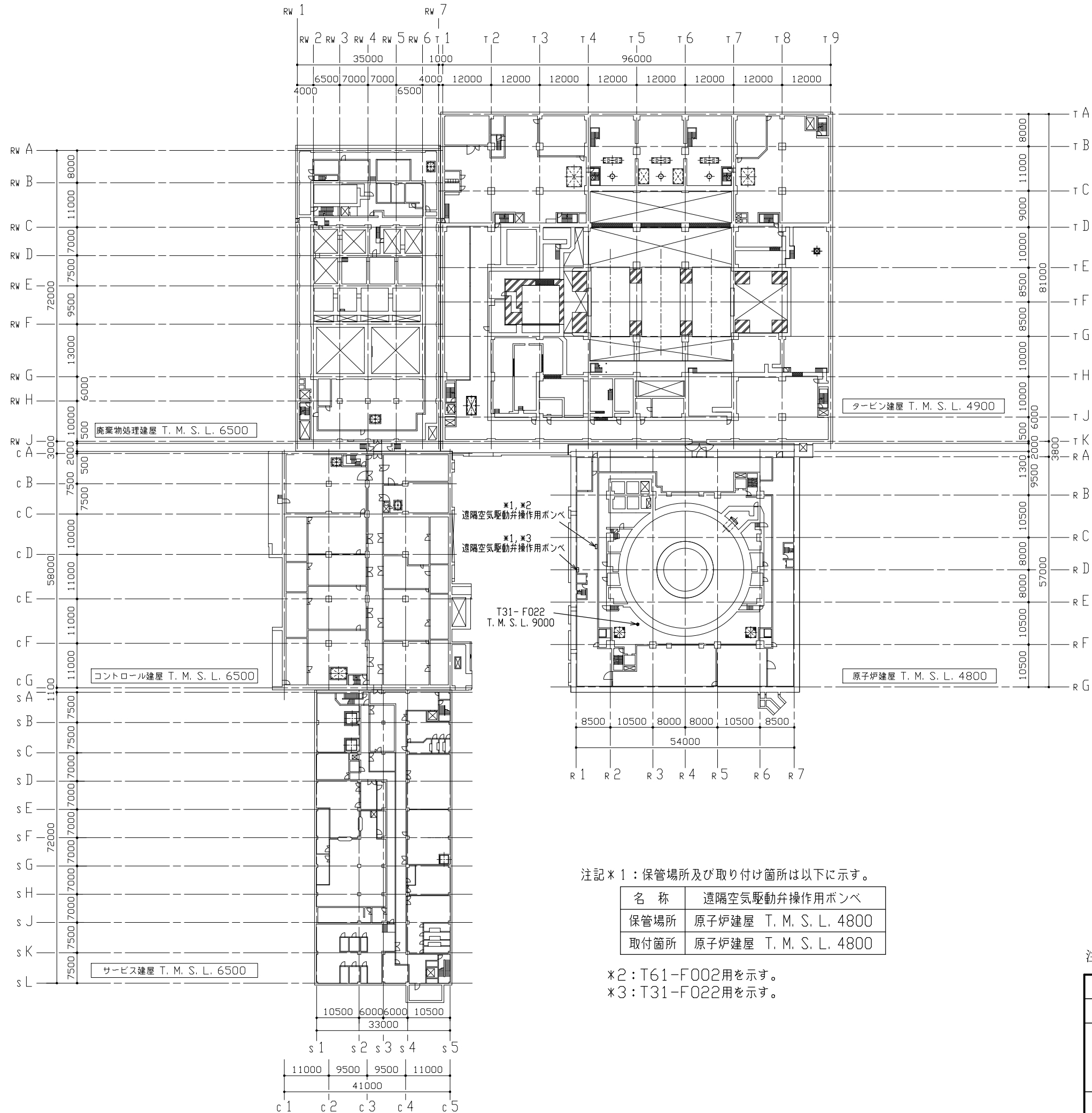
工事計画記載の公称値の許容範囲

[静的触媒式水素再結合器]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
全高	□	mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
幅		mm	同上
奥行		mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

8.3.5.4 耐圧強化ベント系



注記*1：保管場所及び取り付け箇所は以下に示す。

名称	遠隔空気駆動弁操作ポンペ
保管場所	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800
取付箇所	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800

*2：T61-F002用を示す。

*3：T31-F022用を示す。

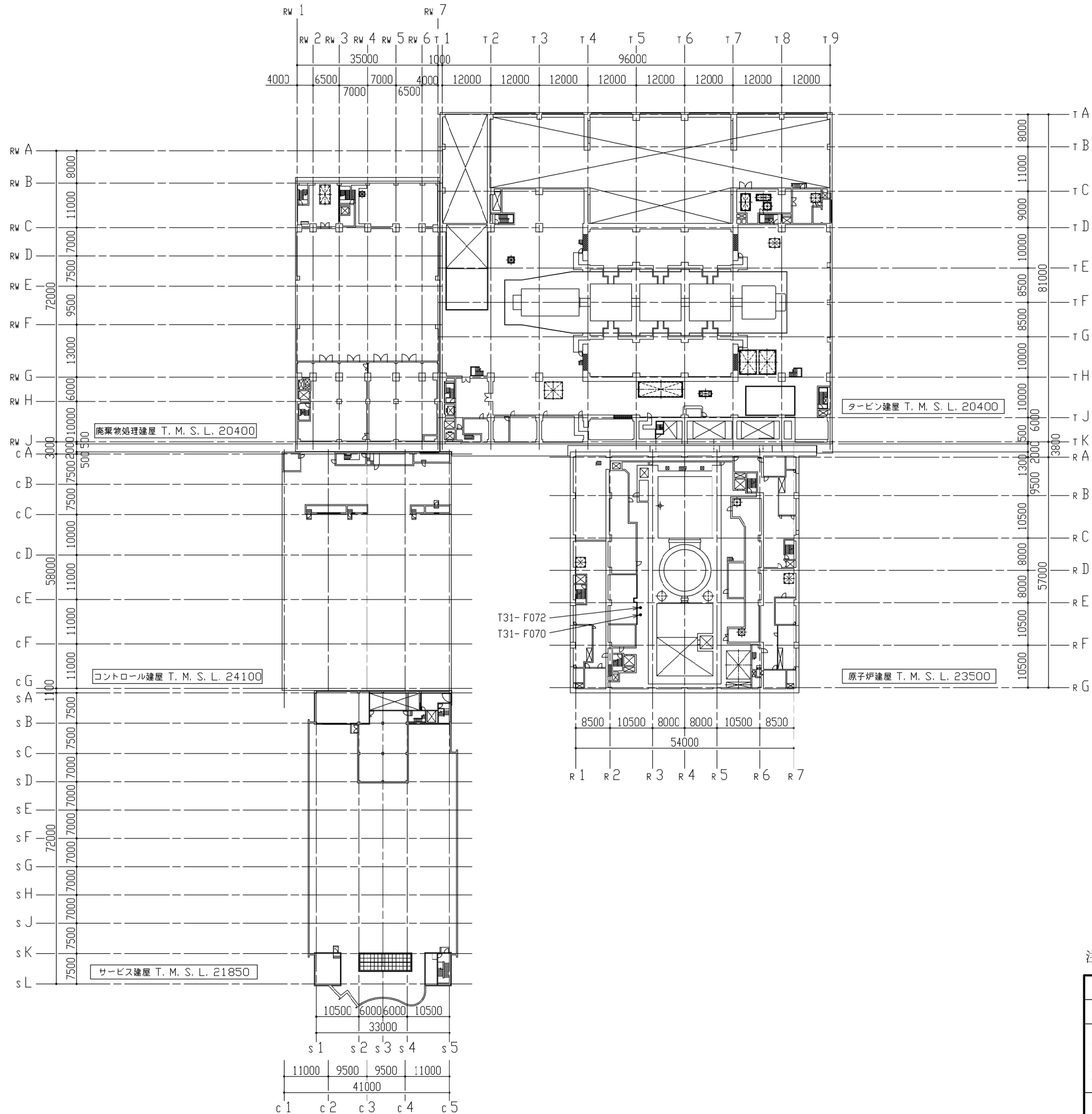
注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-4-1-1図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

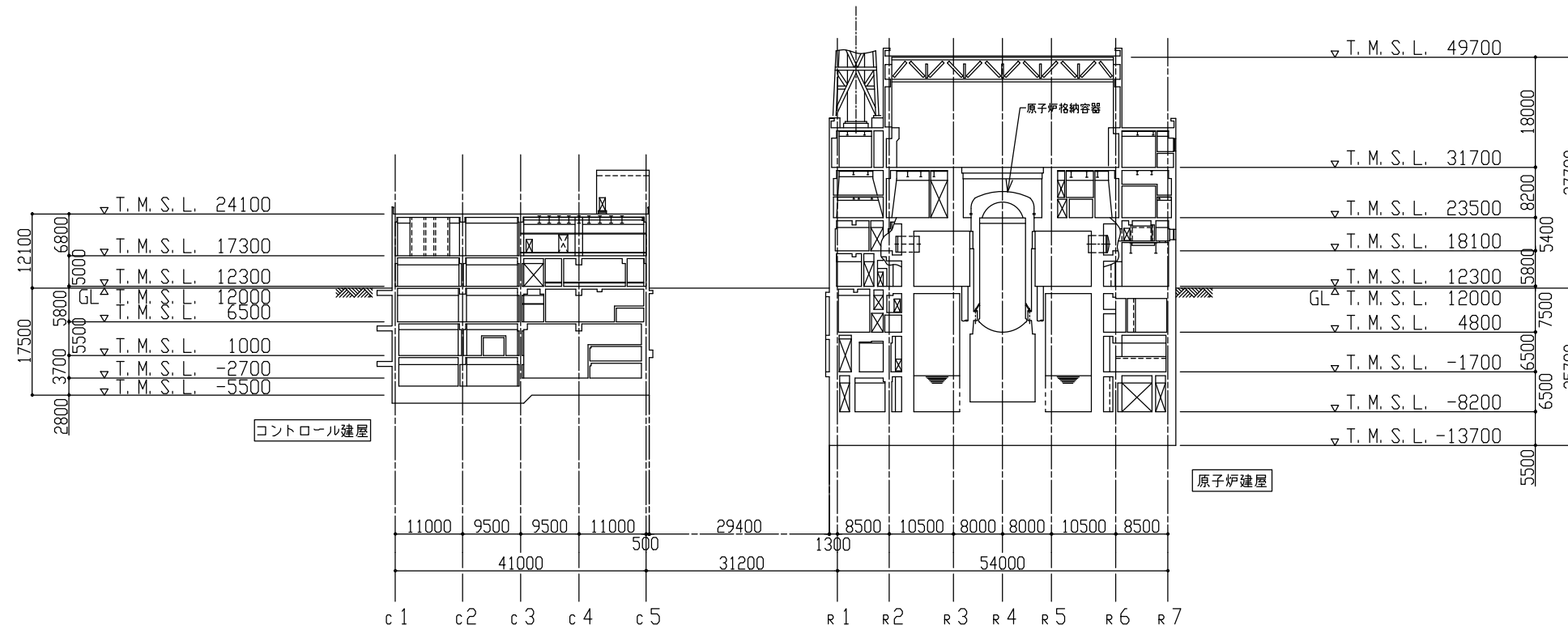
名称 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)に係る機器の配置を明示した図面(その1)

東京電力ホールディングス株式会社

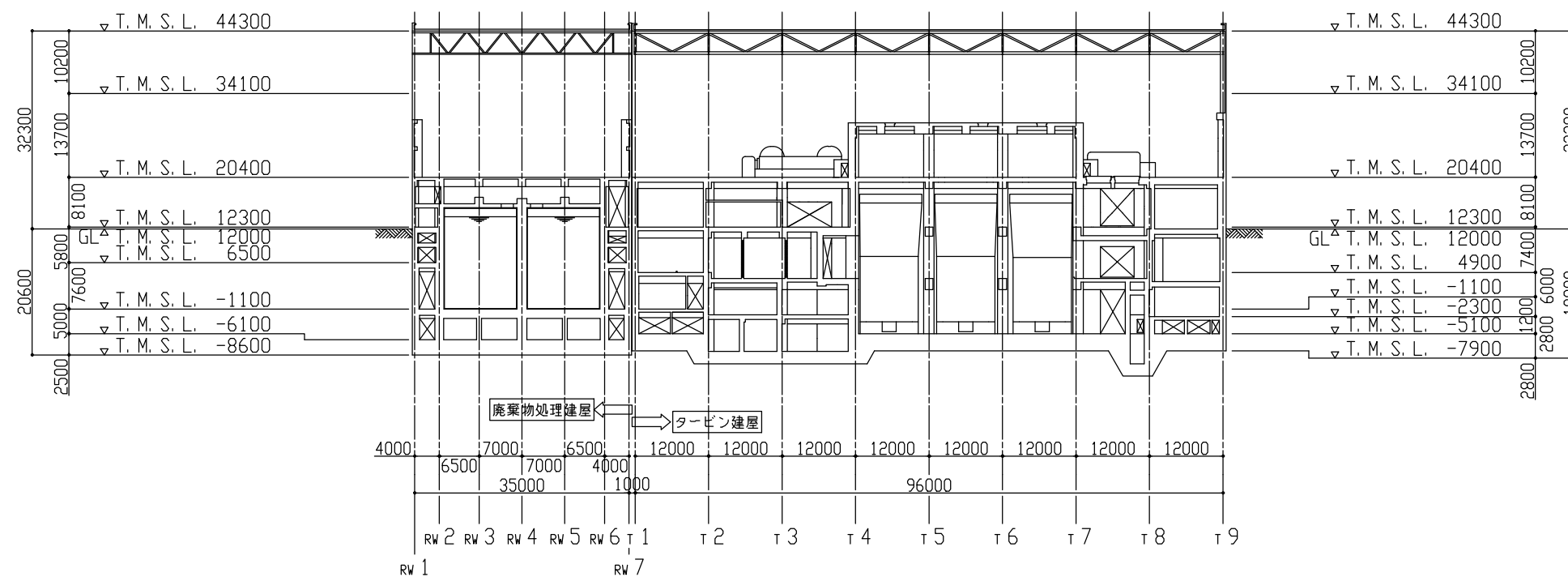


注：寸法はmmを示す。

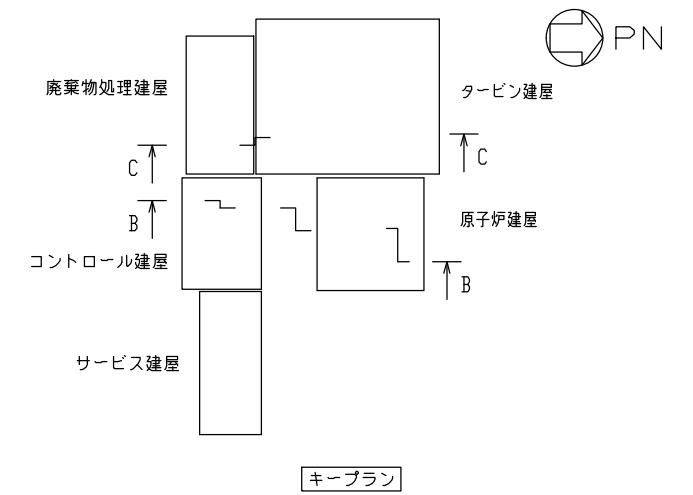
第8-3-5-4-1-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)に係る機器の配置を明示した図面(その2)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	1513



B-B断面図

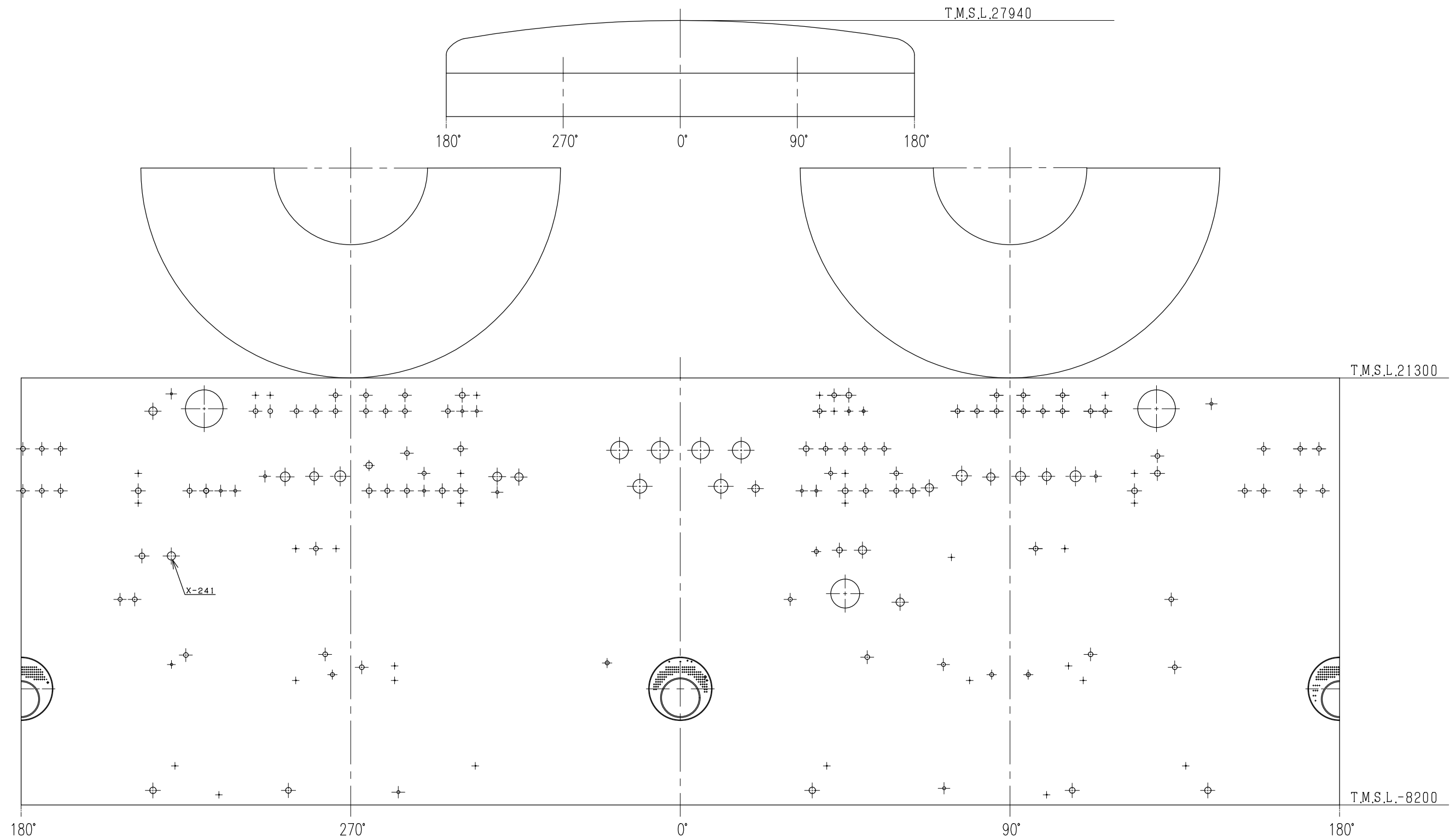


C-C断面図



注：寸法はmmを示す。

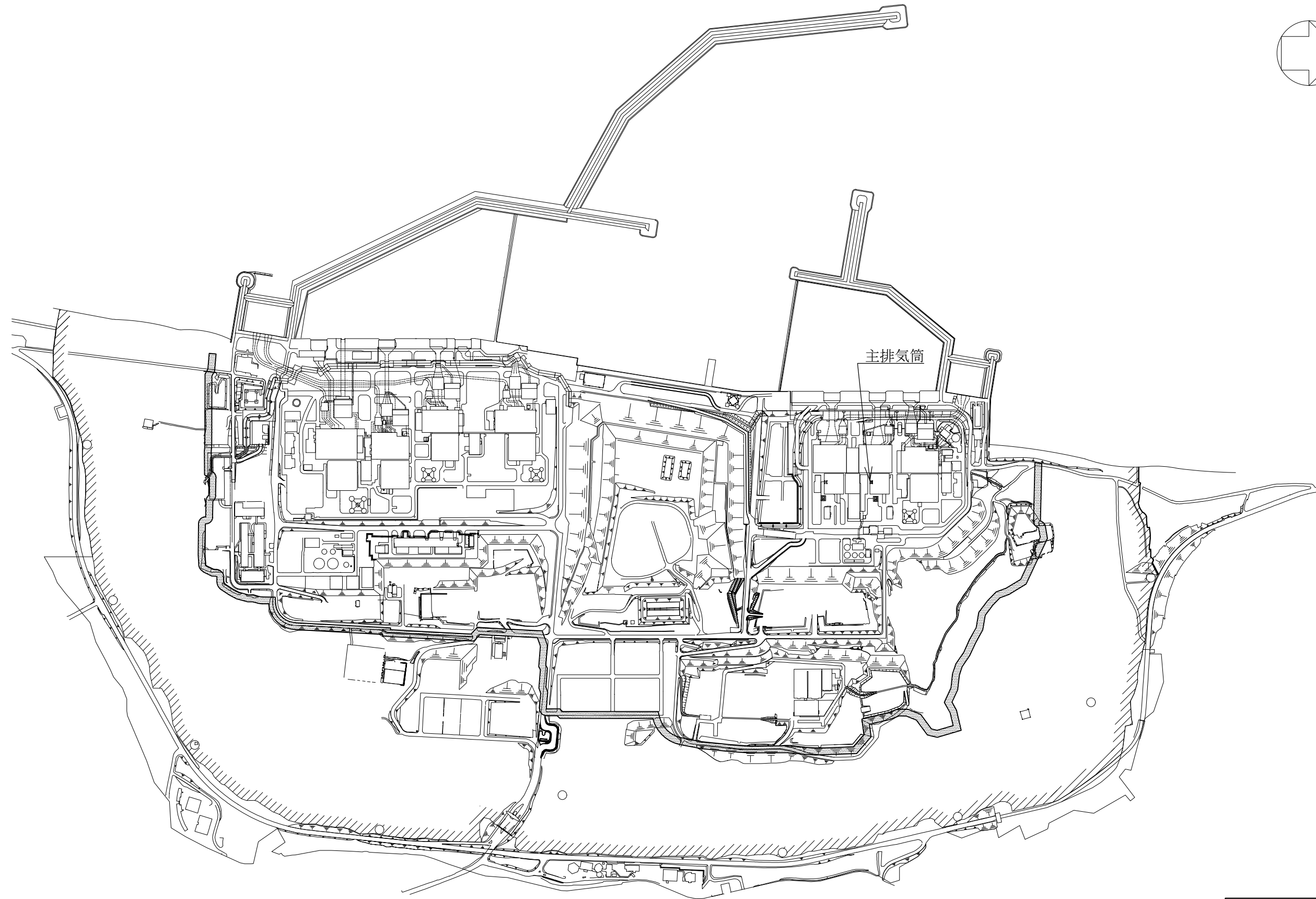
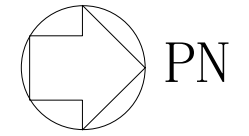
第8-3-5-4-1-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)に係る機器の配置を明示した図面(その3)
東京電力ホールディングス株式会社	
02	3612



原子炉格納容器 内側展開図

注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-4-1-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その4）
東京電力ホールディングス株式会社	

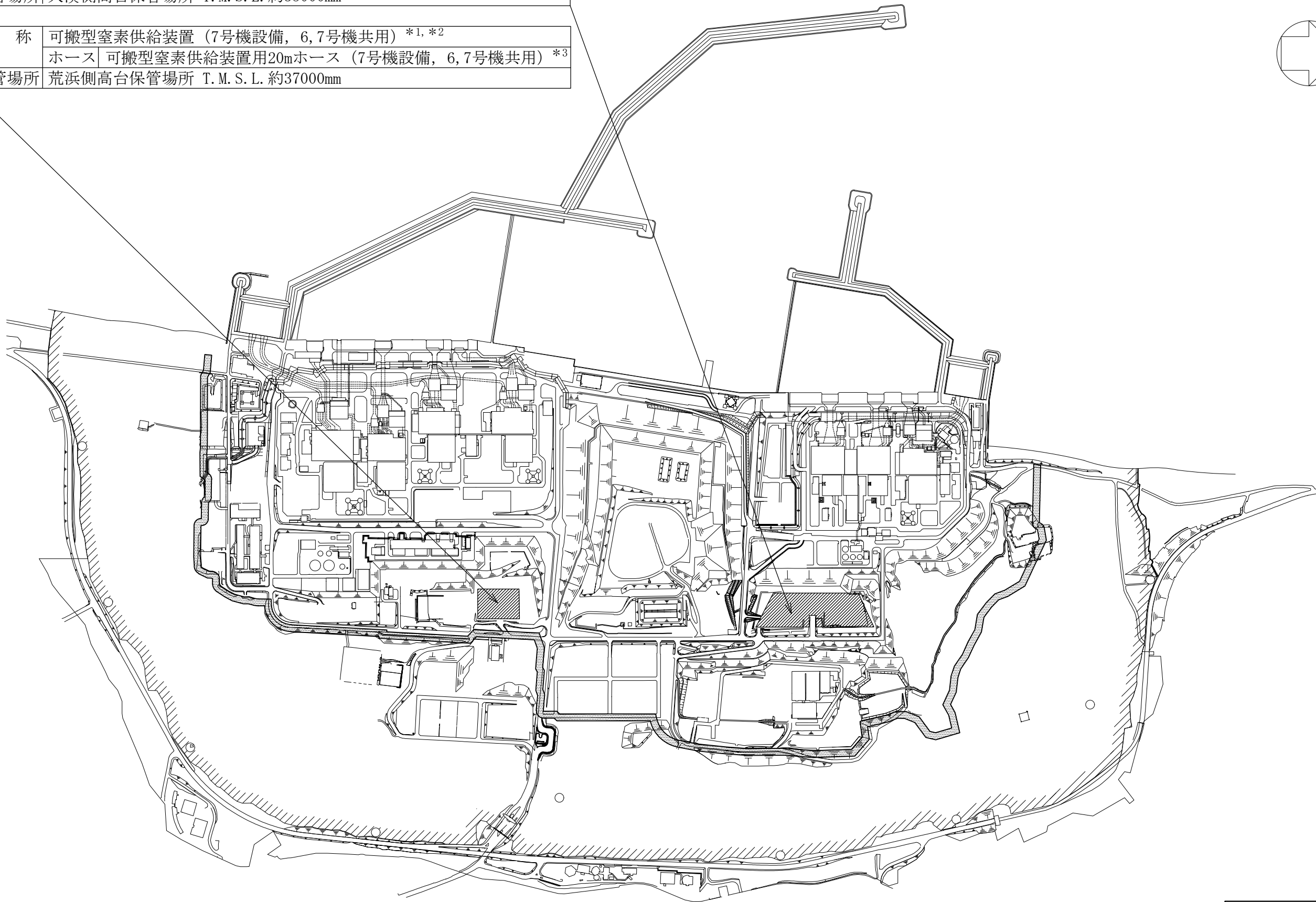
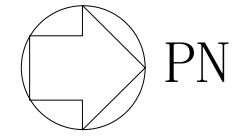


主排気筒

第8-3-5-4-1-5図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その
称	他の安全設備のうち放射性物質濃度制御 設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系） に係る機器の配置を明示した図面（その5）
東京電力ホールディングス株式会社	

名称	可搬型窒素供給装置（7号機設備，6,7号機共用）*1,*2
ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース（7号機設備，6,7号機共用）*3
保管場所	大湊側高台保管場所 T.M.S.L. 約35000mm

名称	可搬型窒素供給装置（7号機設備，6,7号機共用）*1,*2
ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース（7号機設備，6,7号機共用）*3
保管場所	荒浜側高台保管場所 T.M.S.L. 約37000mm

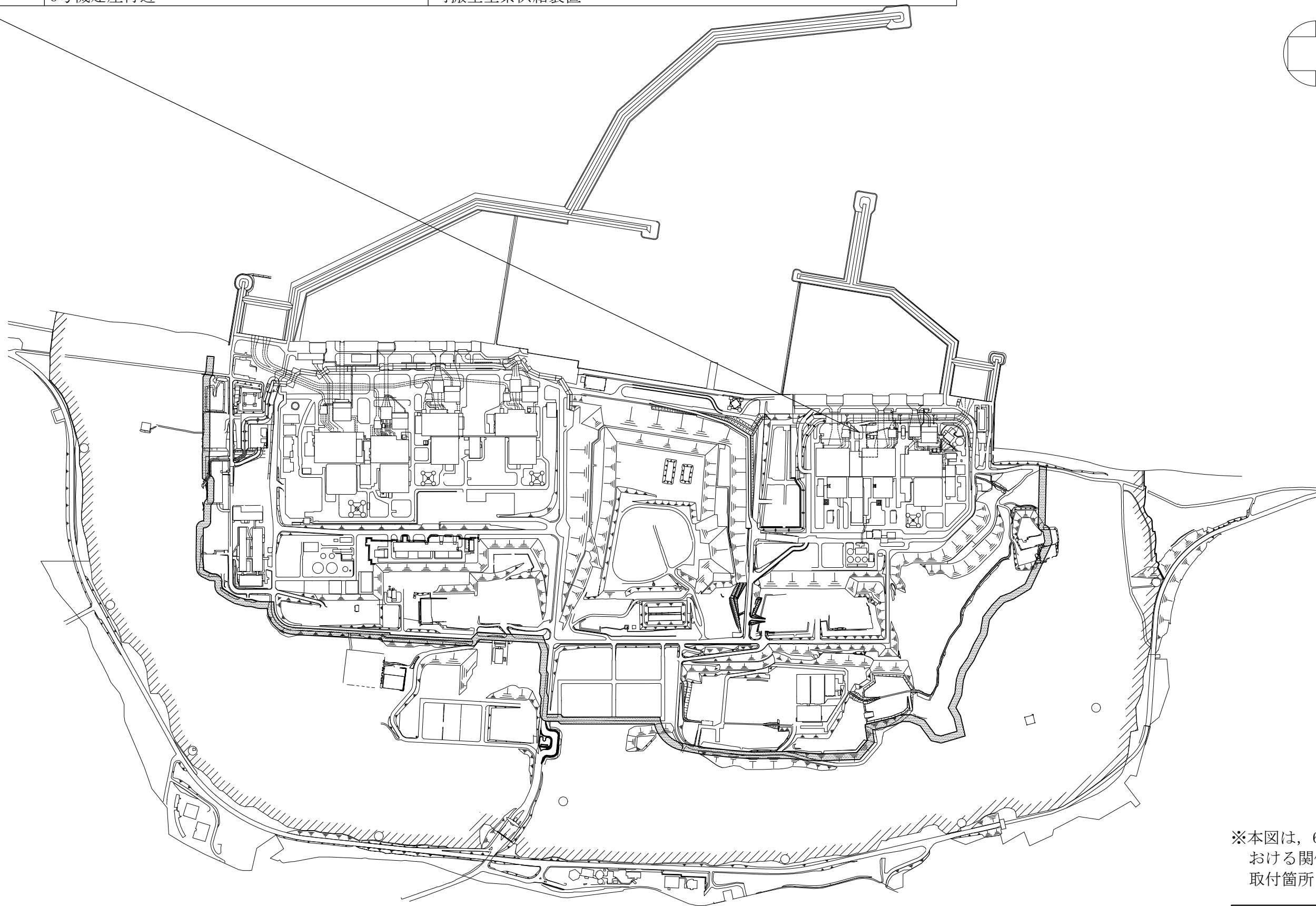
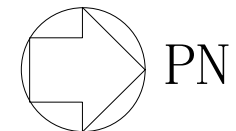


■ : 保管場所

- 注記*1 : 下記設備は，可搬型窒素供給装置の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（7号機設備，6,7号機共用）
- *2 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ1個ずつ保管するとともに，予備1個を保管場所2箇所のうちいずれかに保管する。
- *3 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ6本ずつ保管するとともに，予備1本を保管場所2箇所のうちいずれかに保管する。

第8-3-5-4-1-6図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その6）
東京電力ホールディングス株式会社	

名称	可搬型窒素供給装置（7号機設備，6,7号機共用）*1	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース（7号機設備，6,7号機共用）*2
取付箇所	屋外 T.M.S.L.約12000mm 6号機建屋付近		屋外 T.M.S.L.約12000mm 可搬型窒素供給装置



※本図は，6,7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため，6号機側への取付箇所を示す。

----- : 取付箇所

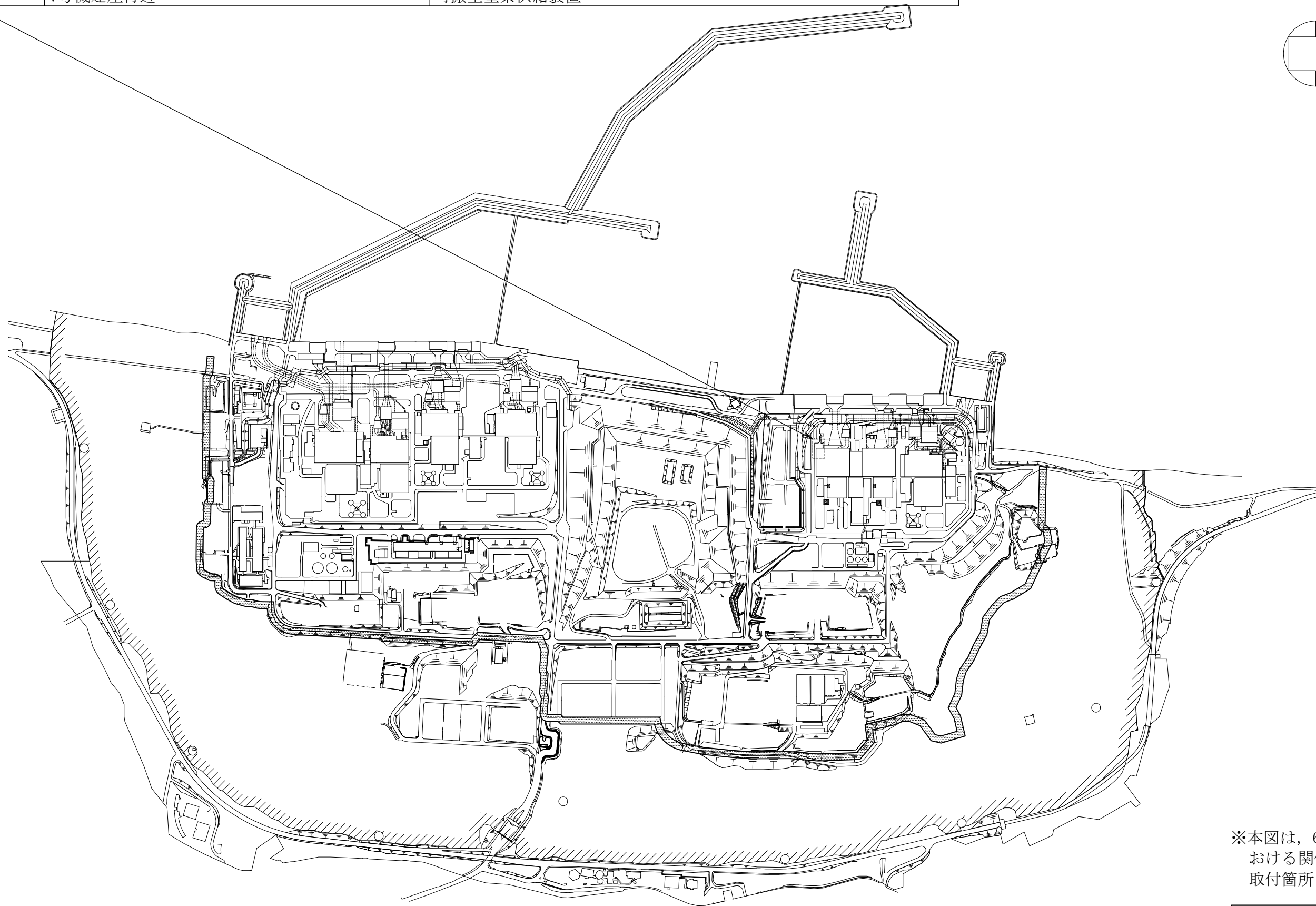
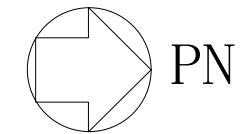
注記*1 : 下記設備は，可搬型窒素供給装置の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（7号機設備，6,7号機共用）

*2 : 可搬型窒素供給装置用20mホース（7号機設備，6,7号機共用）の窒素パーズライン接続口の取付箇所は第8-3-5-4-1-9図参照。

第8-3-5-4-1-7図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その7）
東京電力ホールディングス株式会社	

名称	可搬型窒素供給装置（7号機設備，6,7号機共用）*1	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース（7号機設備，6,7号機共用）*2
取付箇所	屋外 T.M.S.L.約12000mm 7号機建屋付近	屋外 T.M.S.L.約12000mm 可搬型窒素供給装置	



※本図は，6,7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため，7号機側への取付箇所を示す。

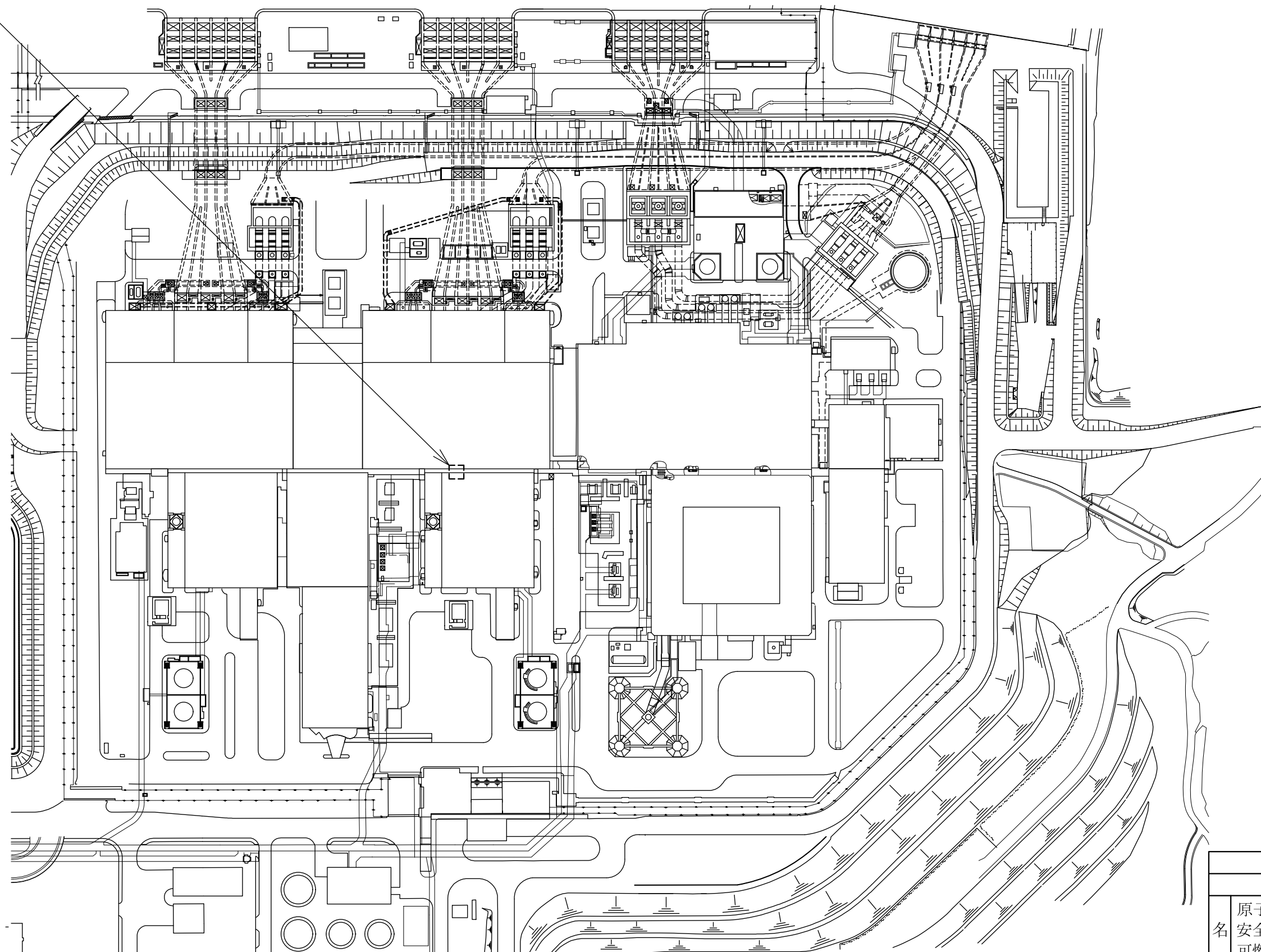
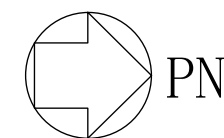
----- : 取付箇所

注記*1 : 下記設備は，可搬型窒素供給装置の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（7号機設備，6,7号機共用）

*2 : 可搬型窒素供給装置用20mホース（7号機設備，6,7号機共用）の窒素パーズライン接続口の取付箇所は第8-3-5-4-1-10図参照。

第8-3-5-4-1-8図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る機器の配置を明示した図面（その8）
東京電力ホールディングス株式会社	

名称	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	原子炉建屋 T. M. S. L. 約12300mm 6号機: 耐圧強化ベント窒素パーズライン接続口	

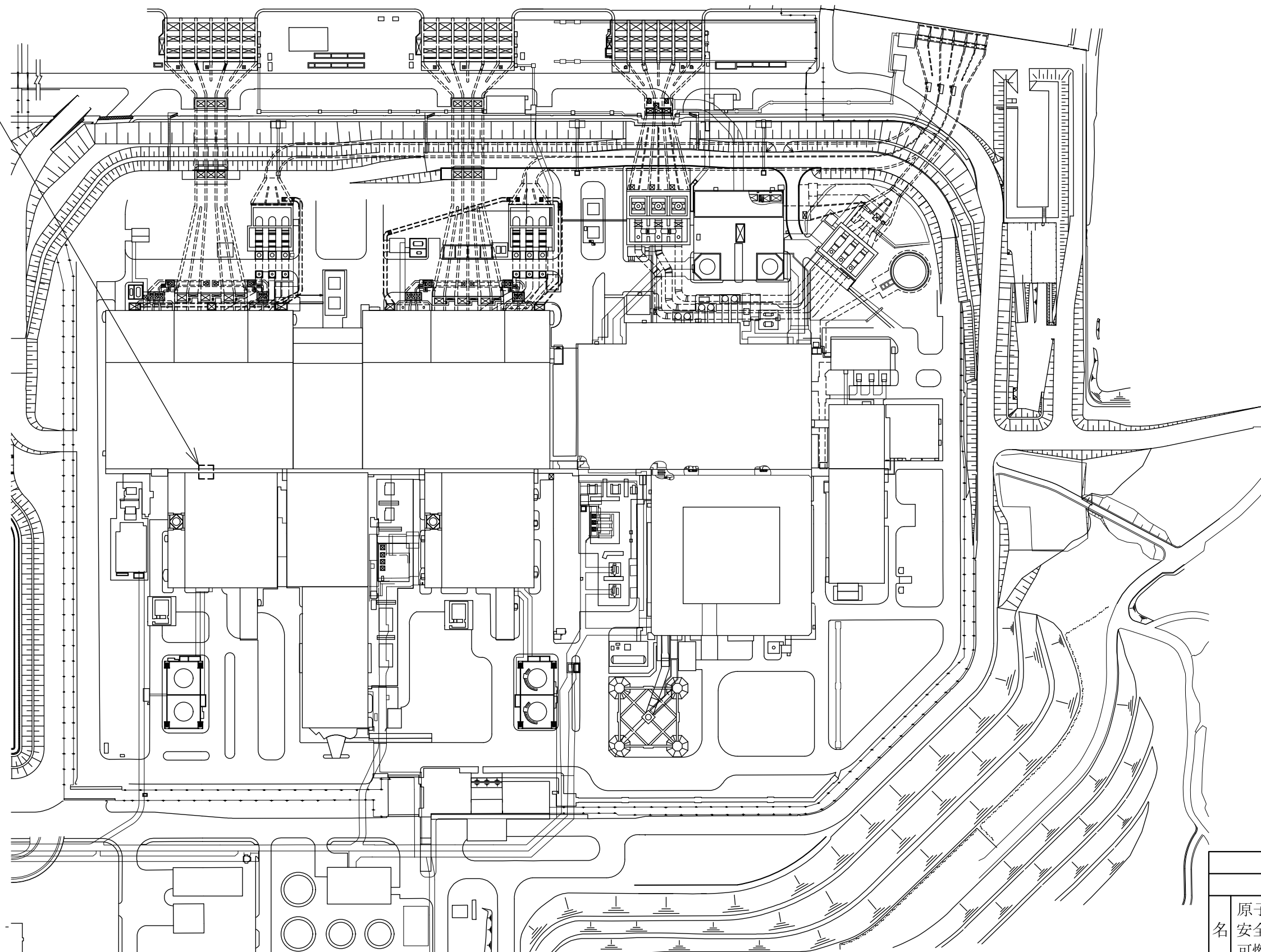
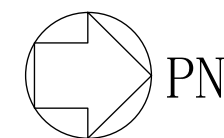


--- : 取付箇所

※本図は、6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、6号機側への取付箇所を示す。

第8-3-5-4-1-9図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の
称	安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環 設備 (耐圧強化ベント系) に係る機器の配 置を明示した図面 (その9)
東京電力ホールディングス株式会社	

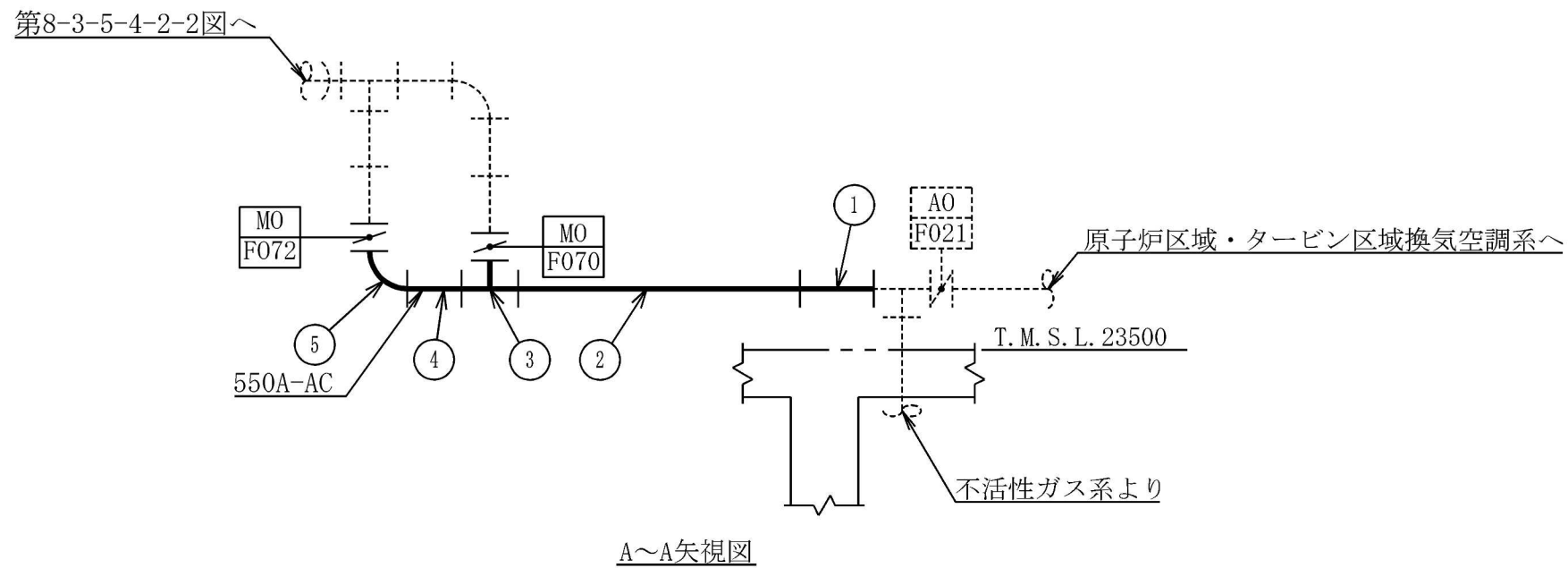
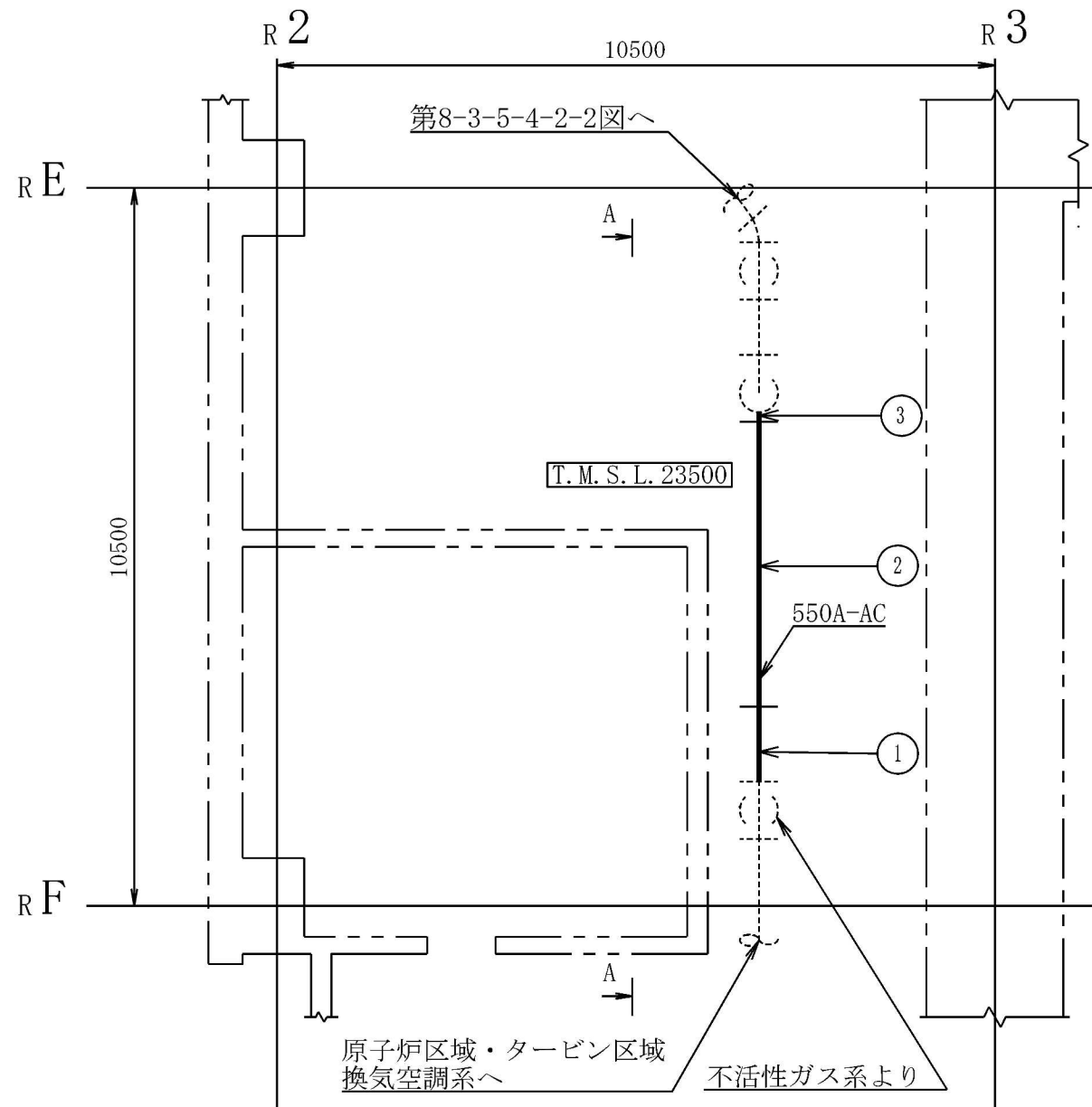
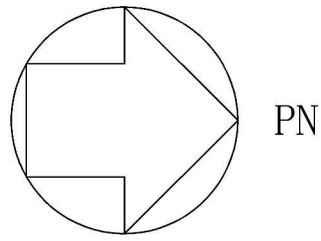
名称	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	原子炉建屋 T.M.S.L. 約12300mm 7号機: 耐圧強化ベント窒素パーズライン接続口	



--- : 取付箇所

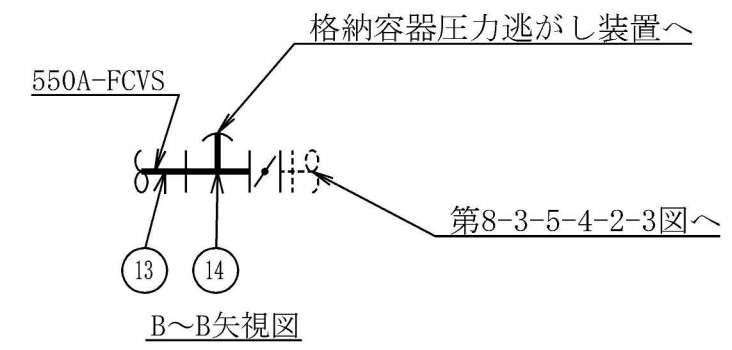
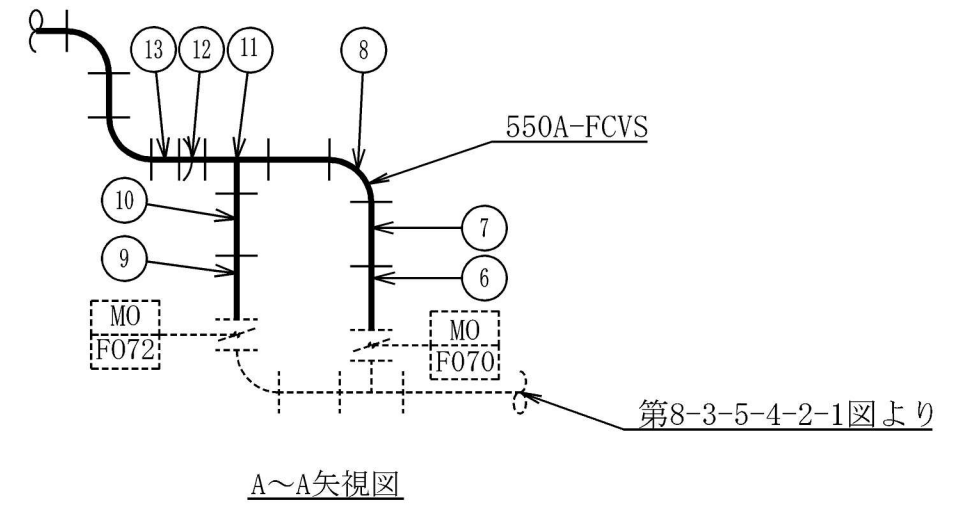
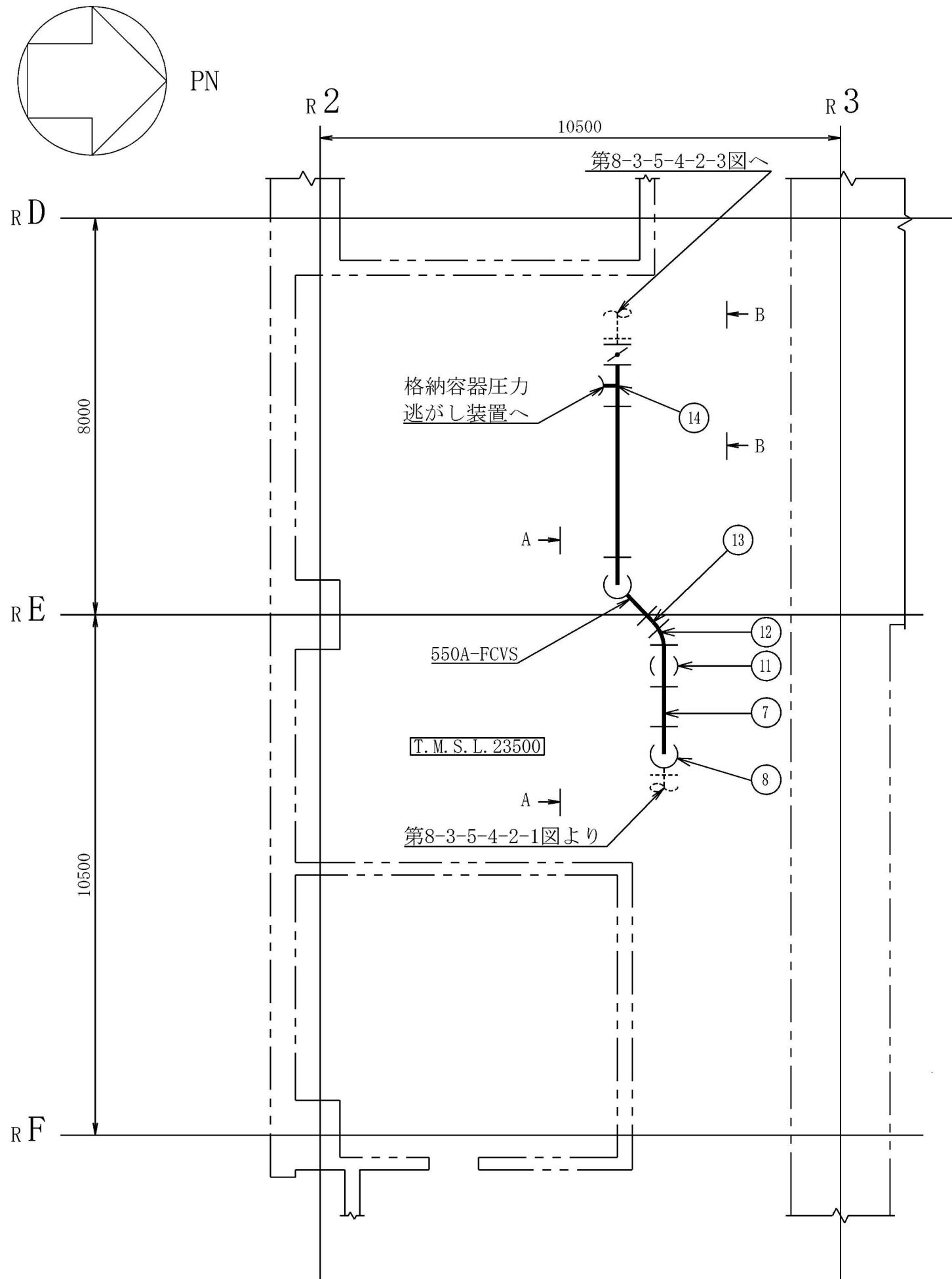
※本図は、6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、7号機側への取付箇所を示す。

第8-3-5-4-1-10図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)に係る機器の配置を明示した図面(その10)
東京電力ホールディングス株式会社	



注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

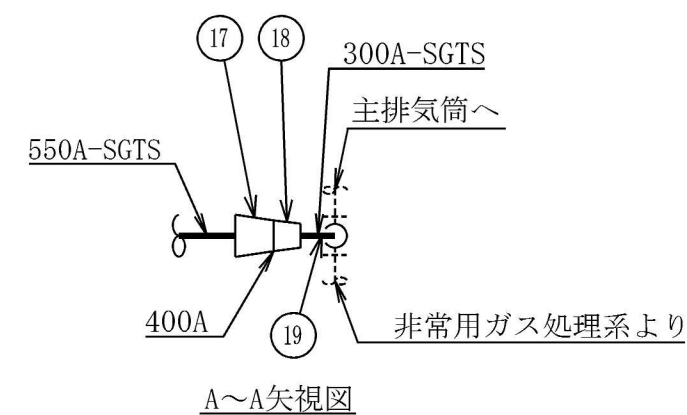
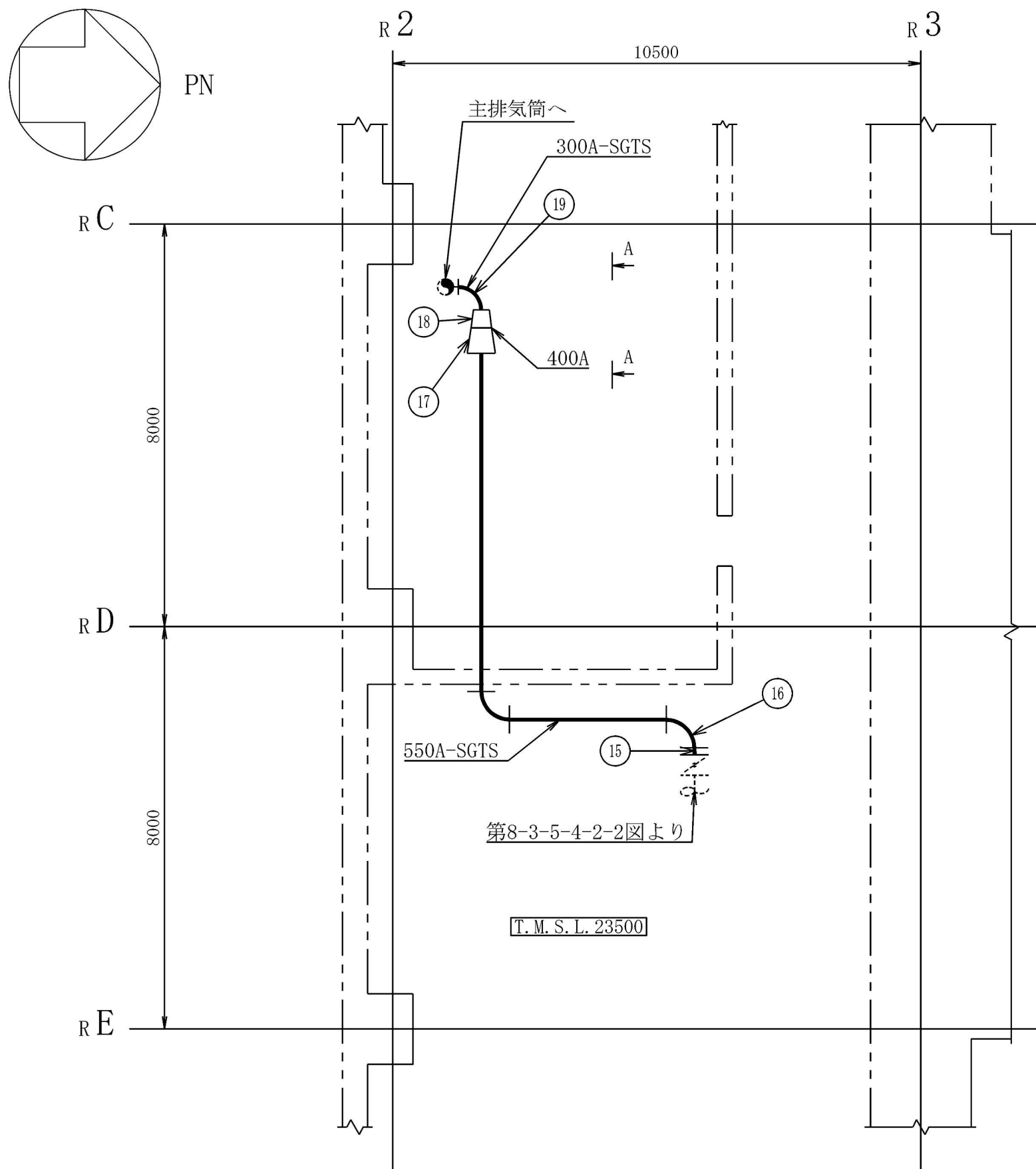
原子炉建屋	
第8-3-5-4-2-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その1）
	東京電力ホールディングス株式会社



注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

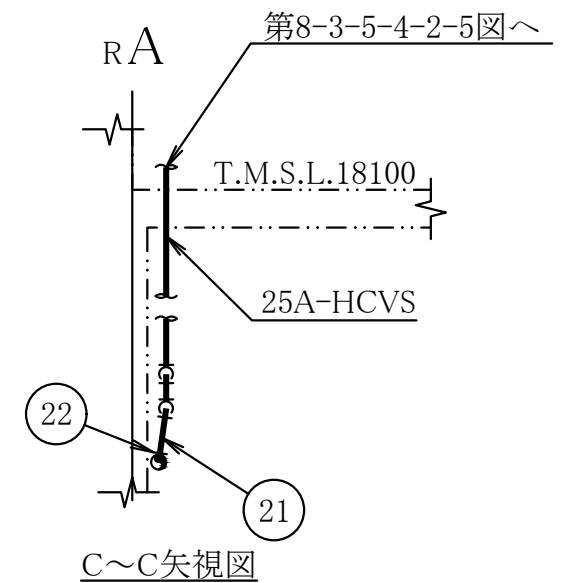
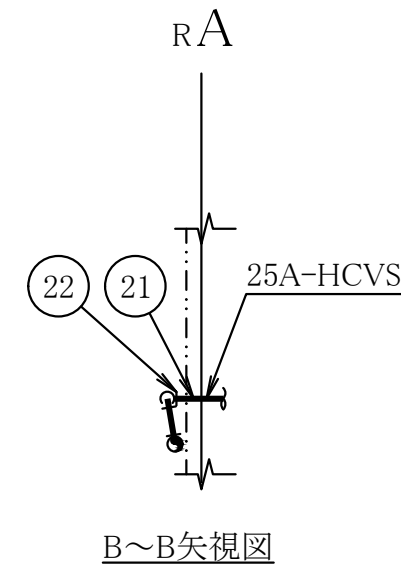
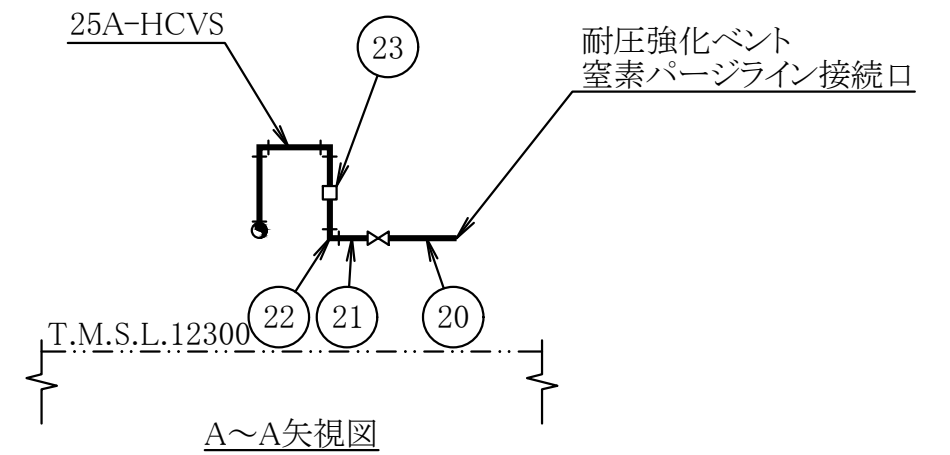
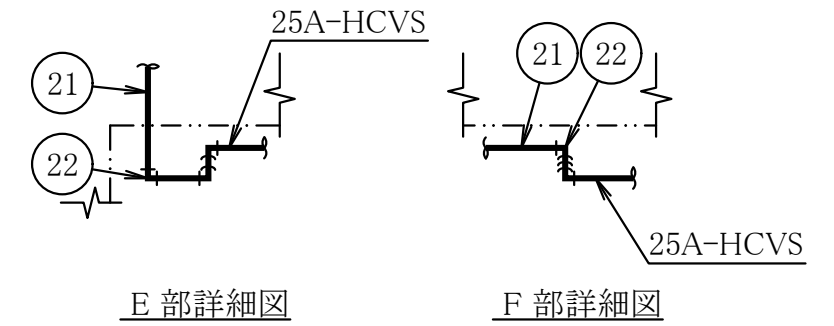
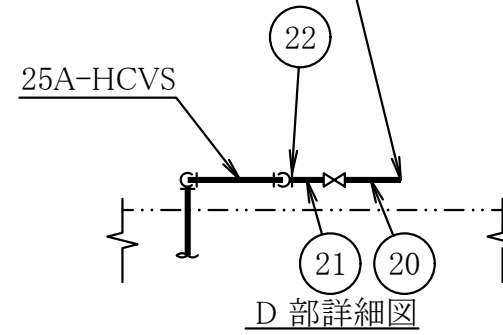
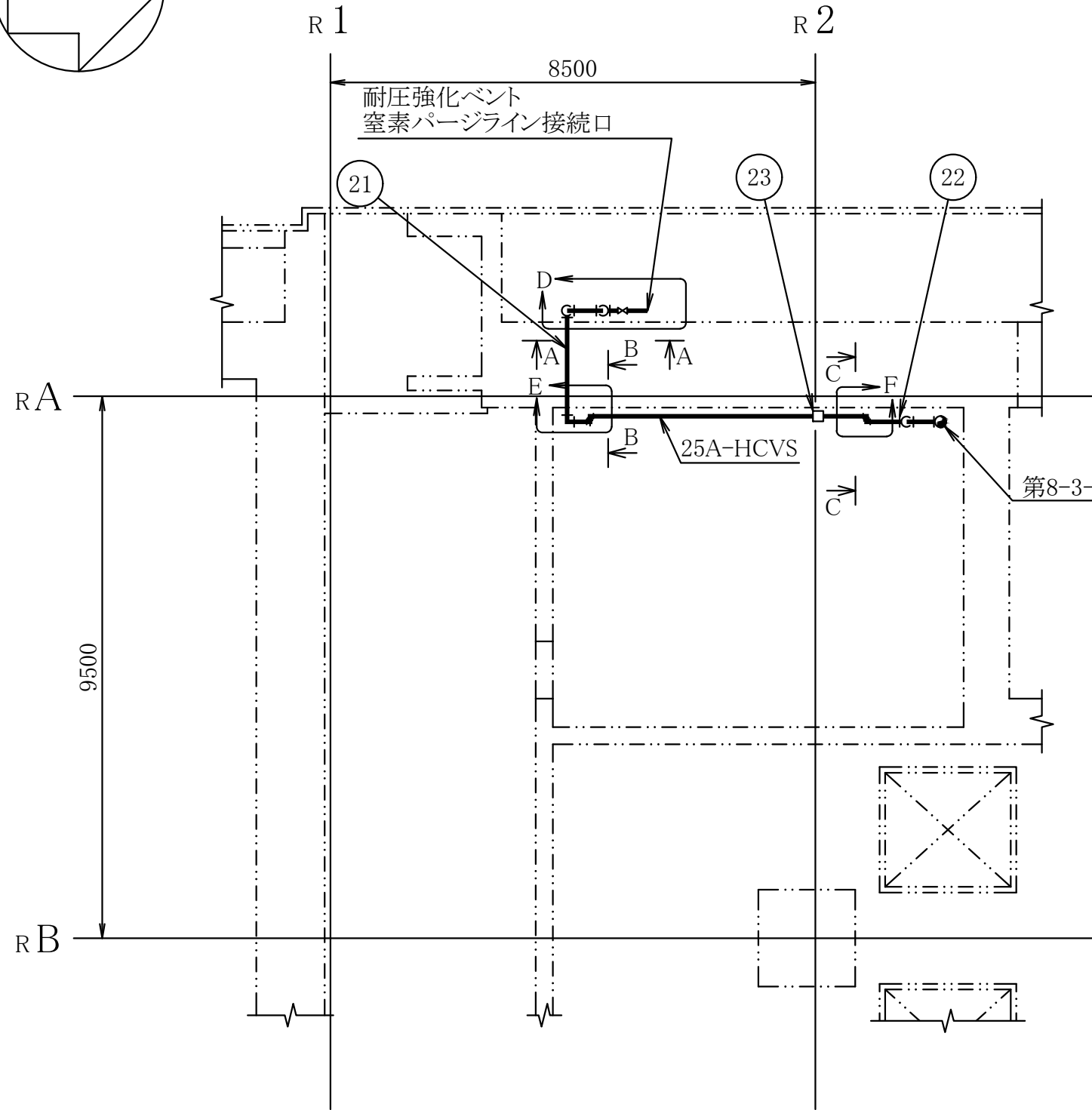
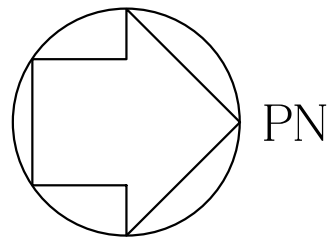
第8-3-5-4-2-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その2）
東京電力ホールディングス株式会社	
1827	



注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-5-4-2-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面（その3）
東京電力ホールディングス株式会社	

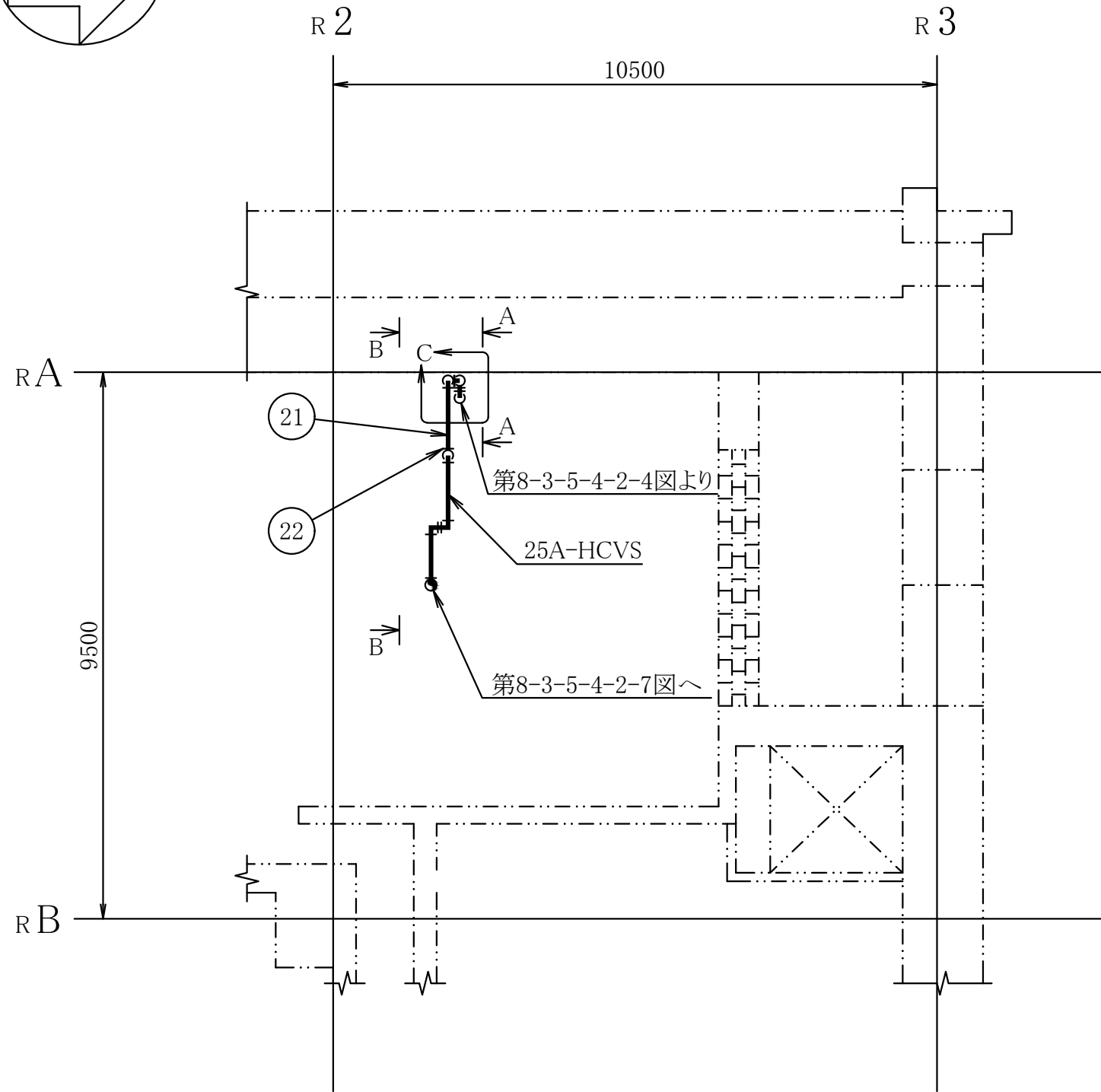
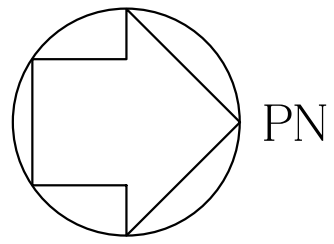


T.M.S.L.12300

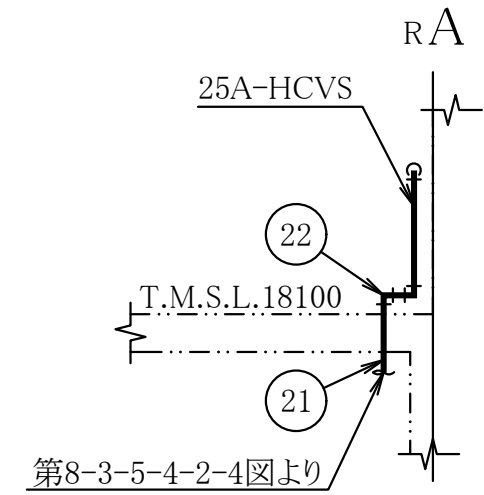
原子炉建屋

第8-3-5-4-2-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)に係る主配管の配置を明示した図面(その4)
東京電力ホールディングス株式会社	
HCVS	3821

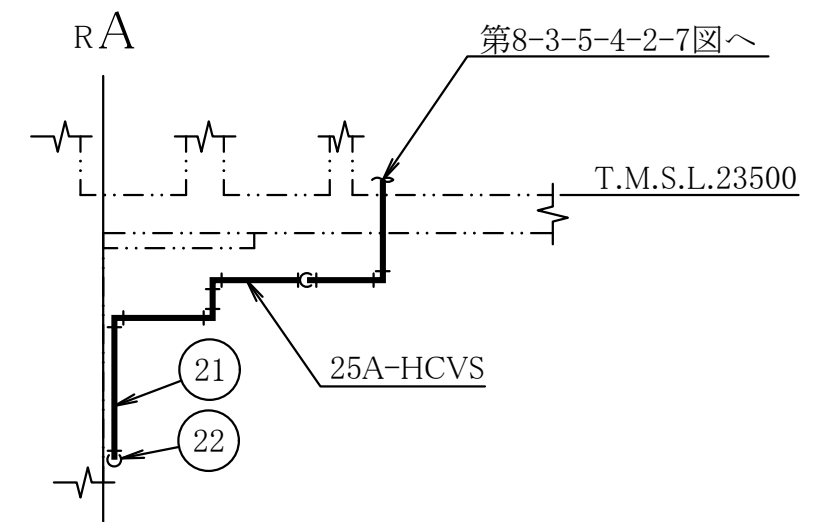
注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。



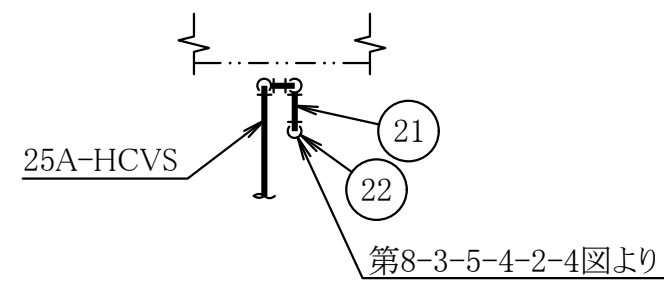
T.M.S.L.18100



A~A矢視図



B~B矢視図

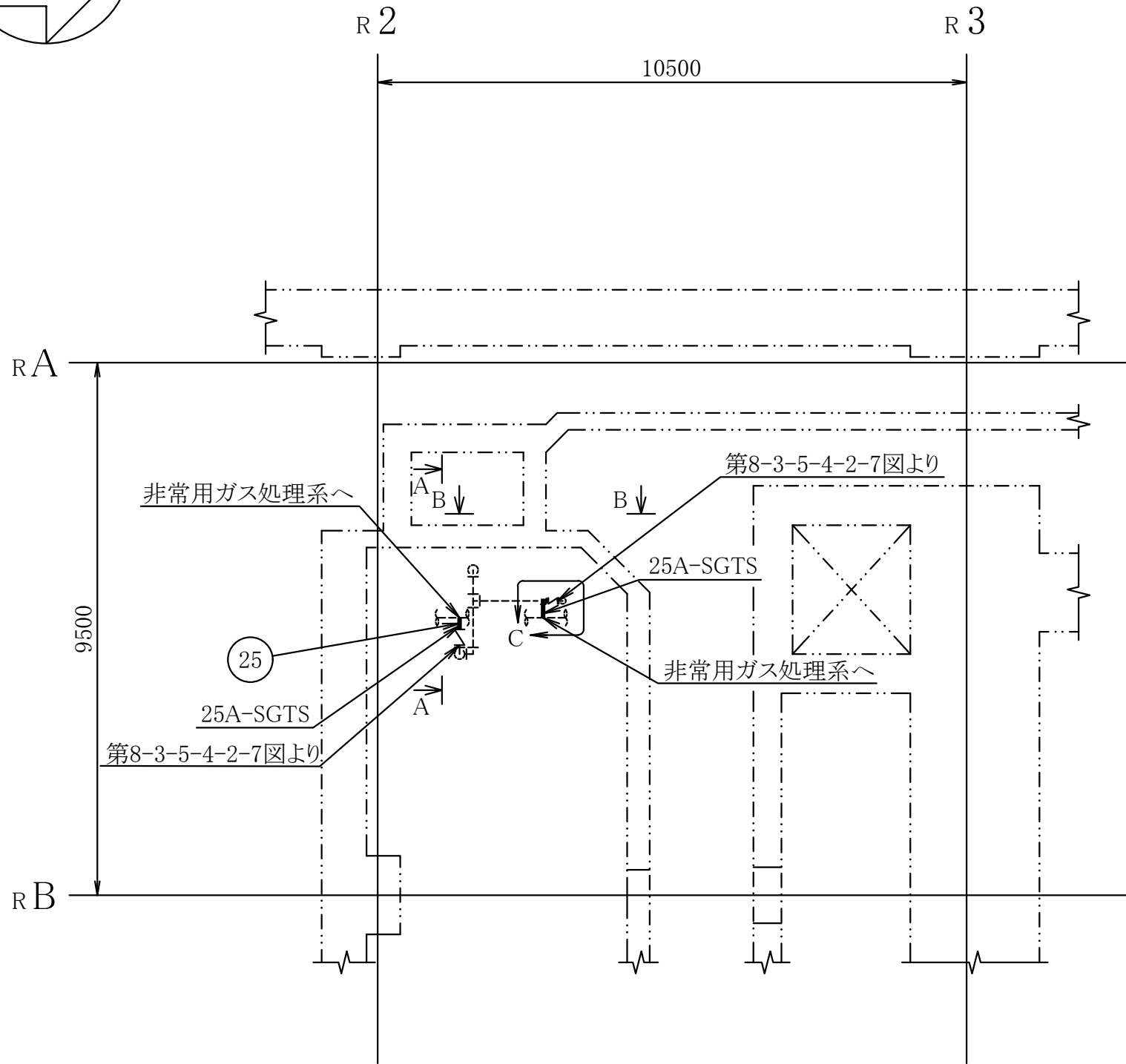
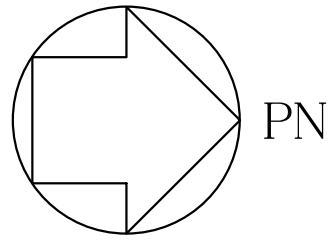


C部詳細図

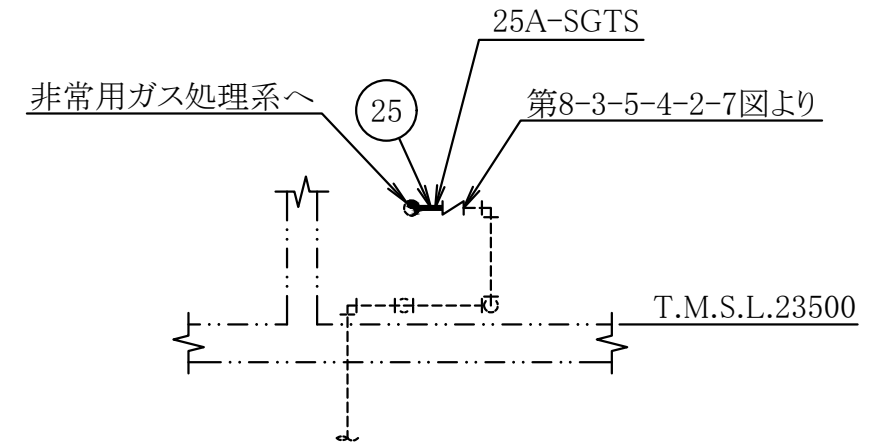
注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

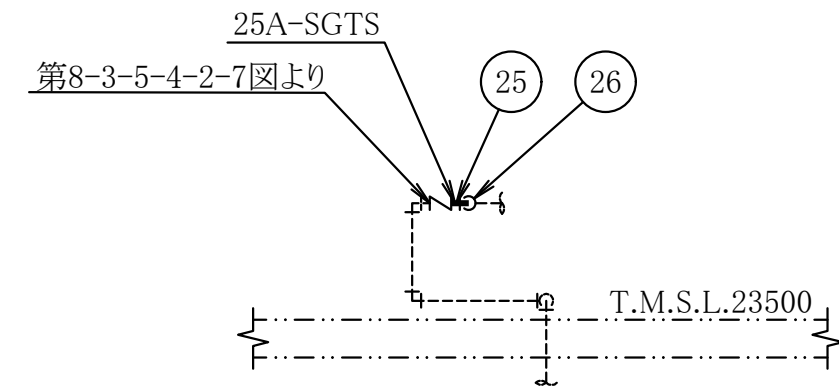
第8-3-5-4-2-5図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)に係る主配管の配置を明示した図面(その5)
東京電力ホールディングス株式会社	
HCVS	3821



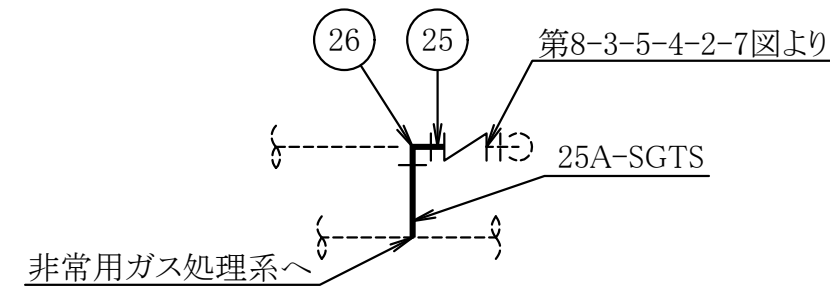
T.M.S.L.23500



A~A矢視図



B~B矢視図

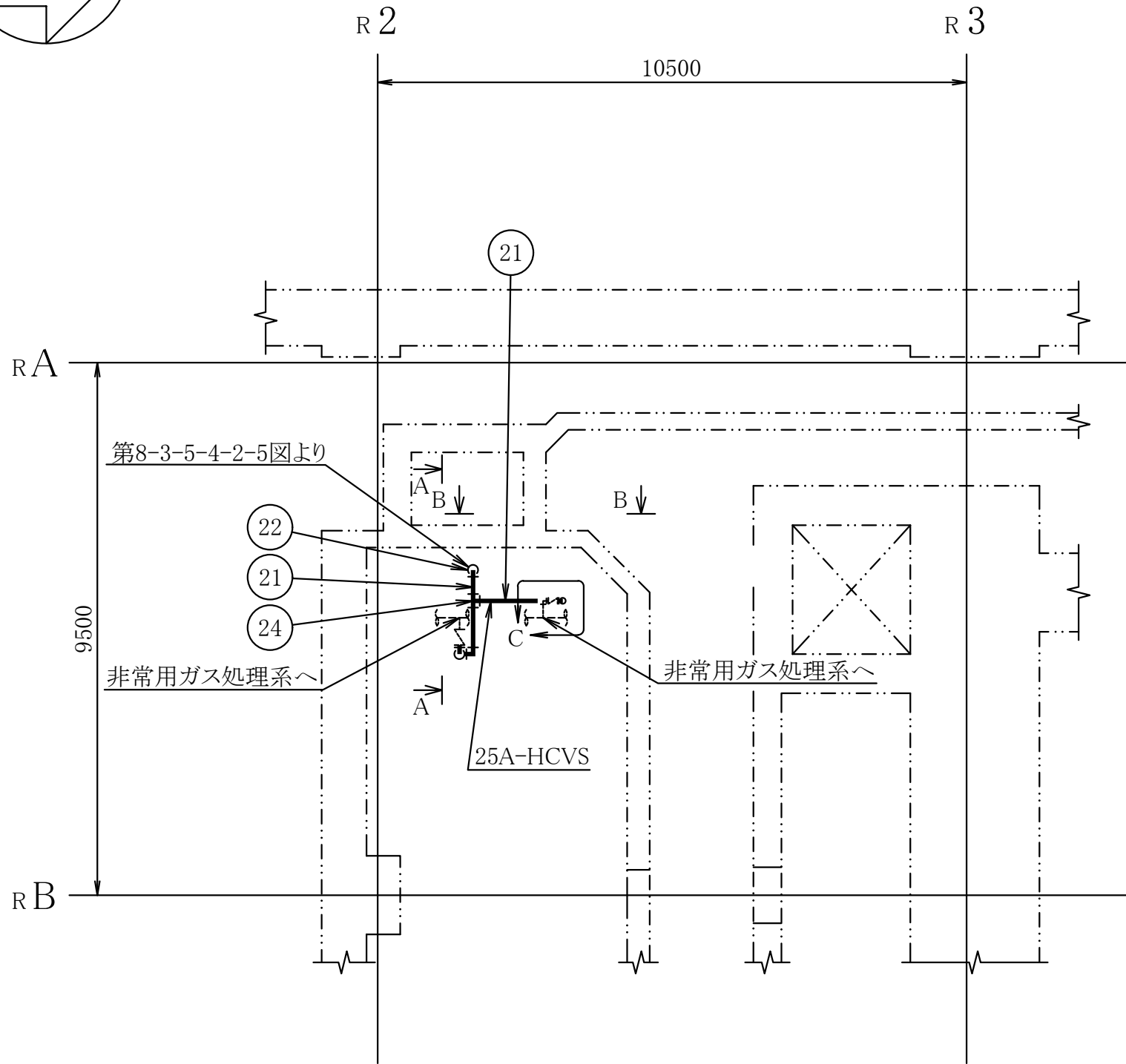
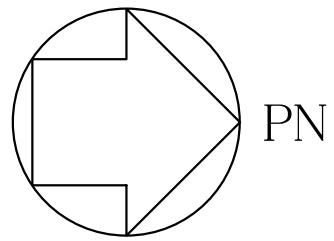


C部詳細図

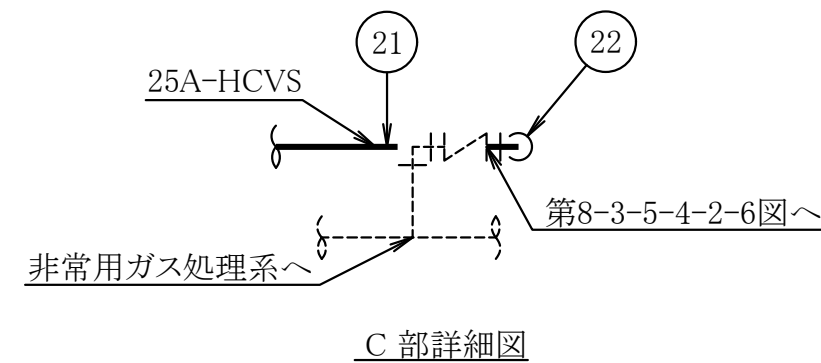
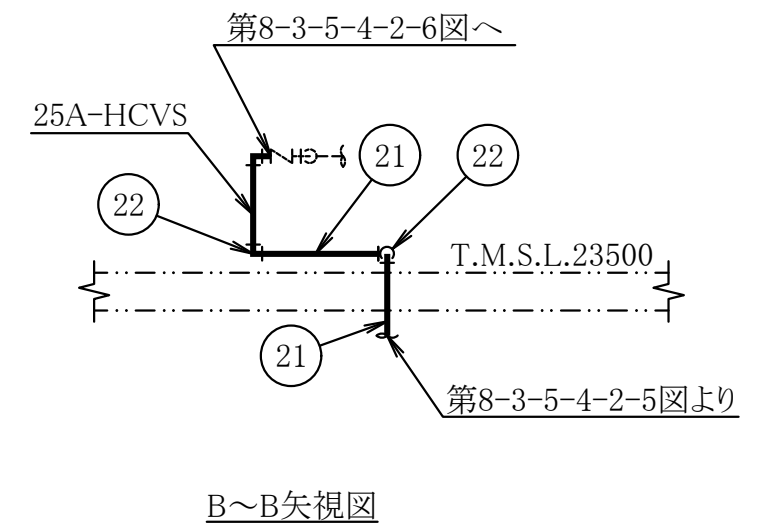
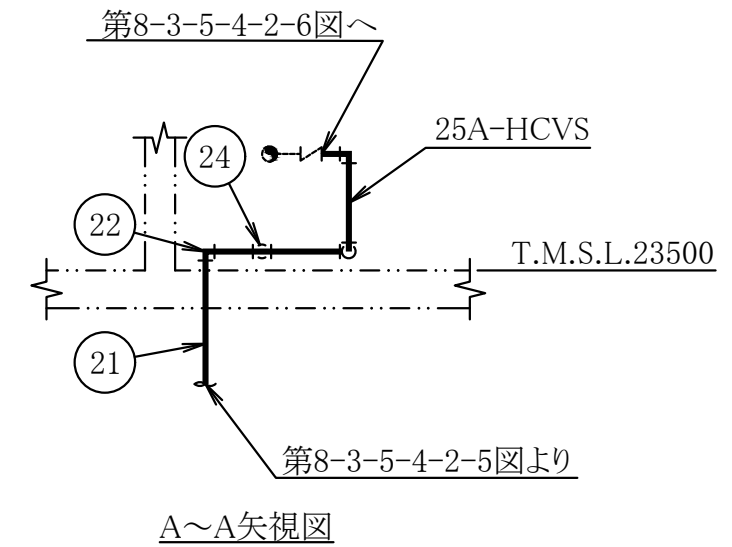
注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-5-4-2-6図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)に係る主配管の配置を明示した図面(その6)
東京電力ホールディングス株式会社	
SGTS	3822



T.M.S.L.23500



注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋	
第8-3-5-4-2-7図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)に係る主配管の配置を明示した図面(その7)
東京電力ホールディングス株式会社	
HCVS	3821

第 8-3-5-4-2-1~7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)に係る主配管の配置を明示した図面 別紙 1

工事計画抜粋

変更前						変更後						*9 NO.	
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
不活性ガス系						不活性ガス系	*1 耐圧強化ベント ライン分岐部 ～ 耐圧強化ベント バイパスライン分岐部	620*2	200*2	558.8*3, *4	□ (9.5*3) *4	SM400C*4	1
										558.8*3	□ (9.5*3)	SM400C	2
										558.8 /558.8 /558.8	□ (15.9*3) (15.9*3) (15.9*3)	SM400C	3
							*1 耐圧強化ベント バイパスライン分岐部 ～ T31-F072	620*2	200*2	558.8*3	□ (9.5*3)	SM400C	4
										558.8*3, *5	9.5*3, *5	STPT410*5	5
格納容器圧力逃がし装置	—					格納容器圧力逃がし装置	*1 耐圧強化ベント バイパスライン分岐部 ～ 耐圧強化ベント バイパスライン合流部	620*2	200*2	558.8*3	□ (9.5*3)	SM400C	6
										559.0*3	□ (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	7
										558.8*3, *5	9.5*3, *5	STPT410*5	8
							*1 T31-F072 ～ 耐圧強化ベント バイパスライン合流部	620*2	200*2	558.8*3	□ (9.5*3)	SM400C	9
										559.0*3	□ (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	10
							*1 耐圧強化ベント バイパスライン合流部 ～ 格納容器フィルタベント ライン分岐部	620*2	200*2	558.8 /558.8 /558.8	9.5 /9.5 /9.5	STPT410	11
										*3, *4, *5 558.8	□ (9.5*3) *4, *5	SM400C*4, *5	12
										558.8*3, *4	□ (9.5*3) *4	SM400C*4	13
										558.8 /558.8 /406.4	9.5 /9.5 /9.5	STPT410	14

K6 ① 8-3-5-4-2-1~7 R0

変更前						変更後						*9 NO.
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
非常用ガス処理系						*4, *6 格納容器フィルタベント ライン分岐部 ～ 耐圧強化ベントライン合流部	620*2	171*2	558.8*3	□ (9.5*3)	SM400C	15
									558.8*3, *5	□ (9.5*3) ^{*5}	SM400C*5	16
									558.8 /406.4 ^{*3}	□ (9.5*3) (9.5*3)	SM400C	17
									406.4 /318.5 ^{*3}	9.5 /10.3 ^{*3}	STS410	18
									318.5*3, *5	10.3*3, *5	STS410*5	19
耐圧強化ベント系	—					耐圧強化ベント 窒素パージライン接続口 ～ T22-F202A 及び T22-F202B	620*2	171*2	34.0*3	3.4*3	SUS304TP	20
									34.0*3	3.4*3	SUS304TP	21
									34.5*3, *5, *7	5.0*5, *8	SUS304*5	22
									34.5*3, *7	5.0*8	SUS304	23
非常用ガス処理系						T22-F202A 及び T22-F202B ～ 非常用ガス処理系 窒素パージライン(A)合流部 及び 非常用ガス処理系 窒素パージライン(B)合流部	620*2	171*2	34.0*3	3.4*3	SUS304TP	25
									34.5*3, *5, *7	5.0*5, *8	SUS304*5	26

注記*1 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系、格納容器圧力逃がし装置）並びに圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。

*2 : 重大事故等時における使用時の値。

*3 : 公称値を示す。

*4 : 本設備は既存の設備である。

*5 : エルボを示す。

*6 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）と兼用。

*7 : 差込み継手の差込み部内径を示す。

*8 : 差込み継手の最小厚さを示す。

*9 : 第 8-3-5-4-2-1~7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面に記載の丸番号を示す。

第 8-3-5-4-2-1~7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）に係る主配管の配置を明示した図面 別紙 2

工事計画記載の公称値の許容範囲

[主配管]

管NO.1*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	558.8	<input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	9.5	<input type="text"/> <input type="text"/> mm	同上

管NO.1*1— 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	558.8	+6.4mm -4.8mm	J I S B 2 3 1 3 による材料公差
厚さ	9.5	<input type="text"/> <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

管NO.2*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	558.8	<input type="text"/> %	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	9.5	<input type="text"/> % <input type="text"/> %	同上

管NO.3*1— 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	558.8	+6.4mm -4.8mm	J I S B 2 3 1 3 による材料公差
厚さ	15.9	<input type="text"/> <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO.4*1— 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	558.8	+6.4mm -4.8mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	9.5	+規定しない -12.5%	同上

管NO.5*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	559.0	+3.2mm -0.8mm	米国試験材料協会 高温配管継目無炭素 鋼鋼管 ASTM (A106B)による材料公差
厚さ	9.53	+規定しない -12.5%	同上

管NO.6*1— 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	9.5	+規定しない -12.5%	同上

管NO.7*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	558.8	<input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	9.5	<input type="text"/> <input type="text"/> mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO.7*1— 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	558.8	+6.4mm -4.8mm	J I S B 2 3 1 3による材料公差
厚さ	9.5	<input type="text"/> <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

管NO.8*1— 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 3による材料公差
厚さ	9.5	<input type="text"/> <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

管NO.9*1—管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	9.5	+規定しない -12.5%	同上

管NO.10*1—管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	318.5	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	10.3	+規定しない -12.5%	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO. 11*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.4	±0.5mm	同上

管NO. 12*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.4	±0.5mm	同上

管NO. 13*¹—管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.5* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.0* ²	最小 5.0mm	同上

管NO. 14*¹—管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.5* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.0* ²	最小 5.0mm	同上

管NO. 15*¹—管継手

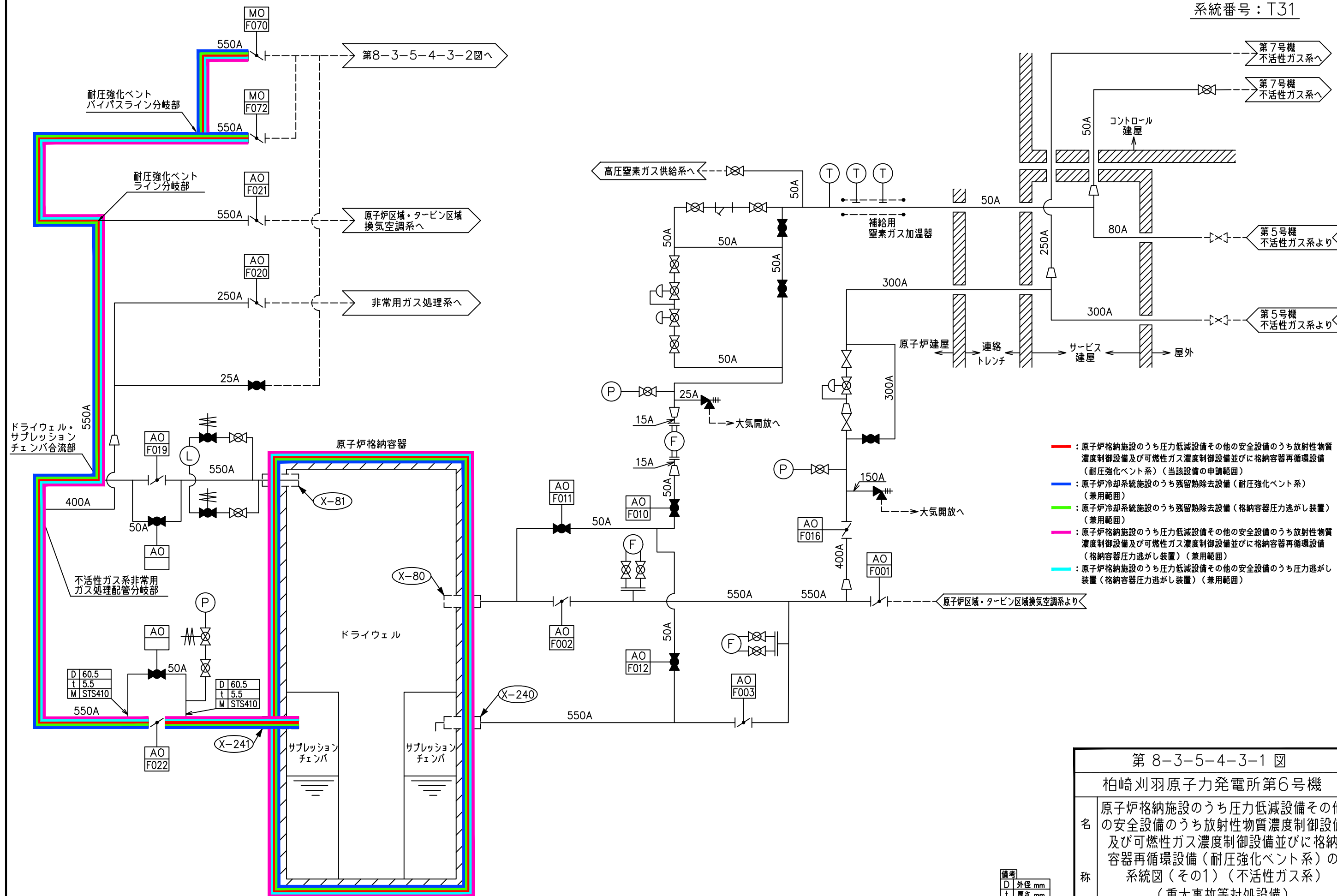
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.5* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.0* ²	最小 5.0mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

注記*1：管の基本板厚計算書のNO.を示す。

*2：差込み継手の差込み部内径及び最小厚さ。

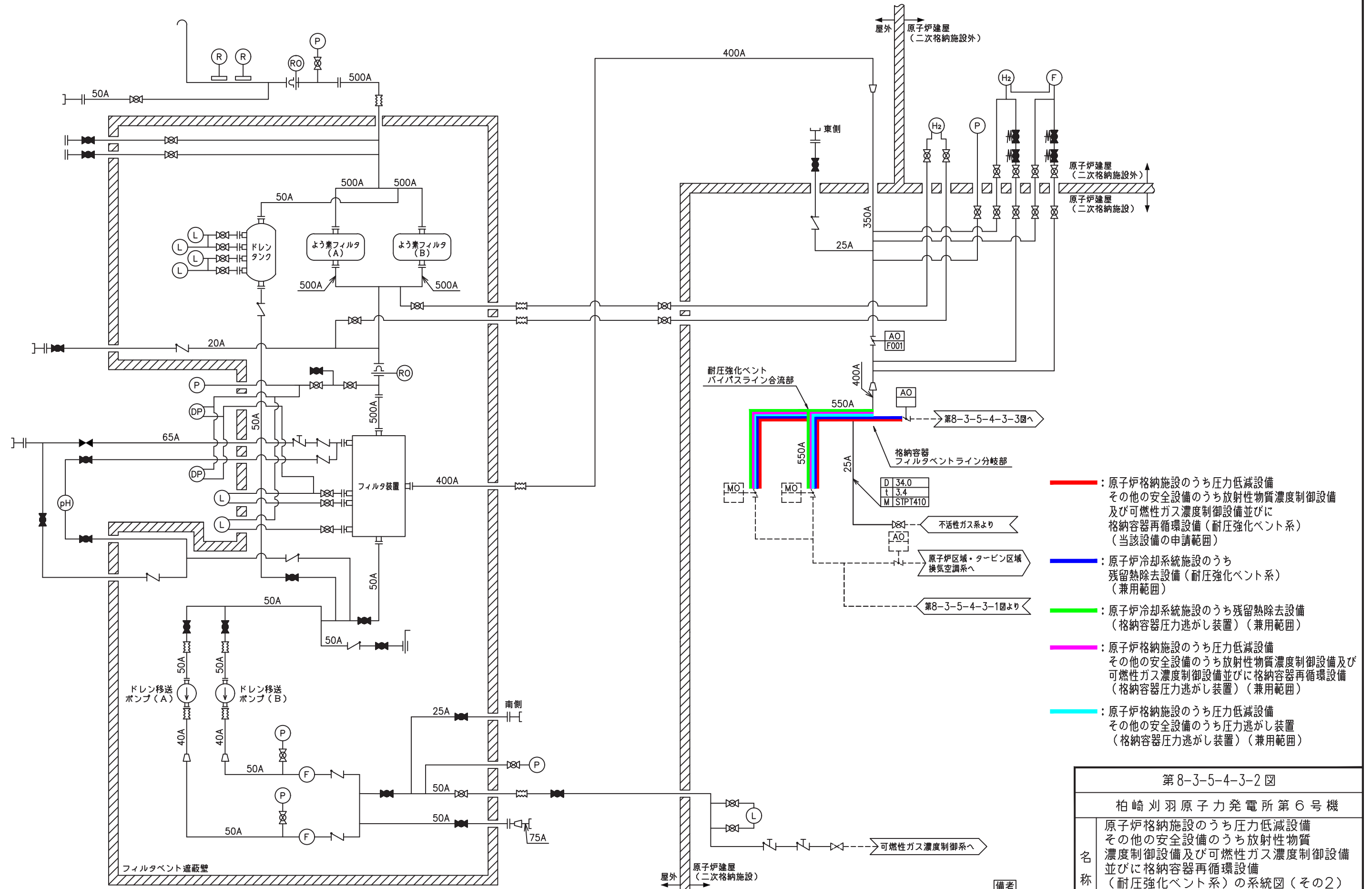


- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）（当該設備の申請範囲）
- : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）
- : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）

第 8-3-5-4-3-1 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その1）（不活性ガス系） （重大事故等対処設備）

備考	
D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料

東京電力ホールディングス株式会社



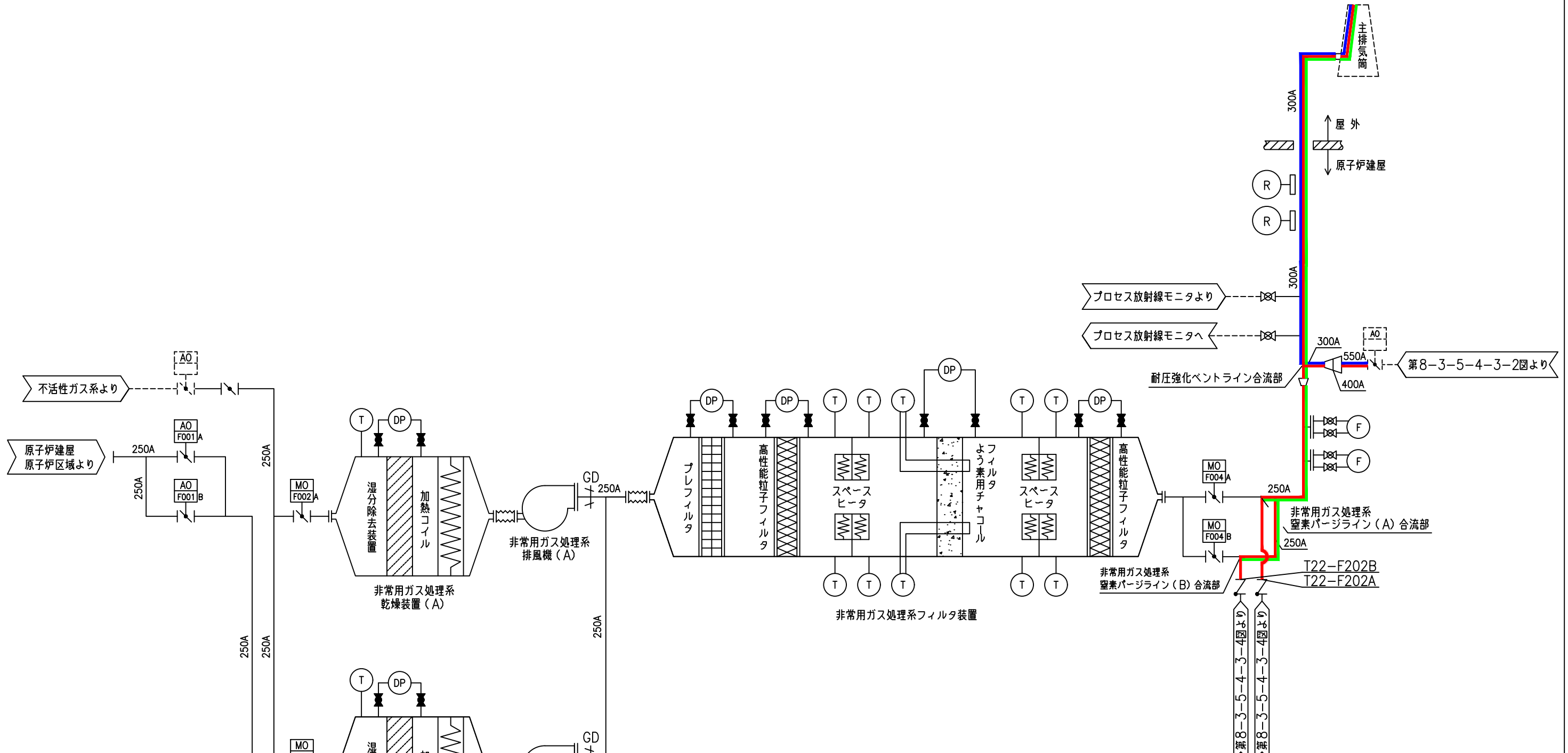
- 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備
及び可燃性ガス濃度制御設備並びに
格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）
（当該設備の申請範囲）
- 原子炉冷却系統施設のうち
残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）
（兼用範囲）
- 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備
（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）

第8-3-5-4-3-2 図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

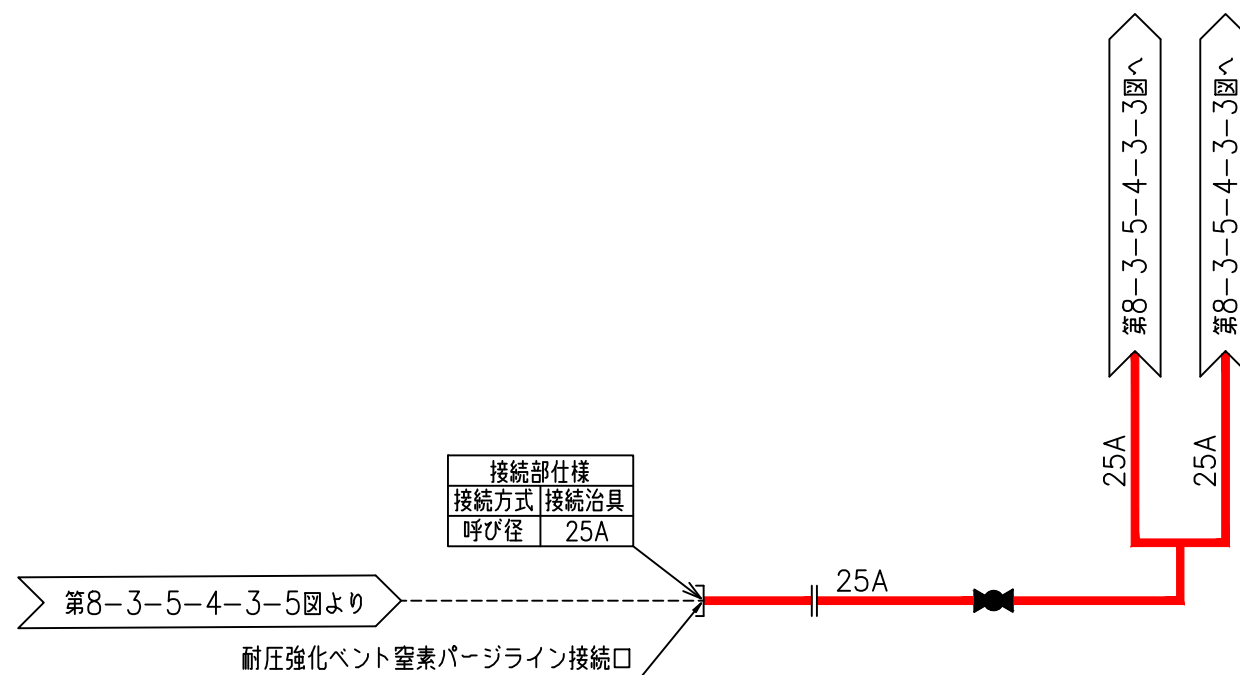
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち放射性物質 濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備 並びに格納容器再循環設備 （耐圧強化ベント系）の系統図（その2） （格納容器圧力逃がし装置） （重大事故等対処設備）
備考	東京電力ホールディングス株式会社

D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料



- ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）（当該設備の申請範囲）
- ：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）
- ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）（兼用範囲）

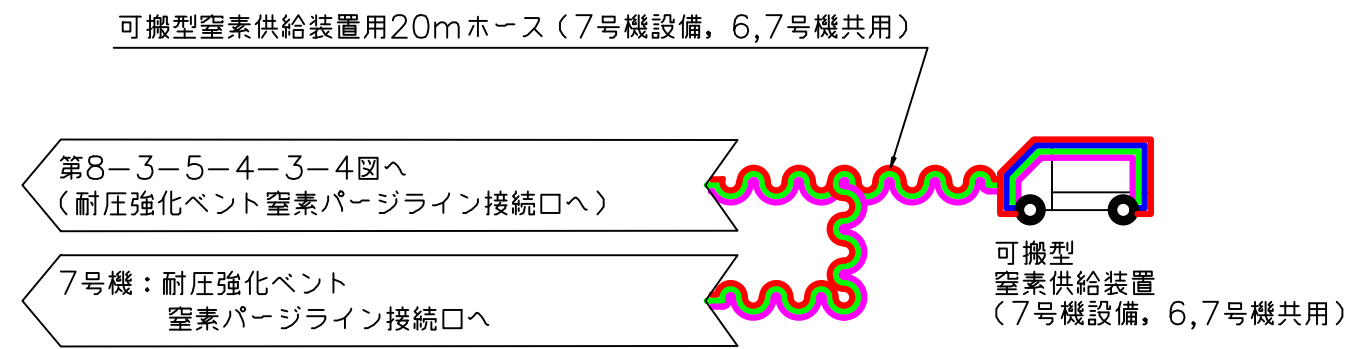
第8-3-5-4-3-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）の系統図（その3）（非常用ガス処理系）（重大事故等対処設備）
東京電力ホールディングス株式会社	







接続部仕様	
接続方式	接続治具
呼び径	25A

—：原子炉格納施設のうち圧力低減設備
 その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備
 及び可燃性ガス濃度制御設備並びに
 格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）
 （当該設備の申請範囲）

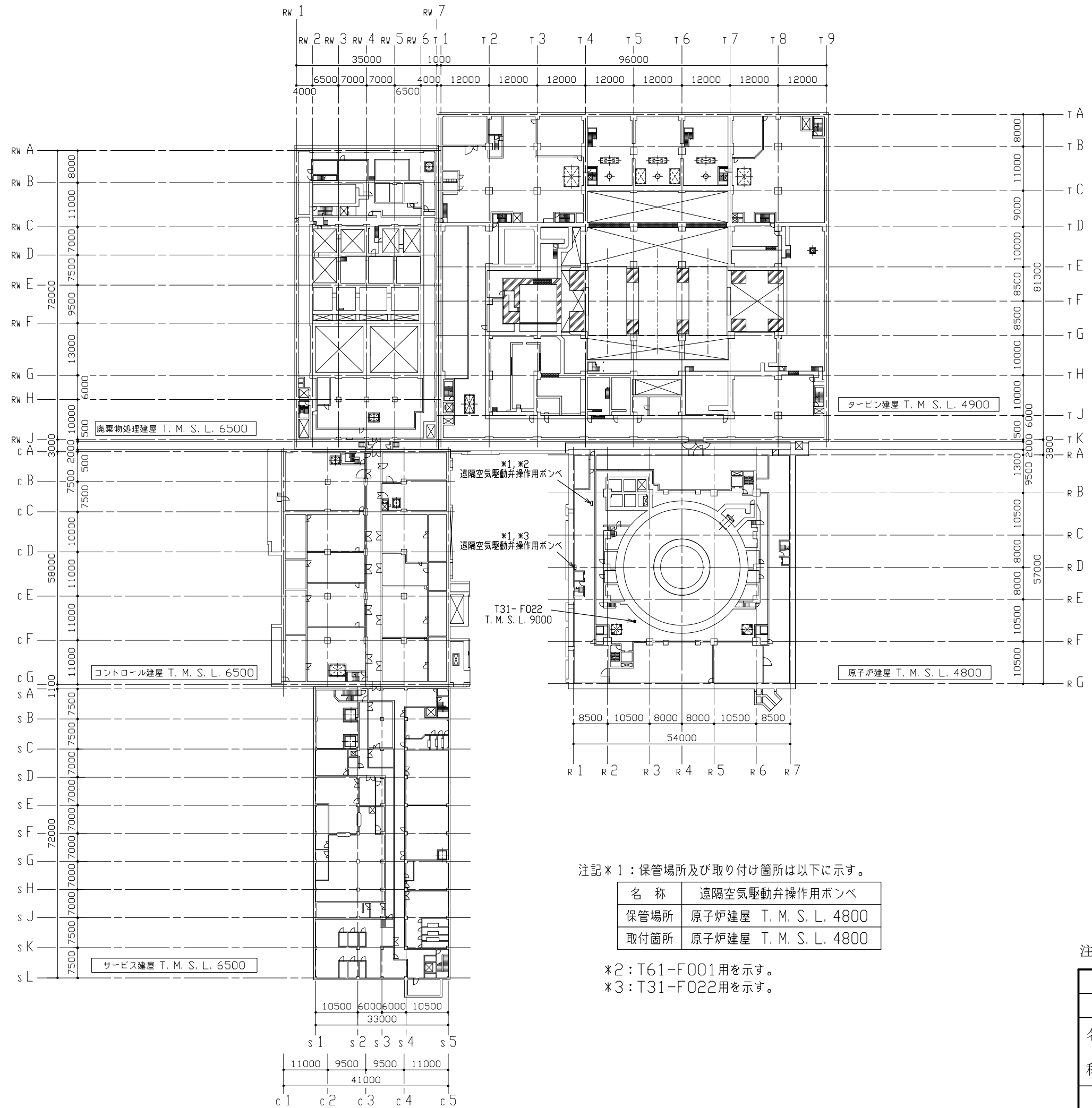
第8-3-5-4-3-4 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち放射性物質 濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備 並びに格納容器再循環設備 （耐圧強化ベント系）の系統図（その4） （重大事故等対処設備）
東京電力ホールディングス株式会社	



-  : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備
及び可燃性ガス濃度制御設備並びに
格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)
(当該設備の申請範囲)
-  : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備
(格納容器圧力逃がし装置)(兼用範囲)
-  : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
(格納容器圧力逃がし装置)(兼用範囲)
-  : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
(格納容器圧力逃がし装置)(兼用範囲)

第8-3-5-4-3-5 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(耐圧強化ベント系)の系統図(その5)(格納容器圧力逃がし装置)(重大事故等対処設備)
東京電力ホールディングス株式会社	

8.3.5.5 格納容器圧力逃がし装置



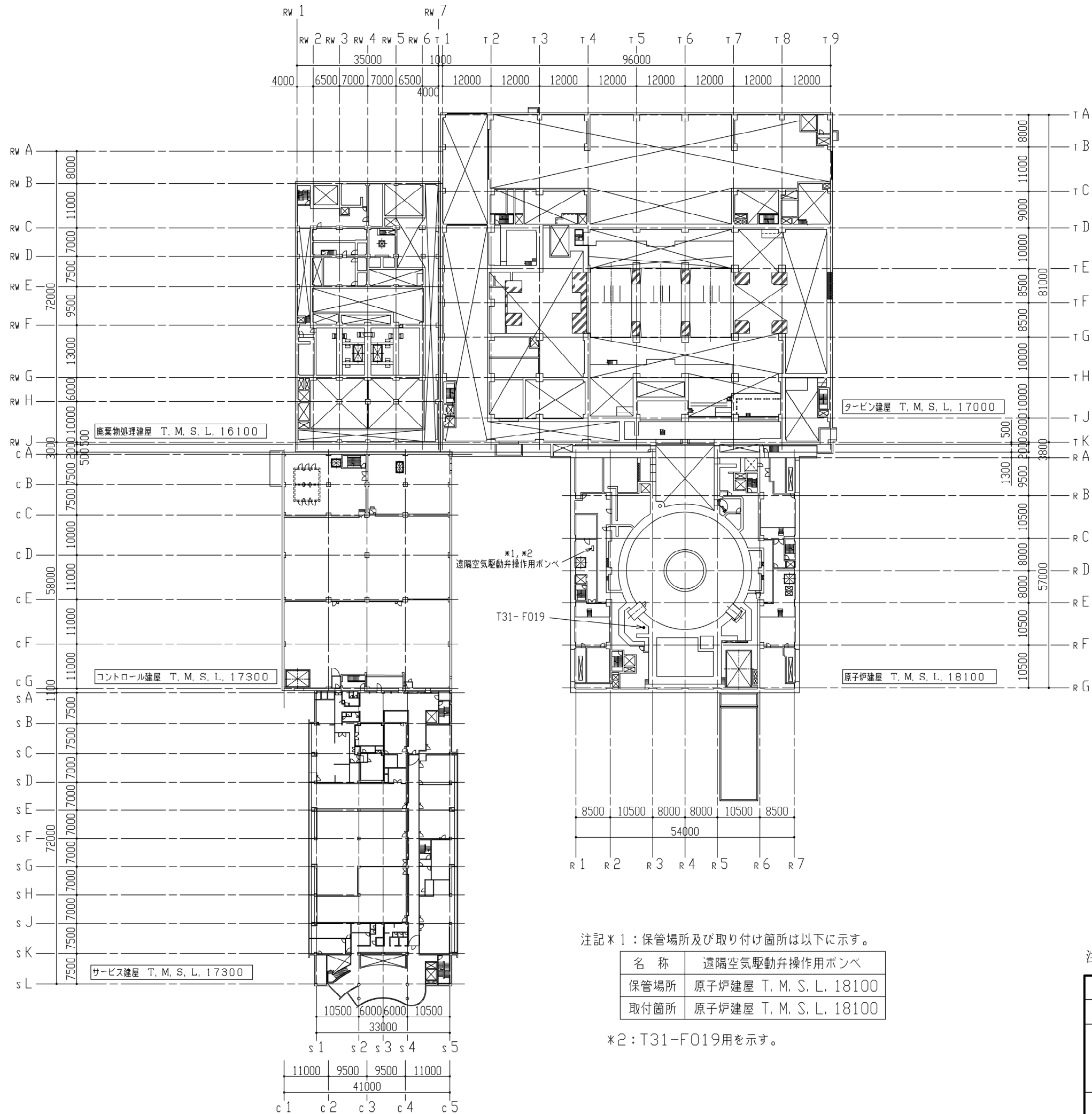
注記*1：保管場所及び取り付け箇所は以下に示す。

名称	遠隔空気駆動弁操作用ポンペ
保管場所	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800
取付箇所	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800

*2：T61-F001用を示す。
*3：T31-F022用を示す。

注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-5-1-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その1)
東京電力ホールディングス株式会社	
RYS	3531



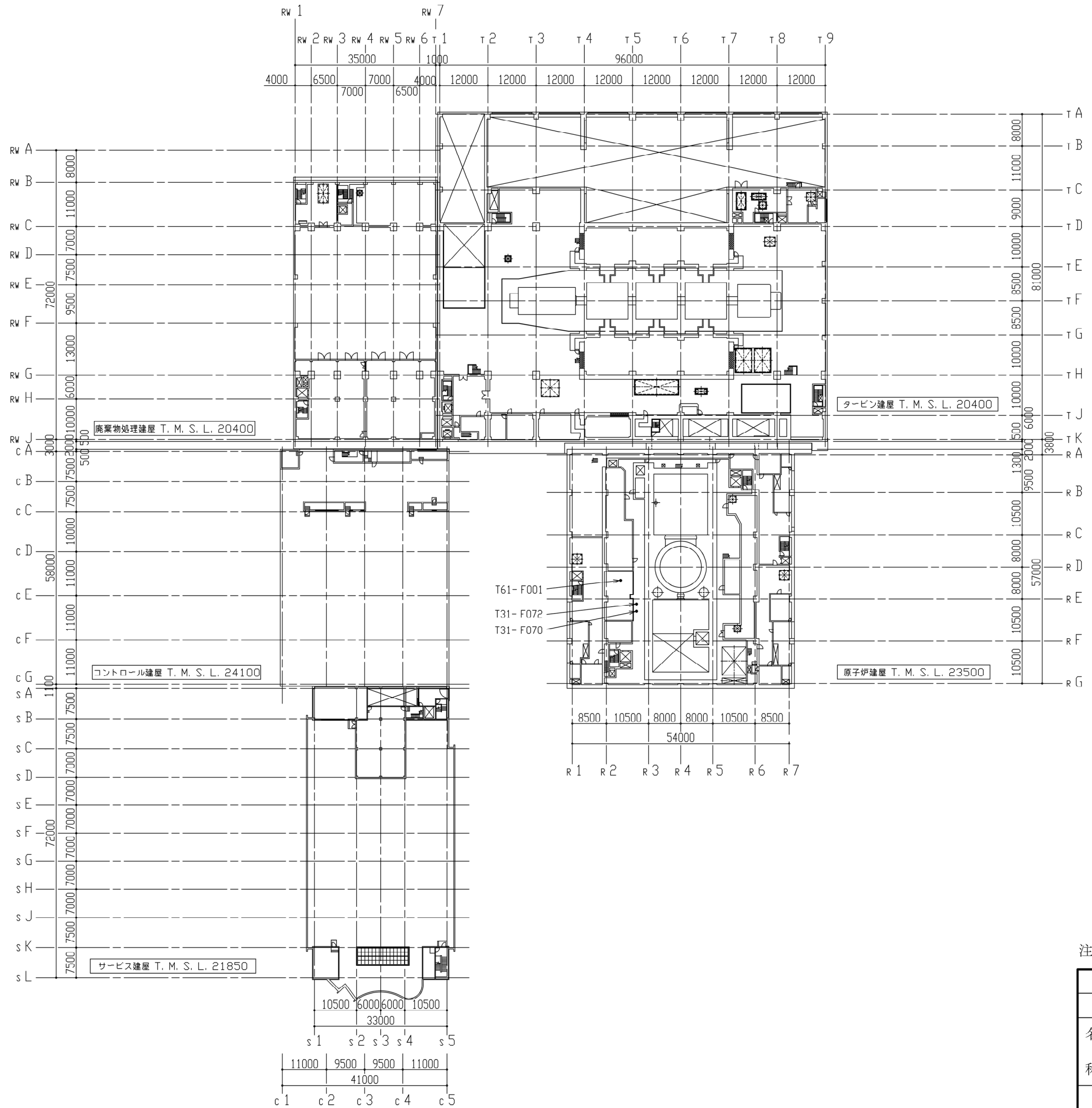
注記*1：保管場所及び取り付け箇所は以下に示す。

名称	遠隔空気駆動弁操作ポンペ
保管場所	原子炉建屋 T. M. S. L. 18100
取付箇所	原子炉建屋 T. M. S. L. 18100

*2：T31-F019用を示す。

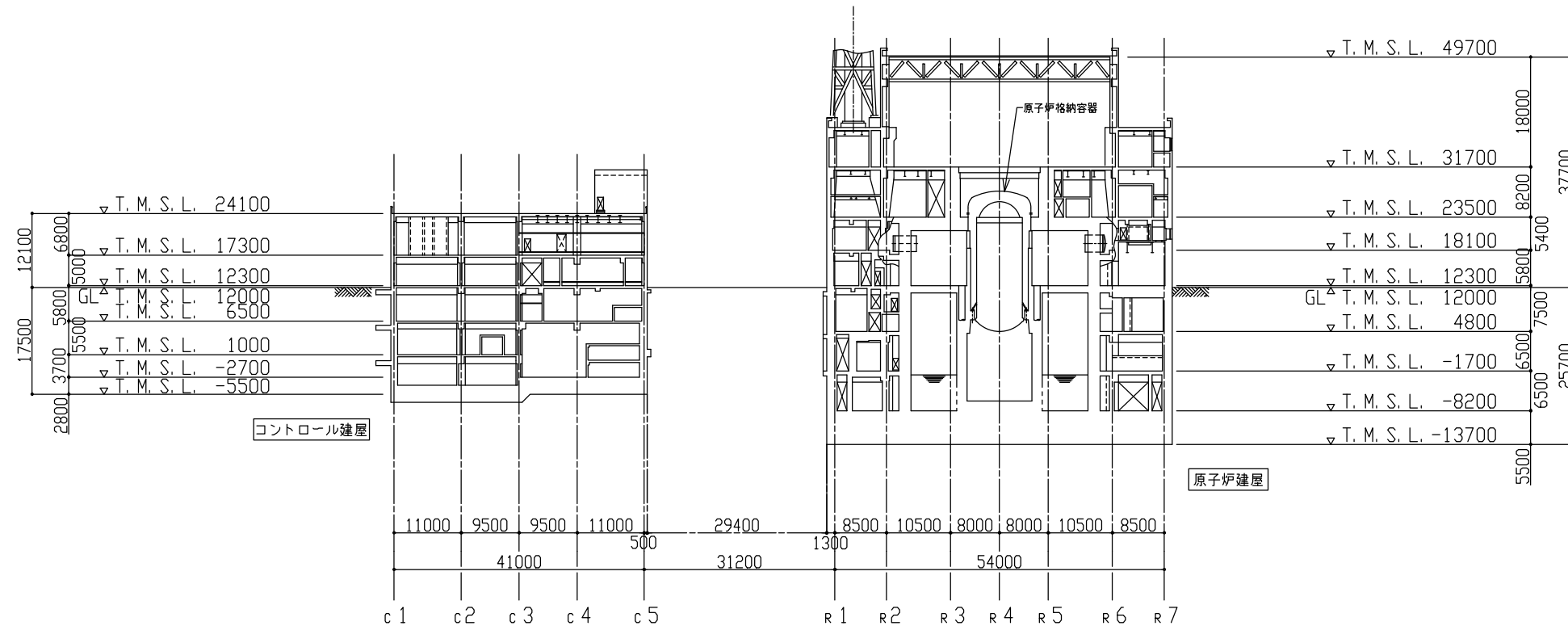
注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-5-1-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その2)
東京電力ホールディングス株式会社	

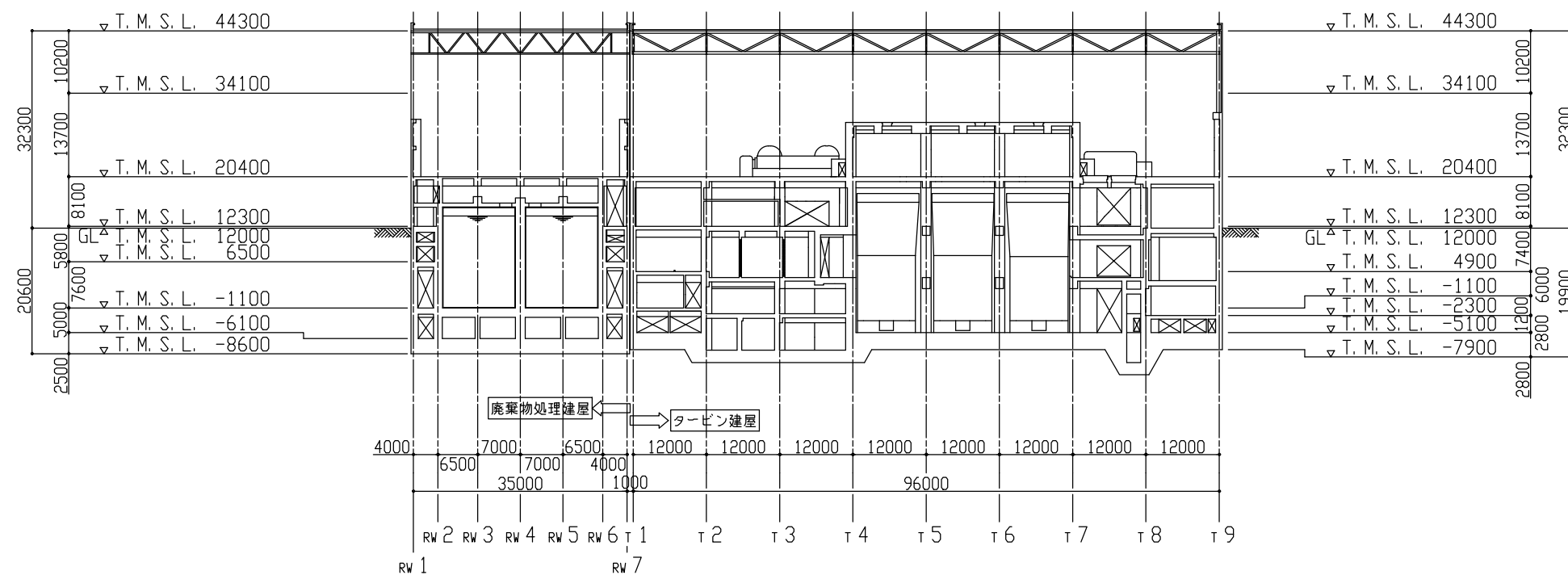


注：寸法はmmを示す。

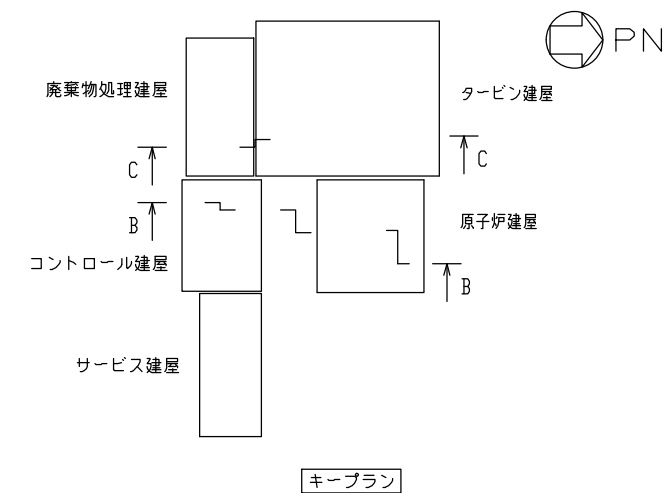
第8-3-5-5-1-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その3)
東京電力ホールディングス株式会社	



B-B断面図

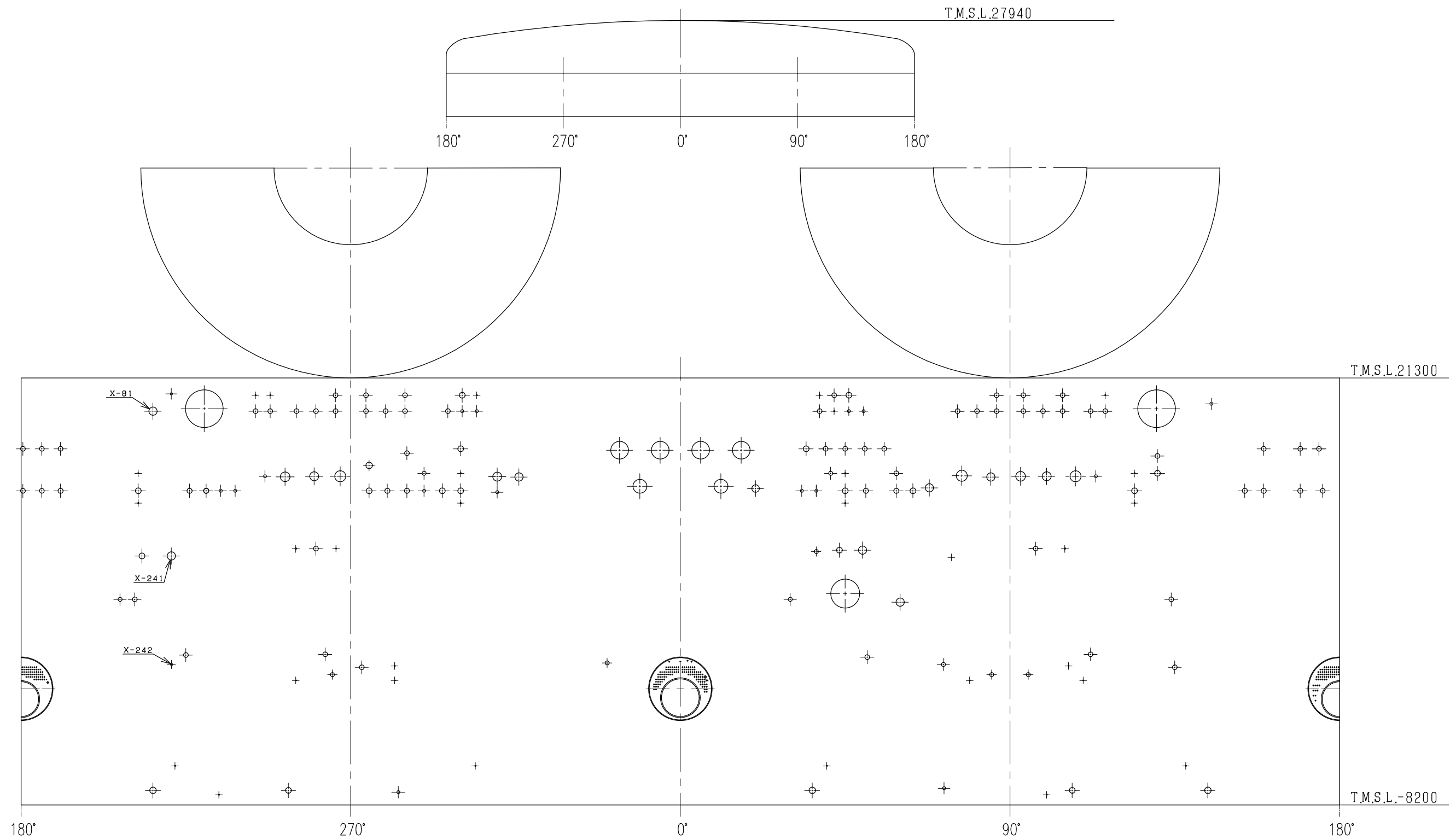


C-C断面図



注：寸法はmmを示す。

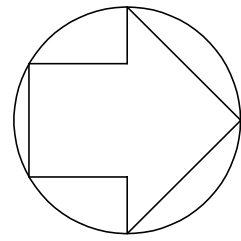
第8-3-5-5-1-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その4）
東京電力ホールディングス株式会社	



原子炉格納容器 内側展開図

注：寸法はmmを示す。

第8-3-5-5-1-5図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その5）
東京電力ホールディングス株式会社	



PN

R 1

R 2

8500

A

屋外T.M.S.L. 38600

R E

10500

R F

原子炉建屋

A

ラプチャーディスク
(よう素フィルタ出口側)

屋外T.M.S.L. 38200

屋外T.M.S.L. 49700

R E

10500

R F

屋外T.M.S.L. 49700

ラプチャーディスク
(よう素フィルタ出口側)

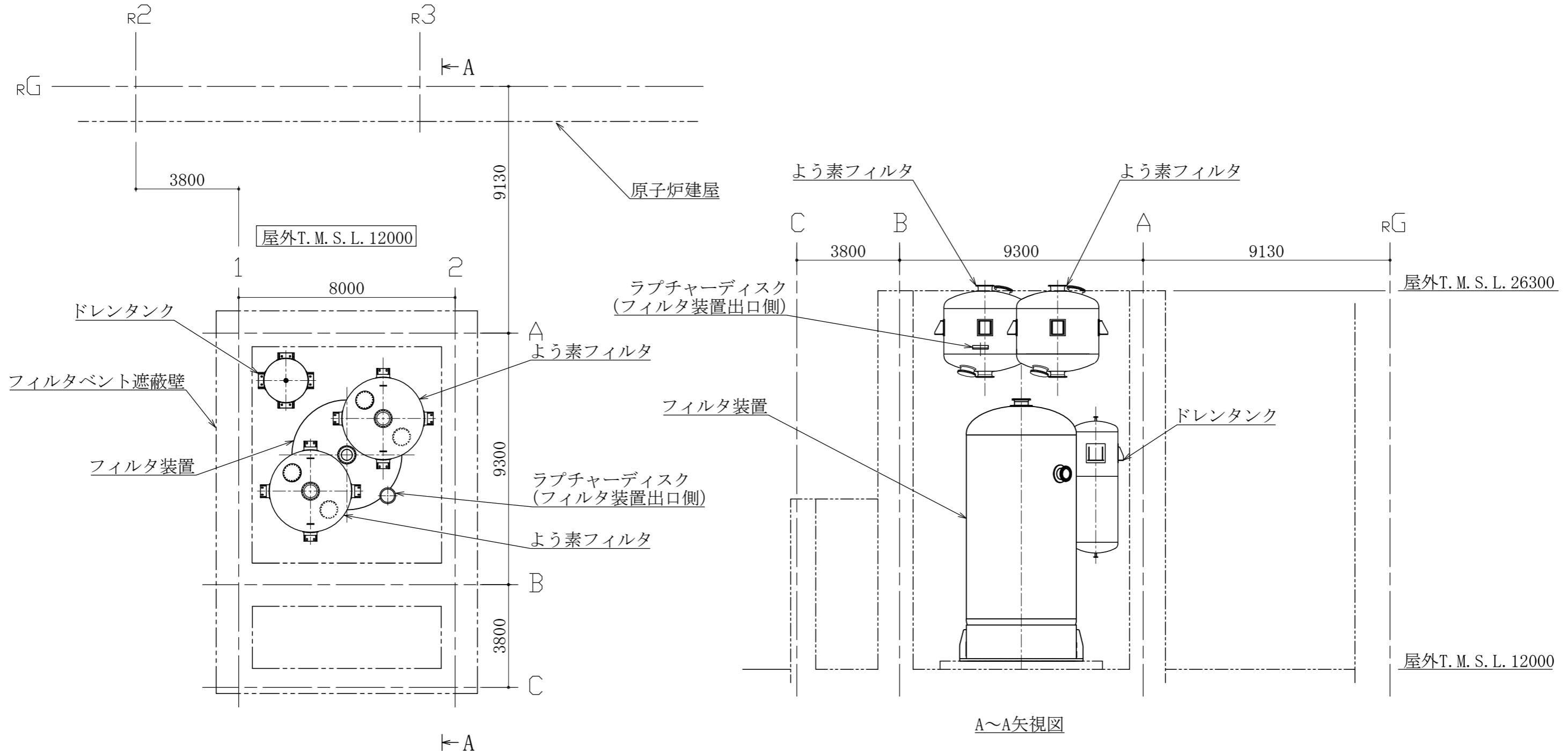
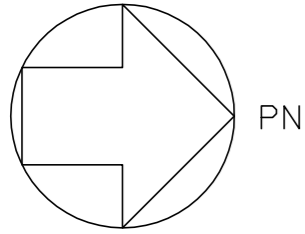
屋外T.M.S.L. 38200

A~A矢視図

注：寸法はmmを示す。

屋外

第8-3-5-5-1-6図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その6）
東京電力ホールディングス株式会社	

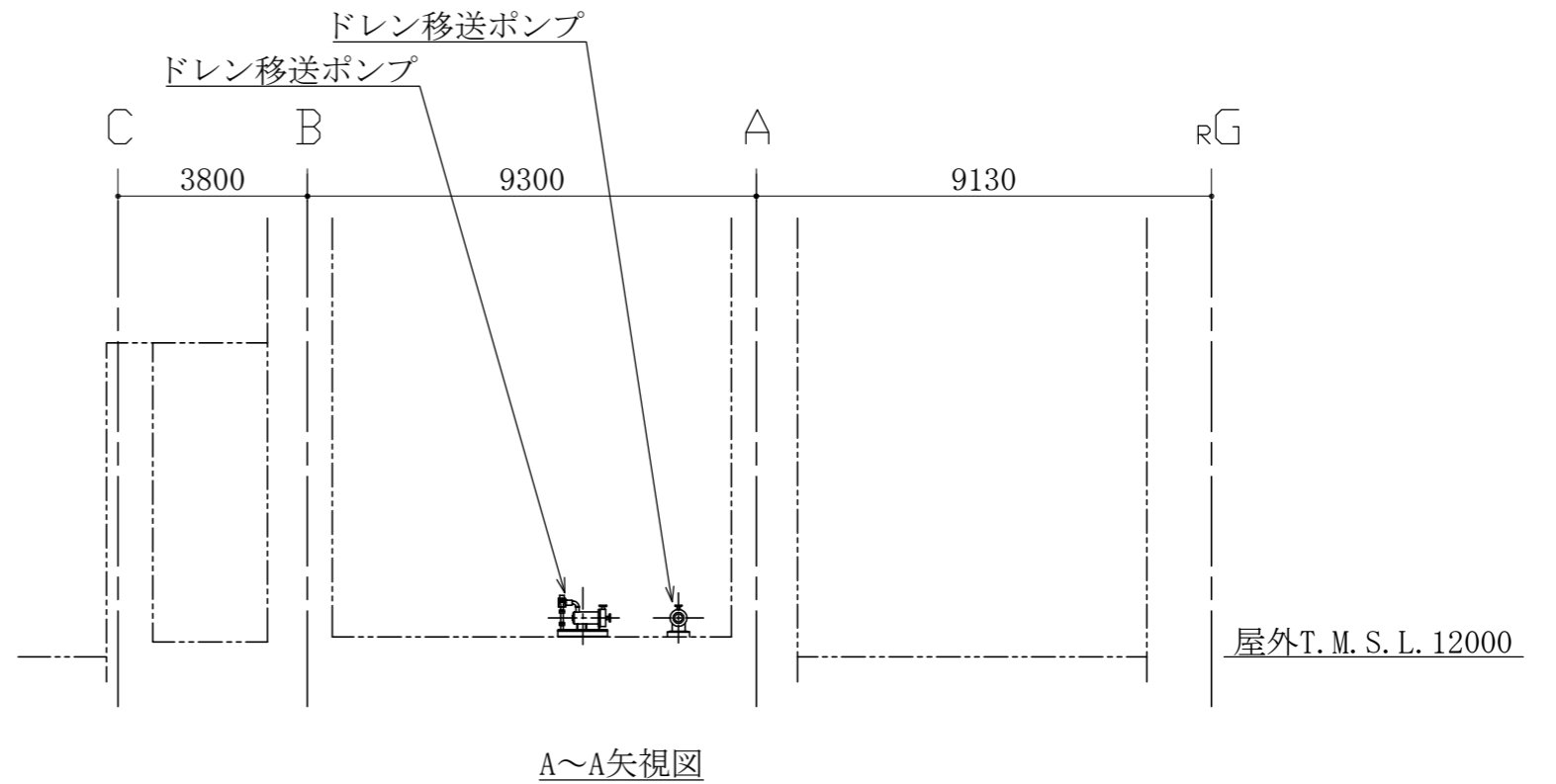
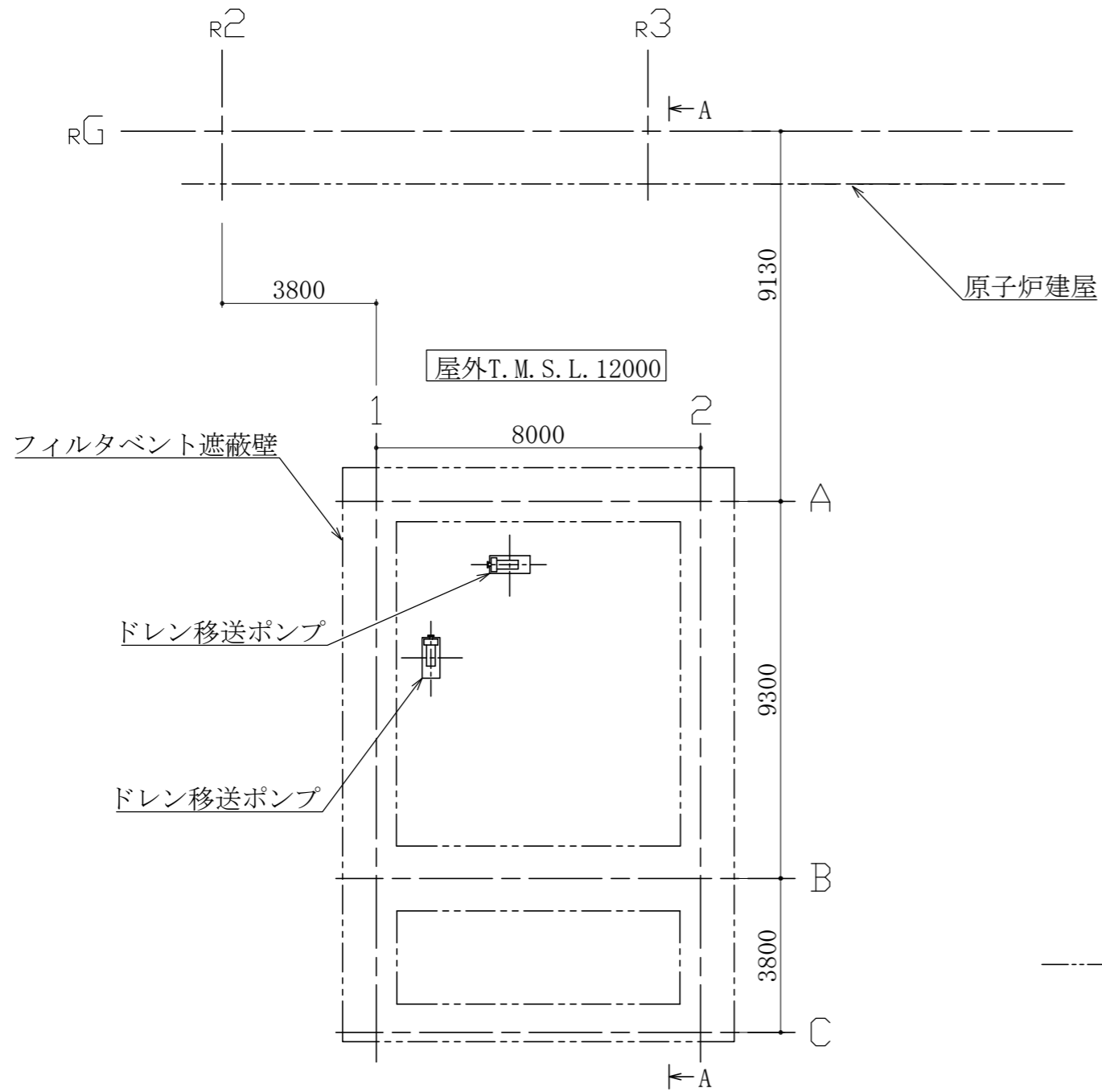
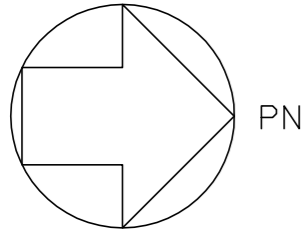


A~A矢視図

屋外

第8-3-5-5-1-7図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その7)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCYS	1817

注：寸法はmmを示す。



屋外

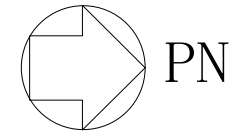
第8-3-5-5-1-8図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

名称 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その8)

東京電力ホールディングス株式会社

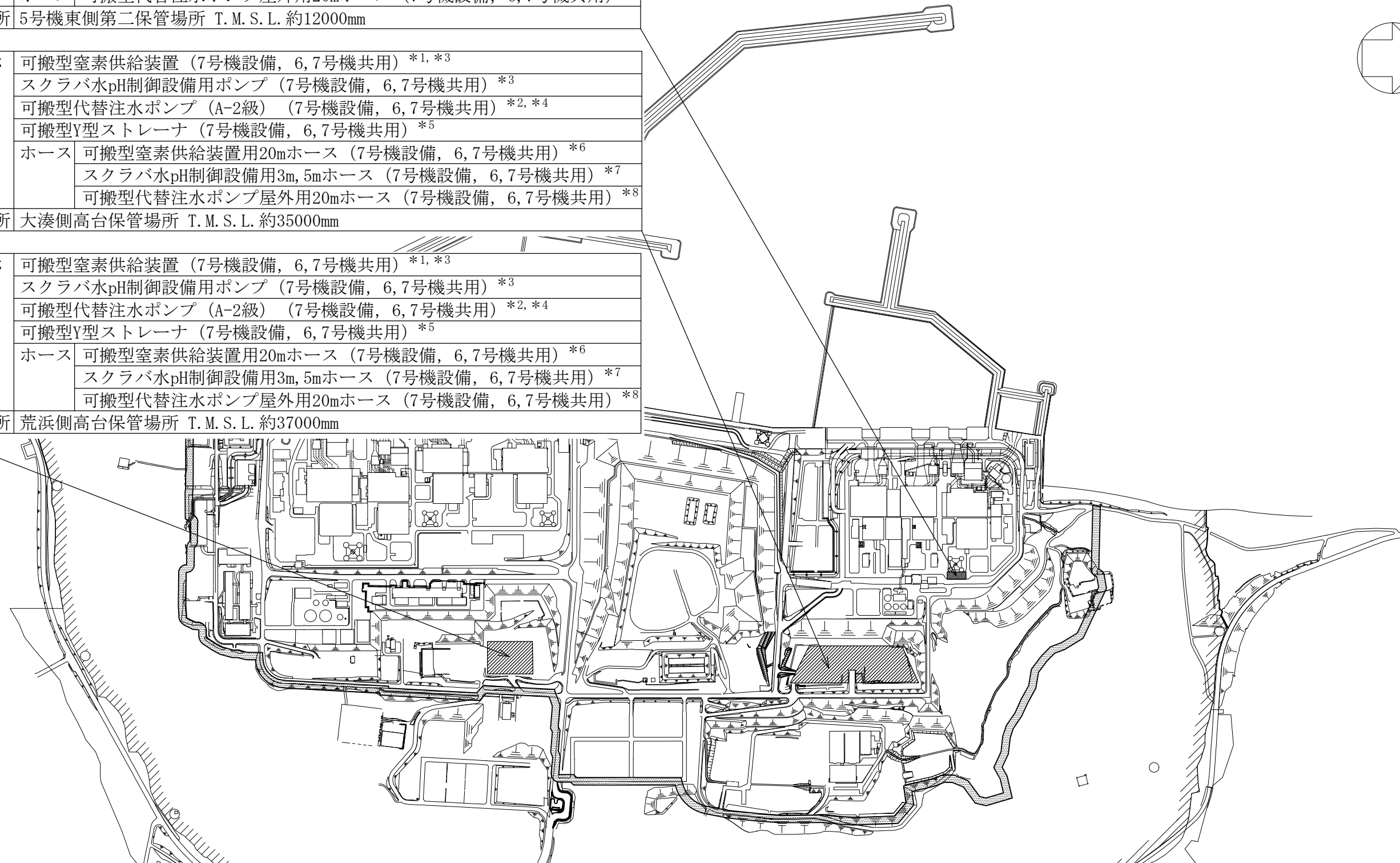
注：寸法はmmを示す。



名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2, *4
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用) *5
	ホース 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *8
保管場所	5号機東側第二保管場所 T. M. S. L. 約12000mm

名称	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6, 7号機共用) *1, *3
	スクラバ水pH制御設備用ポンプ (7号機設備, 6, 7号機共用) *3
	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2, *4
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用) *5
	ホース 可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *6
	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *7
	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *8
保管場所	大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約35000mm

名称	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6, 7号機共用) *1, *3
	スクラバ水pH制御設備用ポンプ (7号機設備, 6, 7号機共用) *3
	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2, *4
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用) *5
	ホース 可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *6
	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *7
	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *8
保管場所	荒浜側高台保管場所 T. M. S. L. 約37000mm

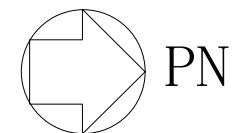


- 注記*1 : 下記設備は、可搬型窒素供給装置の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (7号機設備, 6, 7号機共用)
- *2 : 下記設備は、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 燃料タンク (7号機設備, 6, 7号機共用)
- *3 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ1個ずつ保管するとともに、予備1個を保管場所2箇所のうちいずれかに保管する。
- *4 : 予備を含めた17個を荒浜側高台保管場所、大湊側高台保管場所及び5号機東側第二保管場所のうち荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ6個、5号機東側第二保管場所に5個を保管する。
- *5 : 予備を含めた荒浜側高台保管場所、大湊側高台保管場所及び5号機東側第二保管場所のうち9個を荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ2個、5号機東側第二保管場所に5個を保管する。
- *6 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ6本ずつ保管するとともに、予備1本を保管場所2箇所のうちいずれかに保管する。
- *7 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ5本ずつ保管するとともに、予備2本を保管場所2箇所のうちいずれかに保管する。
- *8 : 予備を含めた1097本を荒浜側高台保管場所、大湊側高台保管場所及び5号機東側第二保管場所のうち荒浜側高台保管場所に468本、大湊側高台保管場所に469本及び5号機東側第二保管場所に160本を保管する。

■ : 保管場所

第8-3-5-5-1-9図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (格納容器圧力逃がし装置) に係る機器の配置を明示した図面(その9)
	東京電力ホールディングス株式会社

名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約15000mm 弥彦通り及び佐渡通り交差点付近		屋外 T.M.S.L. 約15000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)



名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 6号機建屋付近

名称	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	

名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約49000mm 淡水貯水池付近		屋外 T.M.S.L. 約49000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)

名称	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6, 7号機共用) *3	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)
	スクラバ水pH制御設備用ポンプ (7号機設備, 6, 7号機共用)			
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 6号機建屋付近	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 可搬型窒素供給装置	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 水酸化ナトリウム水溶液～スクラバ水pH制御設備用ポンプ	

※本図は、6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、6号機側への取付箇所を示す。

注記*1 : 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) のフィルタ装置補給用接続口, スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) のフィルタ装置補給用接続口及び可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) の窒素パーシライン接続口の取付箇所は第8-3-5-5-1-12図参照。

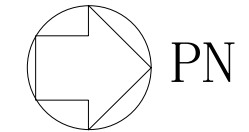
*2 : 下記設備は、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 燃料タンク (7号機設備, 6, 7号機共用)

*3 : 下記設備は、可搬型窒素供給装置の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (7号機設備, 6, 7号機共用)

取付箇所

第8-3-5-5-1-10図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (格納容器圧力逃がし装置) に係る機器の配置を明示した図面(その10)
東京電力ホールディングス株式会社	

名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約15000mm 弥彦通り及び佐渡通り交差点付近		屋外 T.M.S.L. 約15000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)



名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 7号機建屋付近

名称	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	

名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約49000mm 淡水貯水池付近		屋外 T.M.S.L. 約49000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)

名称	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6, 7号機共用) *3	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)
	スクラバ水pH制御設備用ポンプ (7号機設備, 6, 7号機共用)			
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 7号機建屋付近	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 可搬型窒素供給装置	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 水酸化ナトリウム水溶液～スクラバ水pH制御設備用ポンプ	

※本図は、6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、7号機側への取付箇所を示す。

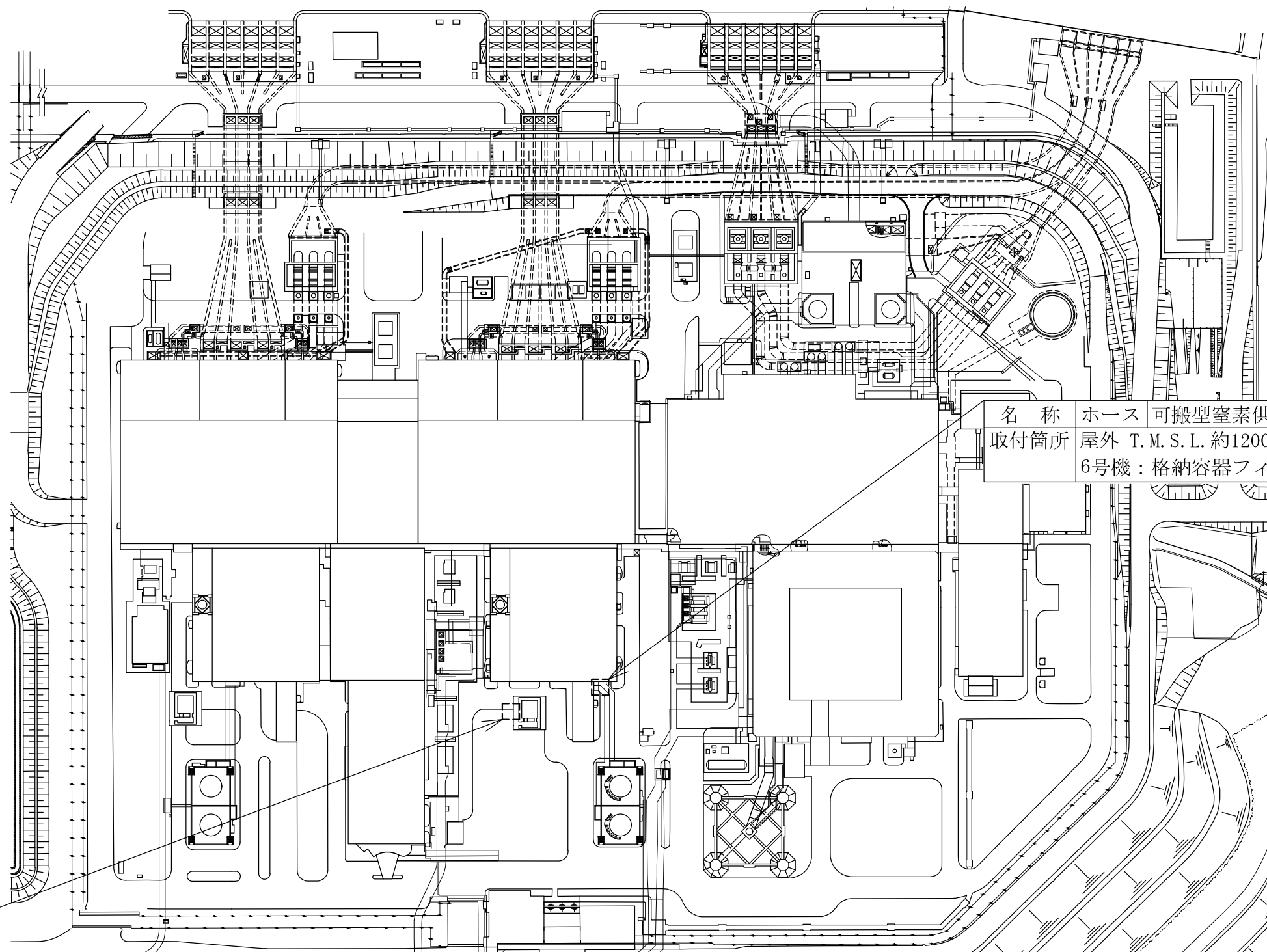
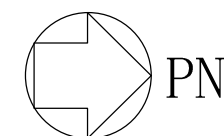
注記*1 : 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) のフィルタ装置補給用接続口, スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) のフィルタ装置補給用接続口及び可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) の窒素パーシライン接続口の取付箇所は第8-3-5-5-1-13図参照。

*2 : 下記設備は、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 燃料タンク (7号機設備, 6, 7号機共用)

*3 : 下記設備は、可搬型窒素供給装置の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (7号機設備, 6, 7号機共用)

取付箇所

第8-3-5-5-1-11図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (格納容器圧力逃がし装置) に係る機器の配置を明示した図面(その11)
東京電力ホールディングス株式会社	



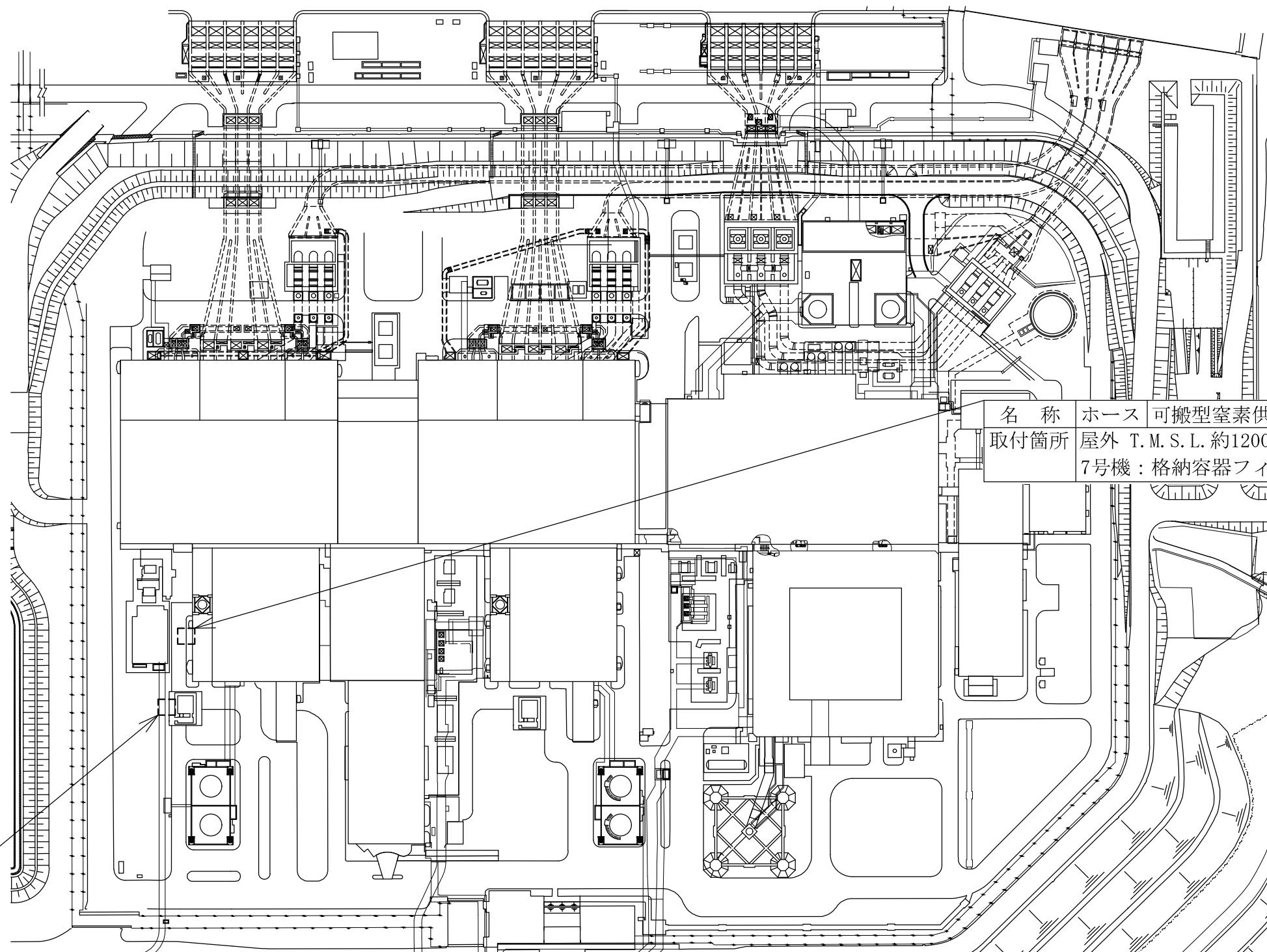
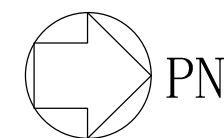
名称	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外	T. M. S. L. 約12000mm 6号機: 格納容器フィルタベント窒素パーズライン接続口

名称	ホース	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)	可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外	T. M. S. L. 約12000mm 6号機: フィルタ装置補給用接続口	屋外 T. M. S. L. 約12000mm 6号機: ドレン移送ライン窒素パーズライン接続口

--- : 取付箇所

※本図は、6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、6号機側への取付箇所を示す。

第8-3-5-5-1-12図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その12)
	東京電力ホールディングス株式会社



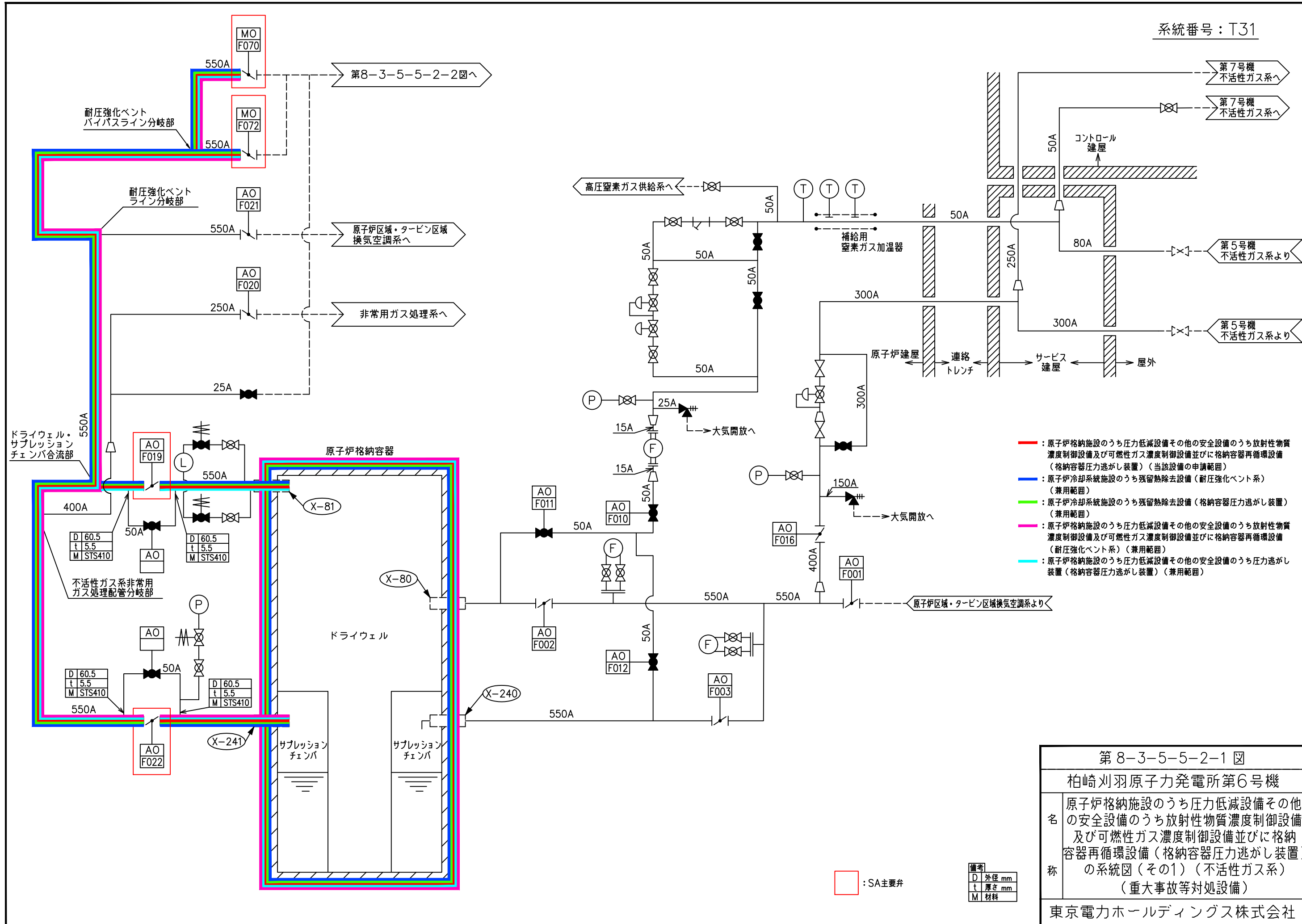
名 称	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外	T. M. S. L. 約12000mm 7号機: 格納容器フィルタベント窒素パーズライン接続口

名 称	ホース	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)	可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外	T. M. S. L. 約12000mm 7号機: フィルタ装置補給用接続口	屋外 T. M. S. L. 約12000mm 7号機: ドレン移送ライン窒素パーズライン接続口

----- : 取付箇所

※本図は、6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、7号機側への取付箇所を示す。

第8-3-5-5-1-13図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その13)
	東京電力ホールディングス株式会社

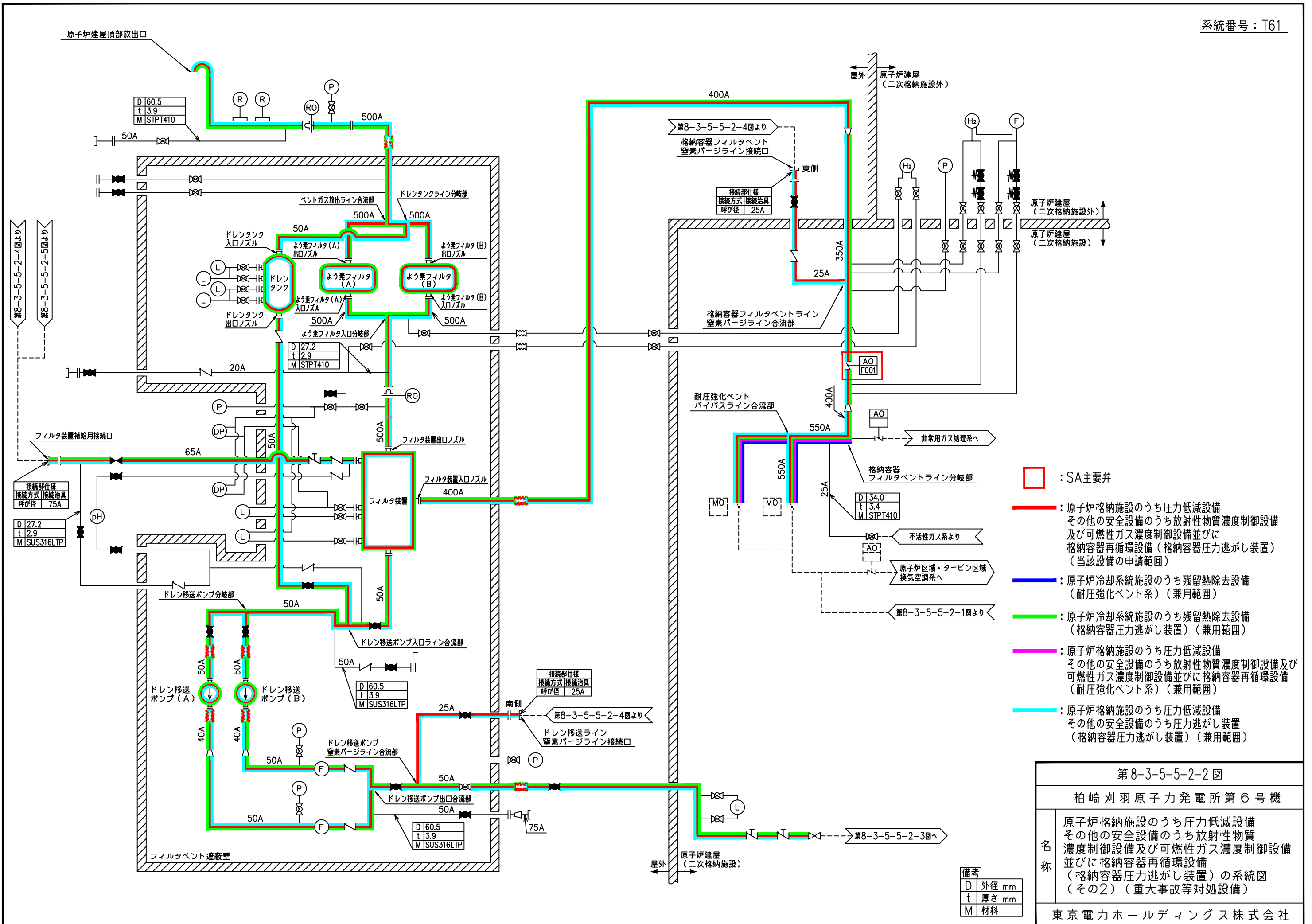


- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）（当該設備の申請範囲）
- : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）
- : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）

備考	
D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料

□ : SA主要弁

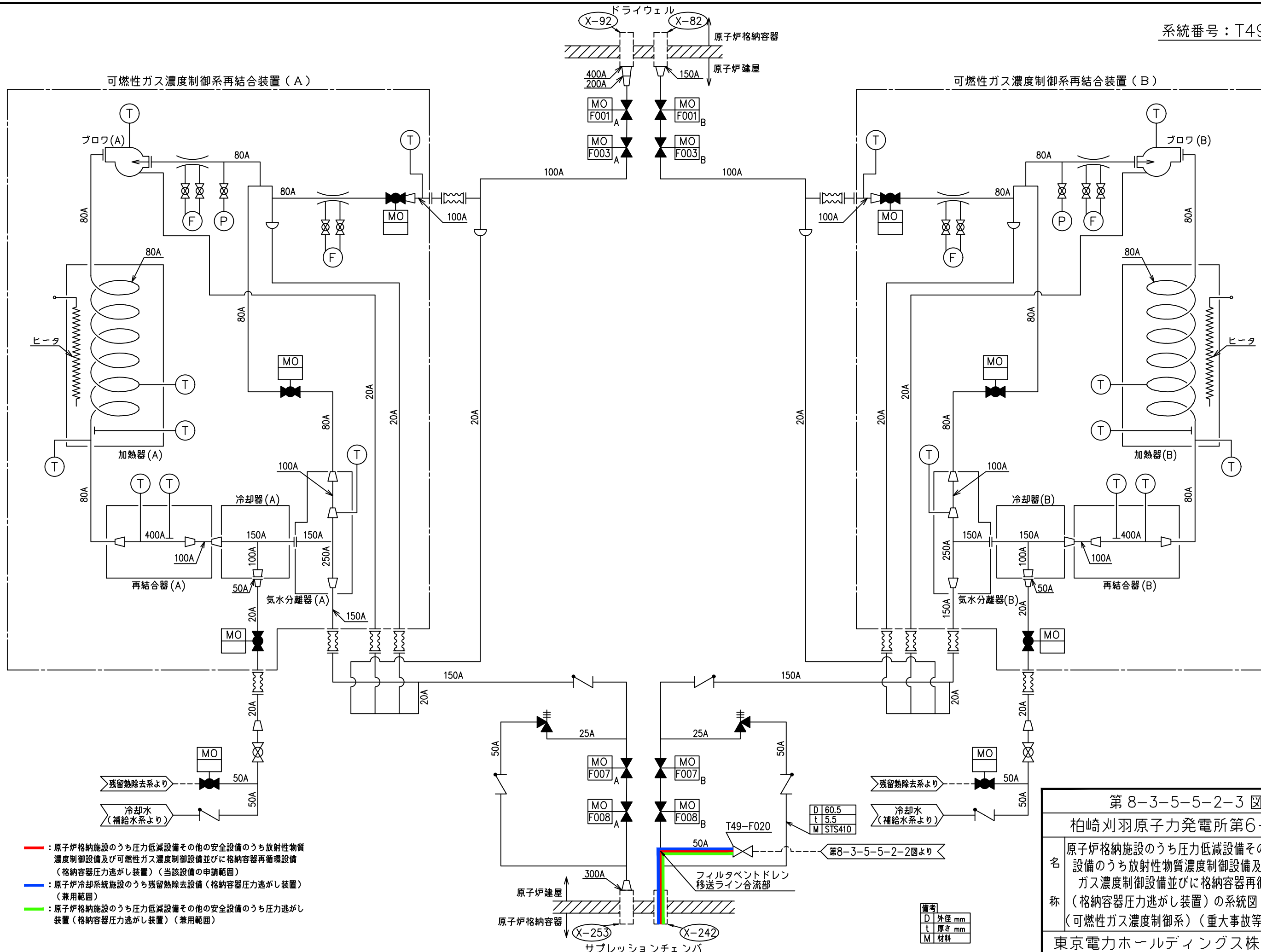
第 8-3-5-5-2-1 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その1）（不活性ガス系）
称	（重大事故等対処設備）
東京電力ホールディングス株式会社	



- : SA主要弁
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備
及び可燃性ガス濃度制御設備並びに
格納容器再循環設備 (格納容器圧力逃がし装置)
(当該設備の申請範囲)
- : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備
(耐圧強化ベント系) (兼用範囲)
- : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備
(格納容器圧力逃がし装置) (兼用範囲)
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
(耐圧強化ベント系) (兼用範囲)
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
(格納容器圧力逃がし装置) (兼用範囲)

備考	D	外径	mm
	t	厚さ	mm
	M	材料	

第8-3-5-5-2-2 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち放射性物質 濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備 並びに格納容器再循環設備 (格納容器圧力逃がし装置)の系統図 (その2) (重大事故等対処設備)
	東京電力ホールディングス株式会社



- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）（当該設備の申請範囲）
- : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）

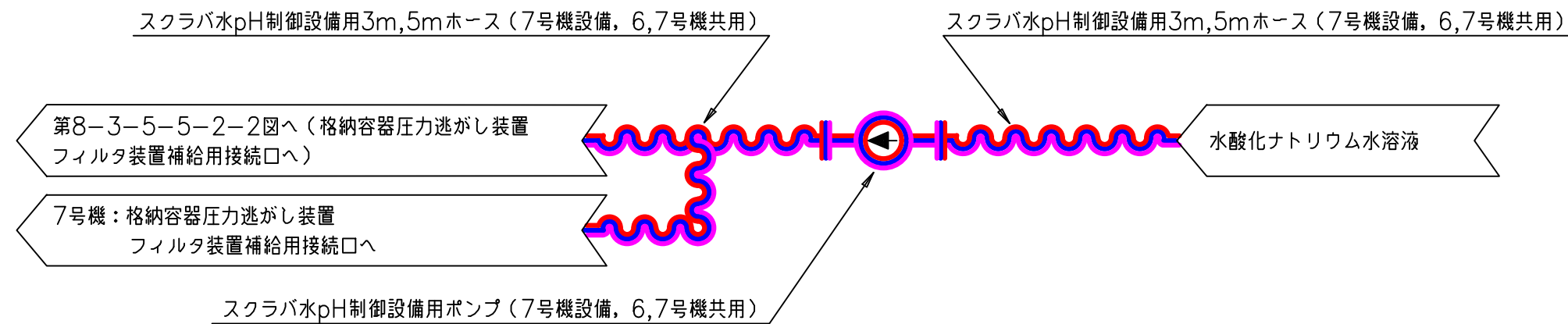
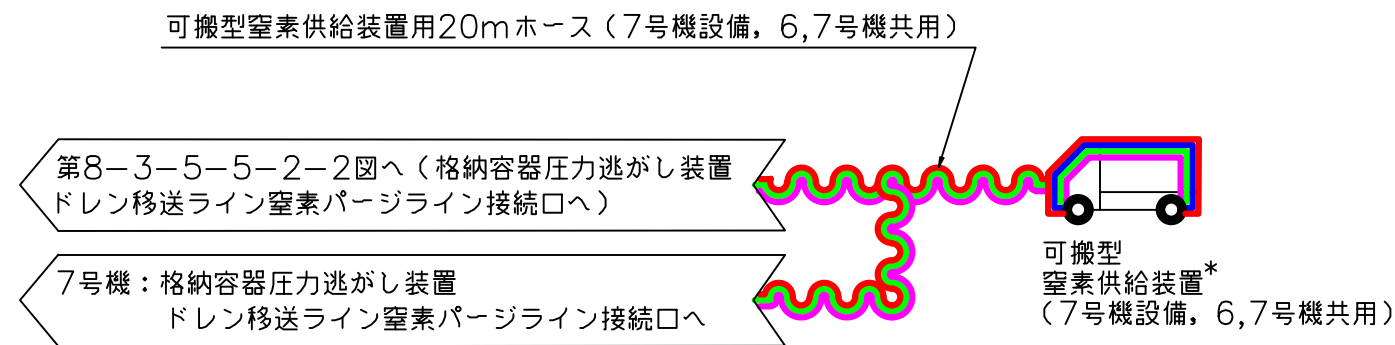
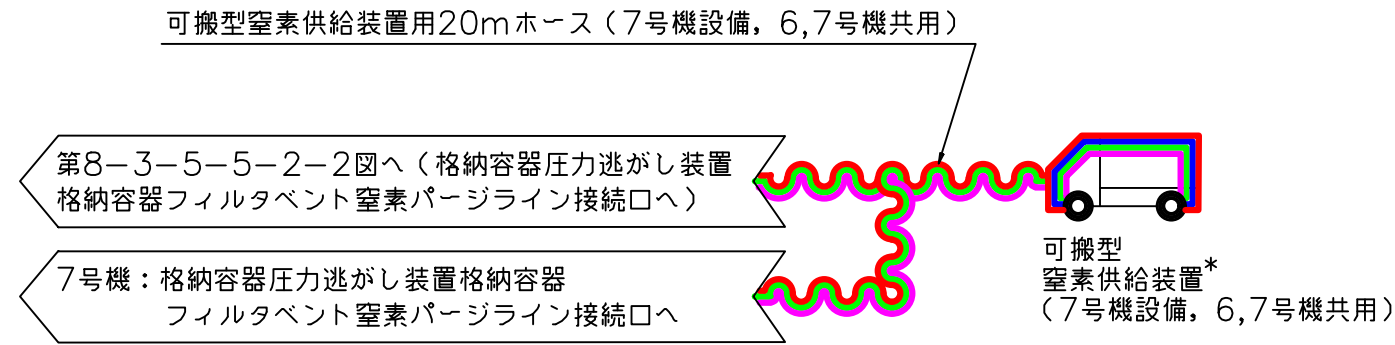
備考
D 外径 mm
t 厚さ mm
M 材料

第 8-3-5-5-2-3 図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

名 称 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その3）（可燃性ガス濃度制御系）（重大事故等対処設備）

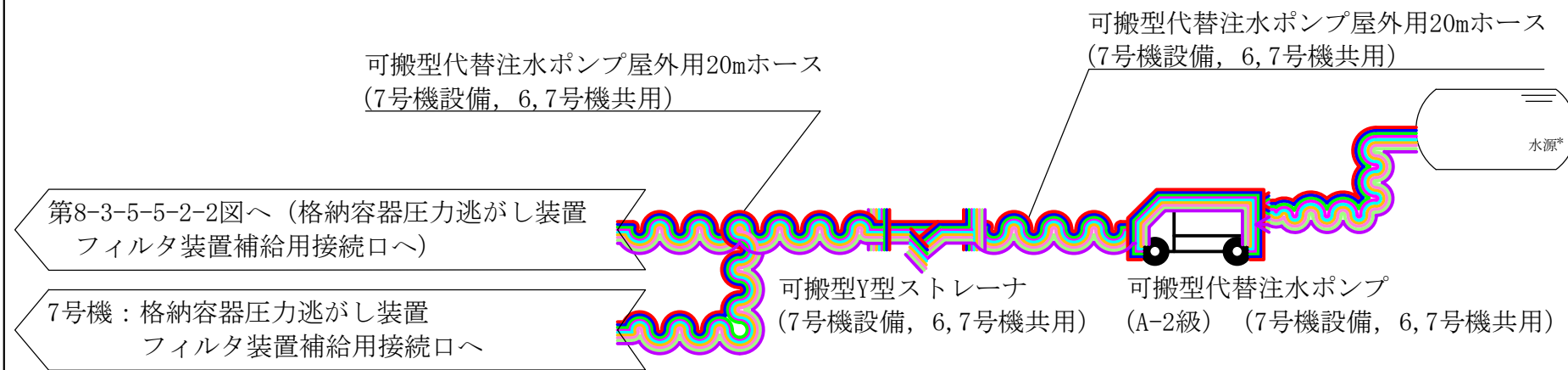
東京電力ホールディングス株式会社



- ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備
及び可燃性ガス濃度制御設備並びに
格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）
（当該設備の申請範囲）
- ：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備
（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）
- ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）

第8-3-5-5-2-4 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち放射性物質 濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備 並びに格納容器再循環設備 （格納容器圧力逃がし装置）の系統図 （その4）（重大事故等対処設備）
東京電力ホールディングス株式会社	

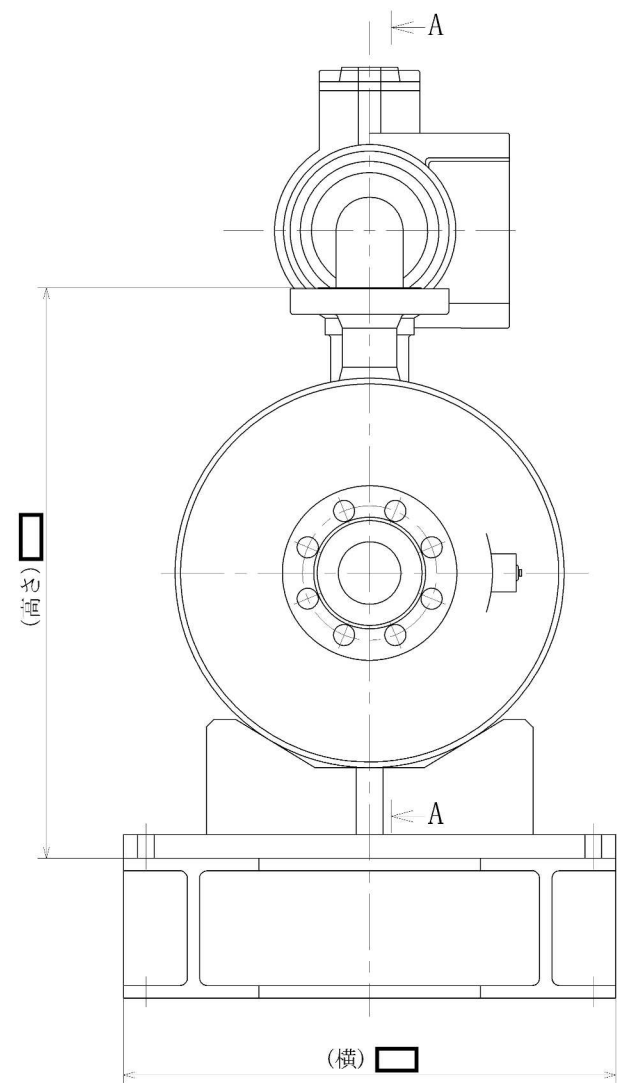
注記*：可搬型窒素供給装置（7号機設備，6,7号機共用）について、同一の機器を示す。



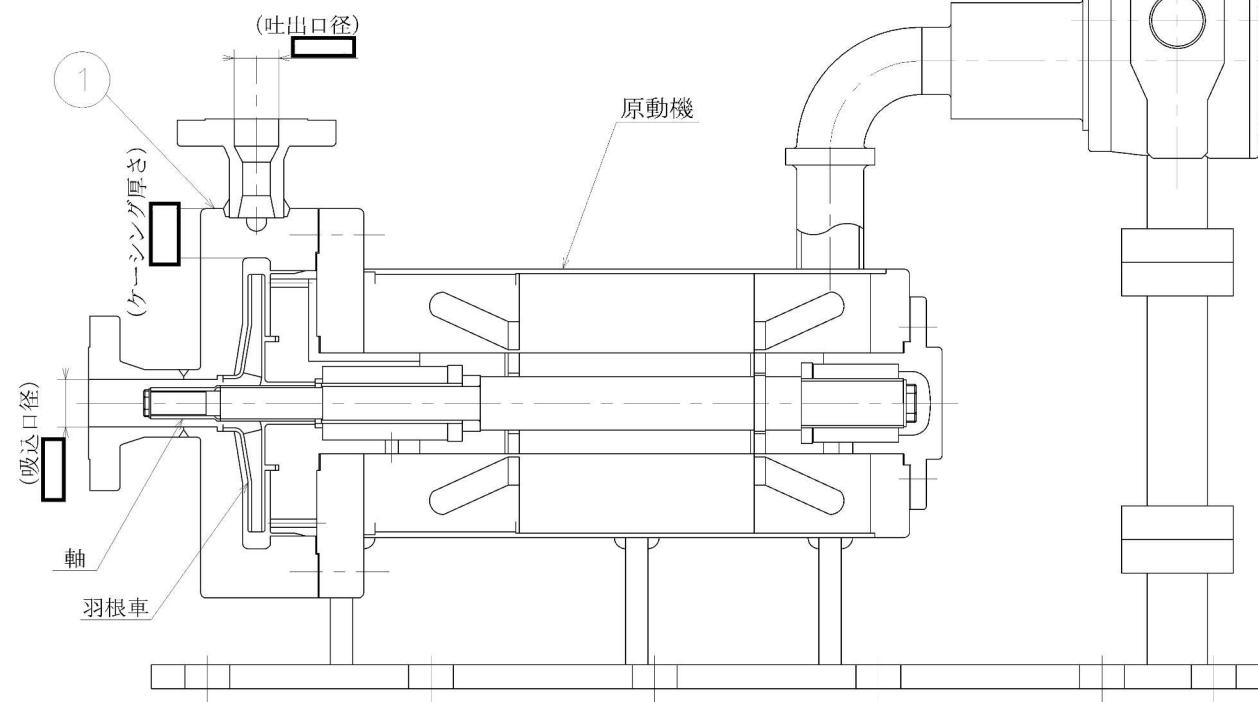
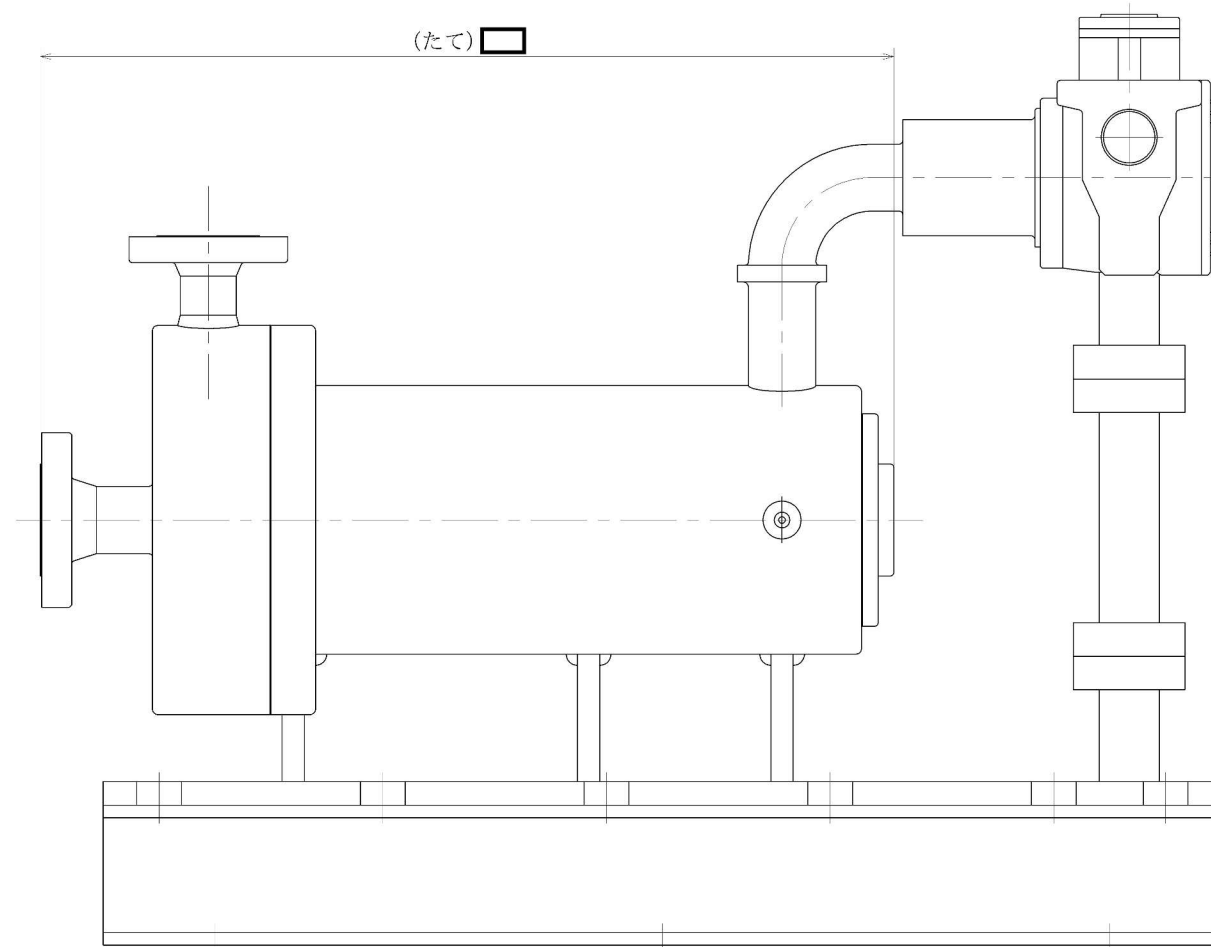
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）（当該設備の申請範囲）
- ~~~~~：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（燃料プール代替注水系）（兼用範囲）
- ~~~~~：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- ~~~~~：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）（兼用範囲）
- ~~~~~：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（水の供給設備）（兼用範囲）
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（格納容器下部注水系）（兼用範囲）
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（代替格納容器スプレィ冷却系）（兼用範囲）
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備（低圧代替注水系）（兼用範囲）
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）

注記*：防火水槽又は淡水貯水池を示す。

第8-3-5-5-2-5図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その5）（代替給水設備）（重大事故等対処設備）
東京電力ホールディングス株式会社	



外形図



A~A断面図

1	ケーシング	1	SUS316L
番号	品名	個数	材料
部品表			

注1：寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

第8-3-5-5-3-1図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

名 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の
称 の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備
及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容
器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）
の構造図 ドレン移送ポンプ

東京電力ホールディングス株式会社

第 8-3-5-5-3-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）の構造
 図 ドレン移送ポンプ 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

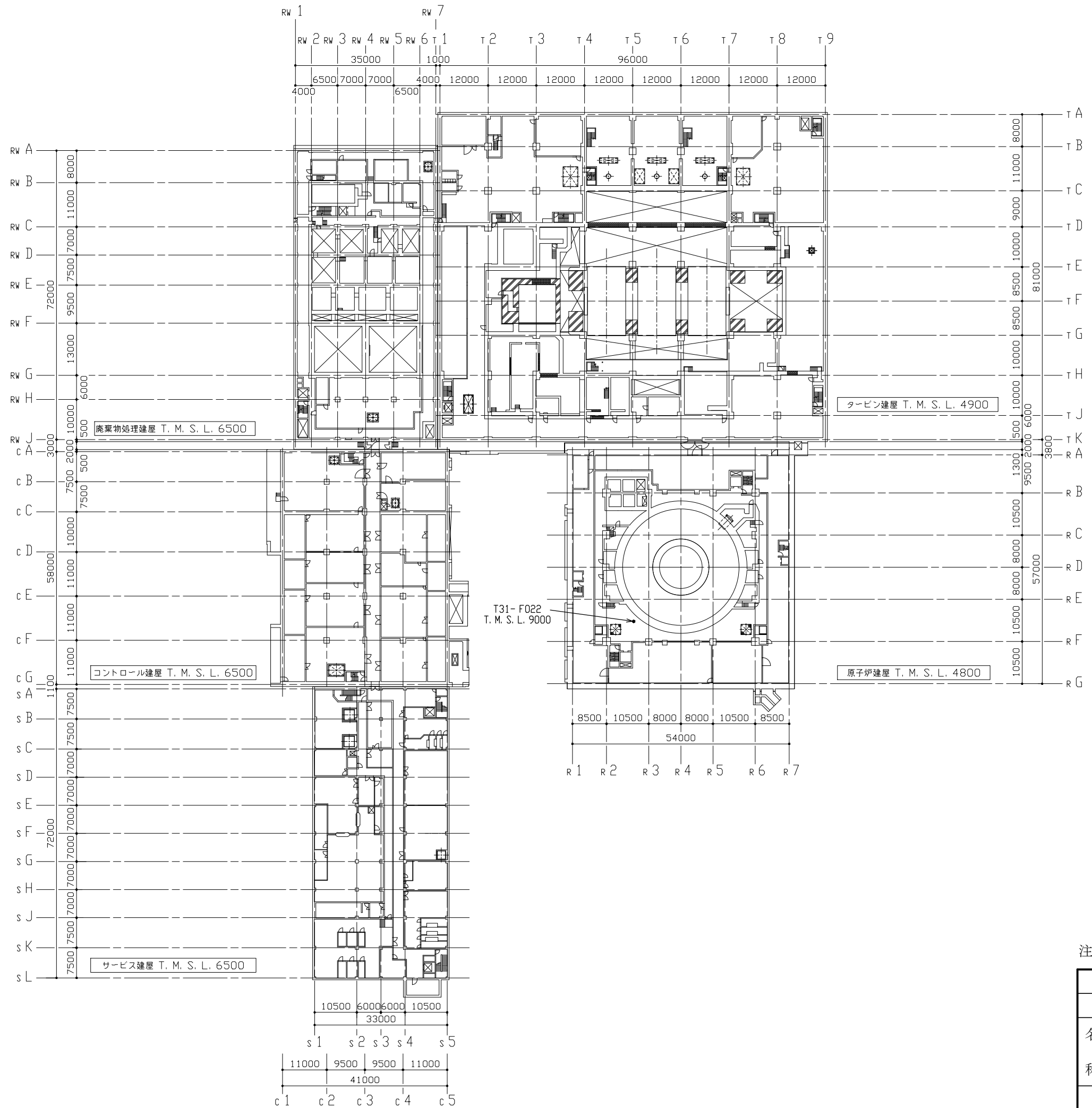
[ドレン移送ポンプ]

主要寸法 (mm)	許容範囲	根 拠
吸込口径	mm mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
吐出口径	mm	同上
ケーシング厚さ	mm	同上
たて	mm	同上
横	mm	同上
高さ	mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

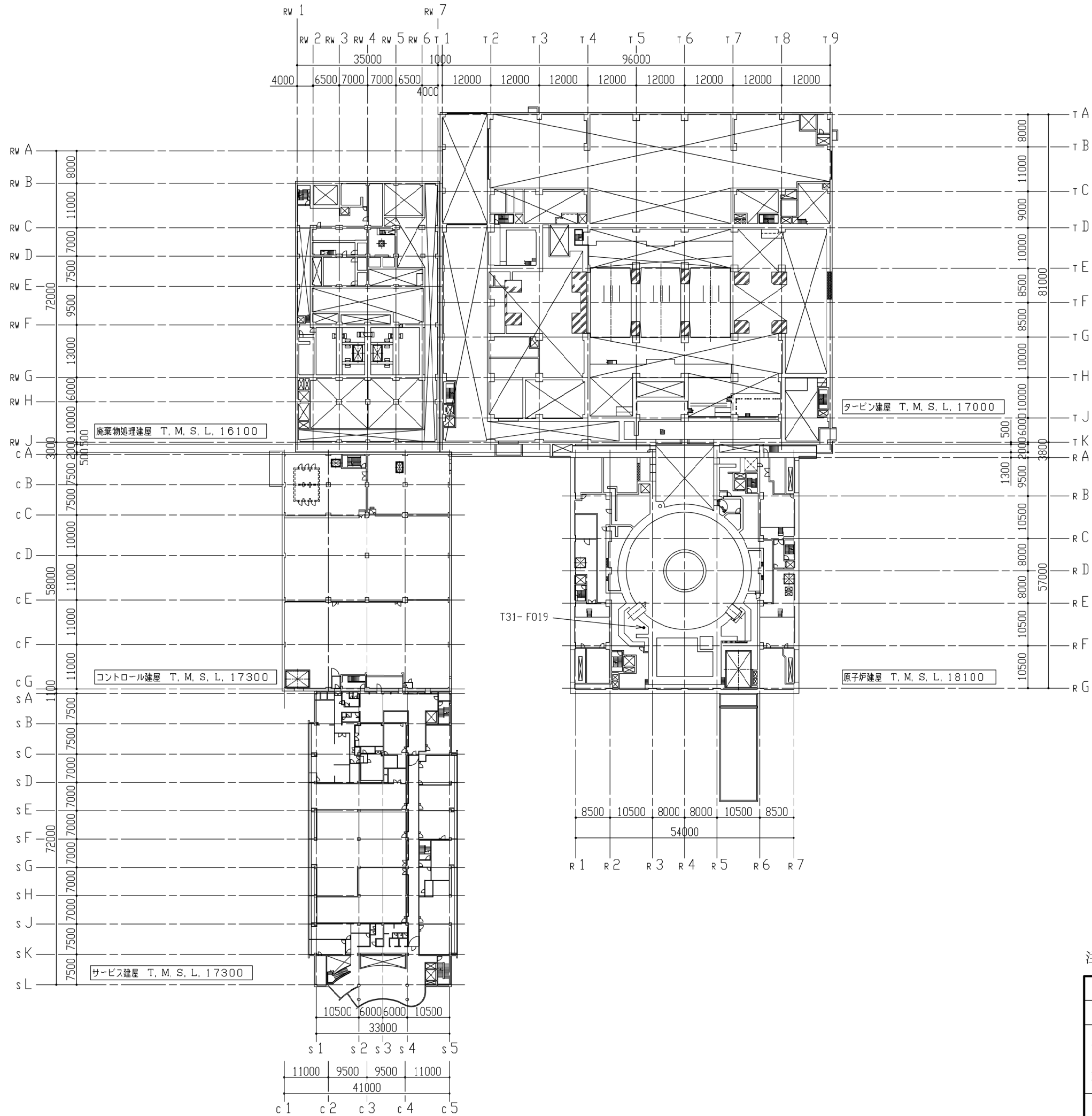
8.3.6 原子炉格納容器調気設備

8.3.6.1 不活性ガス系



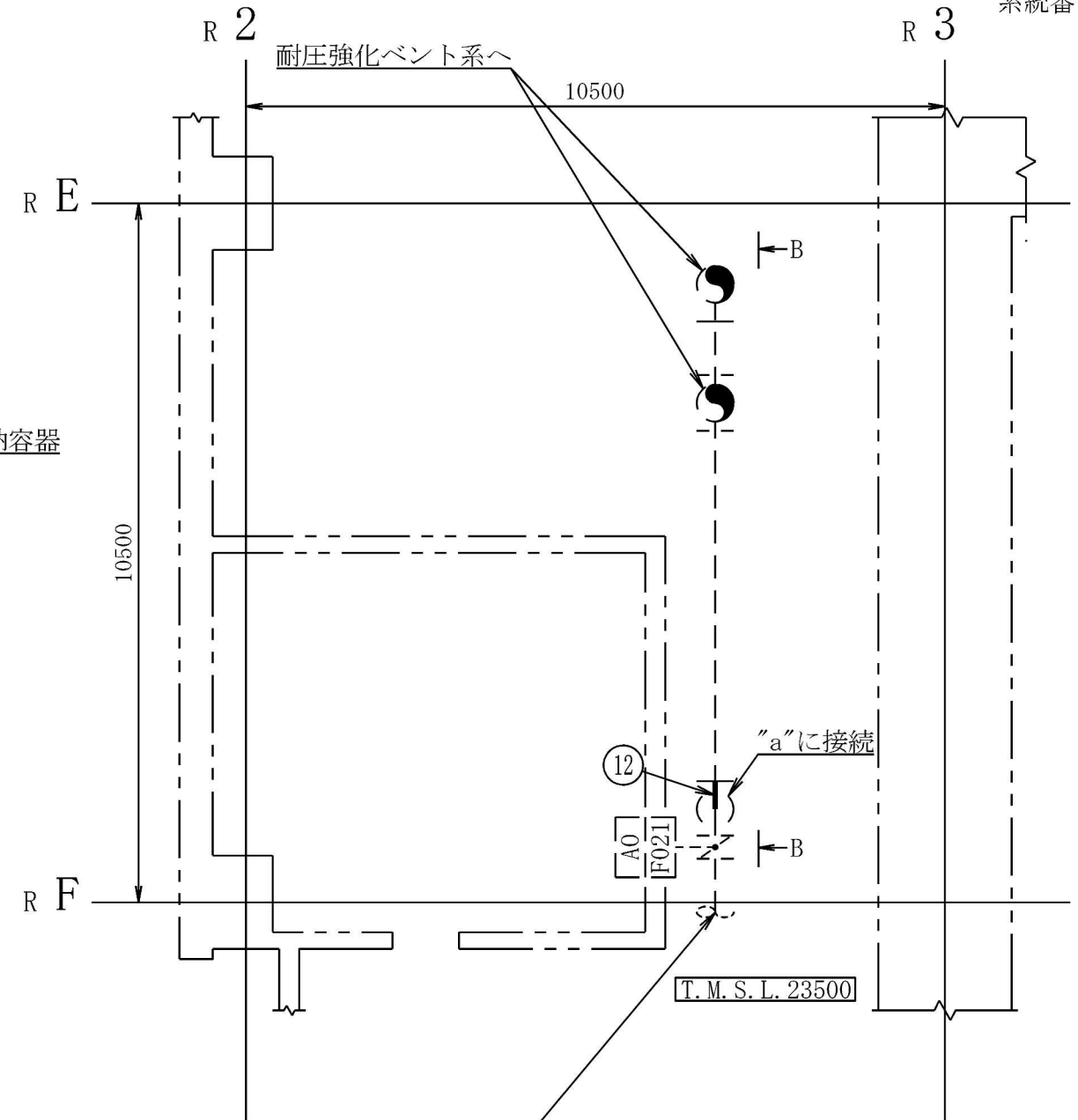
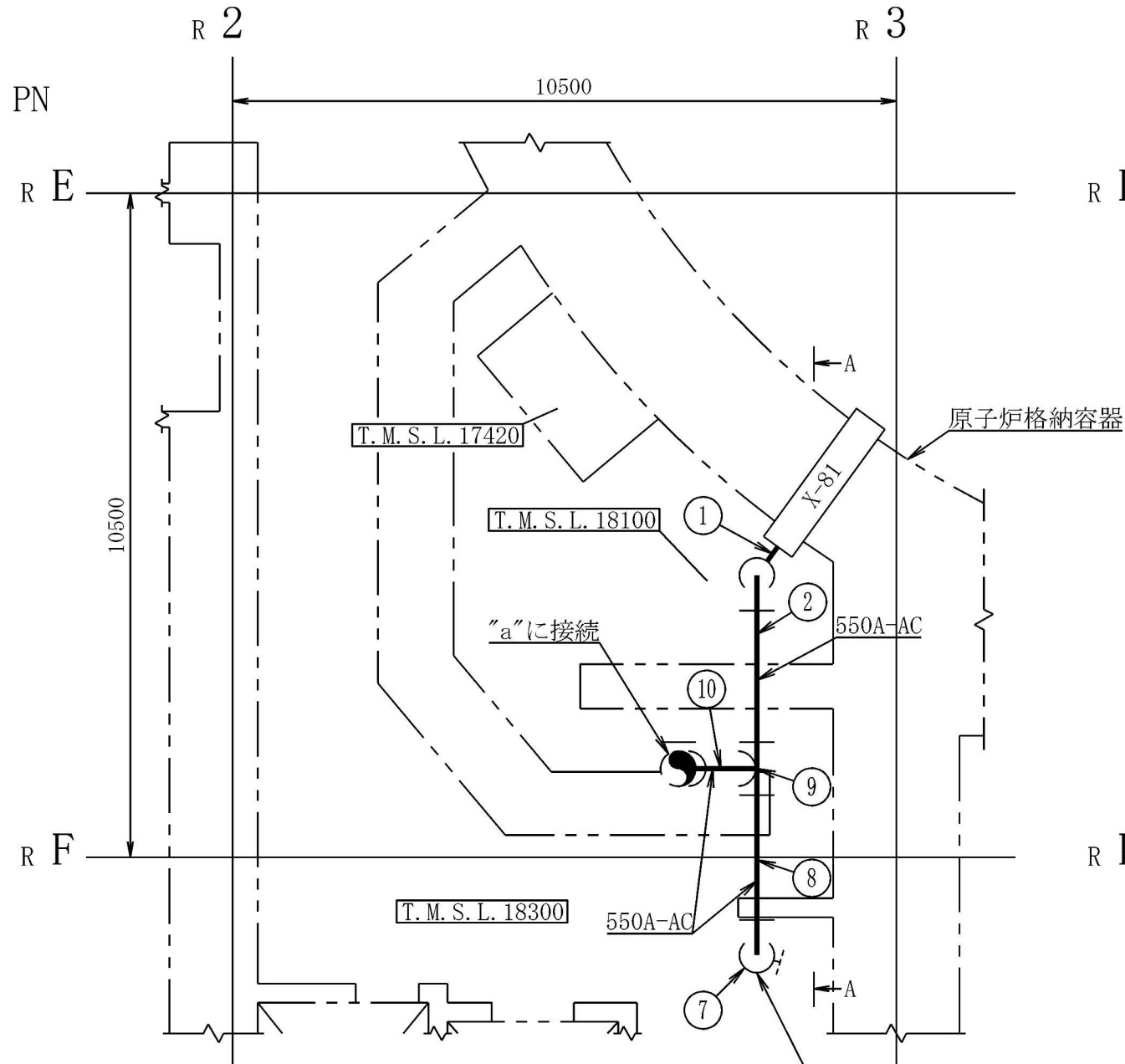
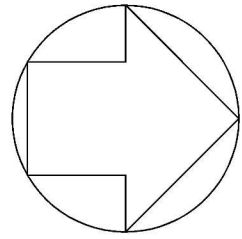
注：寸法はmmを示す。

第8-3-6-1-1-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備(不活性ガス系)に係る機器の配置を明示した図面(その1)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCS	3531



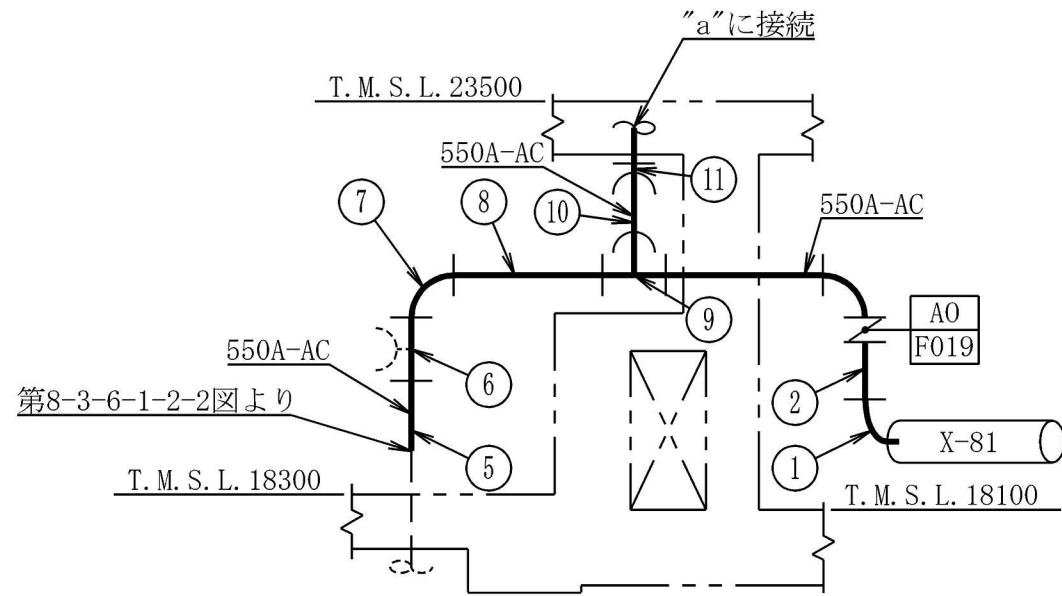
注：寸法はmmを示す。

第8-3-6-1-1-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備(不活性ガス系)に係る機器の配置を明示した図面(その2)
東京電力ホールディングス株式会社	

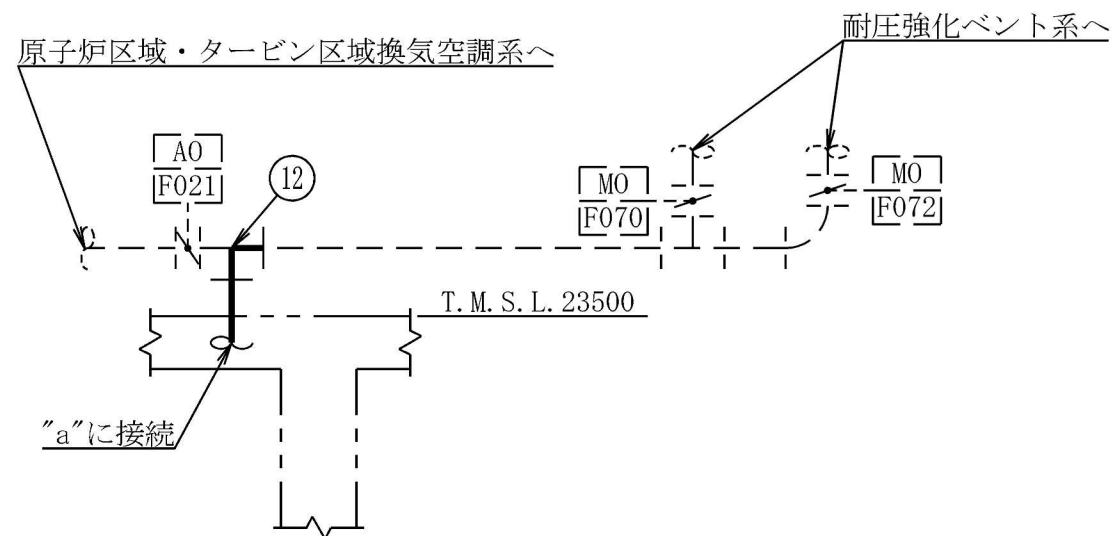


第8-3-6-1-2-2図より

原子炉区域・タービン区域換気空調系へ



A~A矢視図

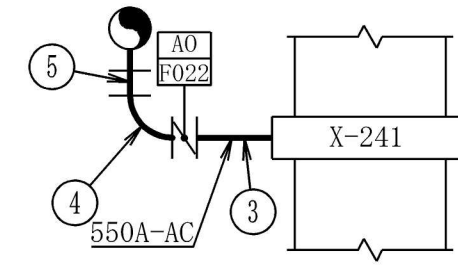
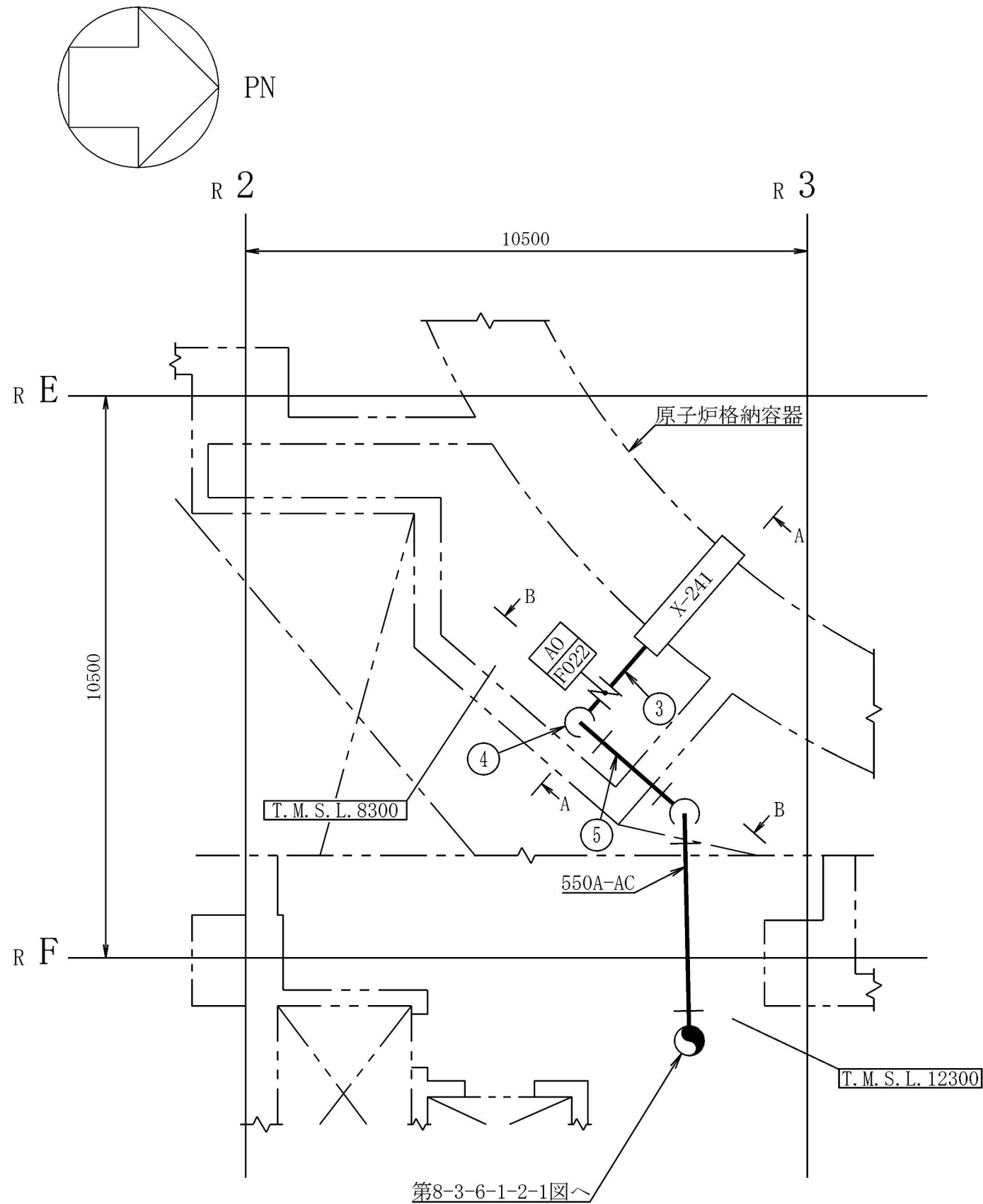


B~B矢視図

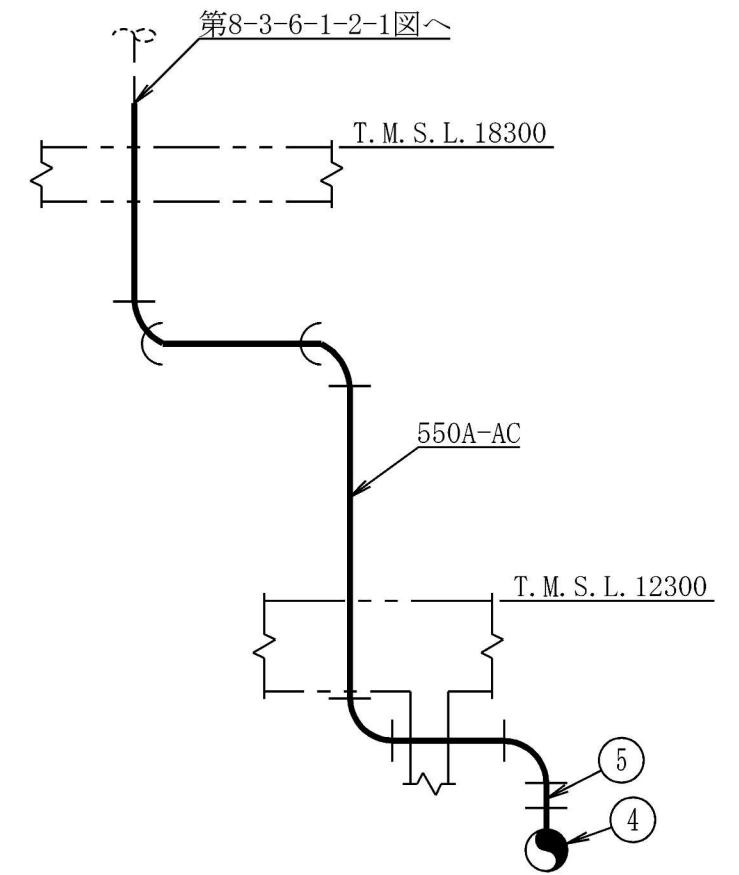
注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-6-1-2-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）に係る主配管の配置を明示した図面（その1）
東京電力ホールディングス株式会社	



A~A矢視図



B~B矢視図

注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-6-1-2-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）に係る主配管の配置を明示した図面（その2）
東京電力ホールディングス株式会社	

第 8-3-6-1-2-1~2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）に係る主配管の配置を明示した図面 別紙 1
 工事計画抜粋

変更前						変更後						*20 NO.	
名称	最高使用圧力	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
不 活 性 ガ ス 系	*1 原子炉区域・タービン区域換気空調系 ～ 不活性ガス系原子炉区域・タービン区域 空調配管合流部	310*2 (kPa)	171	*3, *4, *5 558.8	*4, *5 □ (9.5*3)	*4, *5 SM400C	不 活 性 ガ ス 系	変更なし					—
				558.8*3	*6 (9.5*3)	SM400C*7							—
	*1 不活性ガス系原子炉区域・タービン区域 空調配管合流部 ～ 不活性ガス系 ドライウエル入口配管合流部及び 不活性ガス系 サプレッションチェンバ入口配管合流部	310*2 (kPa)	171	*3, *5 558.8 /558.8 /558.8	*5 □ (9.5*3) □ (9.5*3) □ (9.5*3)	*5 SM400C*5							—
				558.8*3	*6 (9.5*3)	SM400C*7							—
				*3, *4, *5 558.8	*4, *5 □ (9.5*3)	*4, *5 SM400C							—
				558.8*3	*6 (9.5*3)	SM400C*7							—
	*1 不活性ガス系 ドライウエル入口配管合流部及び 不活性ガス系 サプレッションチェンバ入口配管合流部 ～ ドライウエル及び サプレッションチェンバ	310*2 (kPa)	171	*3, *5, *8 61.1	*5, *9 6.9	S25C*5							—
				558.8*3	*6 (9.5*3)	SM400C*7							—
	*10, *11 窒素補給用配管 5, 6 号機取合点 ～ T31-F010	1.77*2 (MPa)	66	*3, *5, *8 61.1	*5, *9 6.9	S25C*5							—
				558.8*3	*6 (9.5*3)	SM400C*7							—
	*11 T31-F010 ～ 不活性ガス系 ドライウエル入口配管合流部及び 不活性ガス系 サプレッションチェンバ入口配管合流部 (次頁へ続く)	310*2 (kPa)	171	60.5*3	5.5*3	STS410*13							—
				*3, *5, *8 61.1 /61.1 /61.1	*5, *9 6.9 /6.9 /6.9	S25C*5							—
				*3, *5, *8 61.1 /61.1	*5, *9 6.9 /6.9	S25C*5							—
				61.1 / —	6.9 / —	S25C*5							—

K6 ① 8-3-6-1-2-1~2 R0

変更前						変更後					*20 NO.	
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)		材料
不 活 性 ガ ス 系	(前頁からの続き)	310*2 (kPa)	171	*3, *4, *5, *8 61.1	*4, *5, *9 6.9	*4, *5 S25C	不 活 性 ガ ス 系	変 更 な し	変 更 な し	変 更 な し	変 更 な し	—
			104	60.5*3	5.5*3	STS410*13						—
			*3, *4, *5, *8 61.1	*4, *5, *9 6.9	*4, *5 S25C	—						
	窒素ページ用配管 5, 6号機取合点 ～ T31-F016	0.86*2 (MPa)	66	318.5*3	10.3*3	STPT370*12						—
				318.5*3	10.3*3	STPT38						—
				406.4*3	□*6(9.5*3)	SM400C*7						—
	T31-F016 ～ 不活性ガス系原子炉区域・タービン区域 空調配管合流部	310*2 (kPa)	171	406.4*3	□*6(9.5*3)	SM400C*7						—
				*3, *4, *5 406.4	□(9.5*3)	*4, *5 SM400C						—
				*3, *5 558.8 /406.4	□(9.5*3) □(9.5*3)	*5 SM400C*5						—
	ドライウエル ～ ドライウエル・サプレッション チェンバ合流部	310*2 (kPa)	171	*3, *4, *5 558.8	□(9.5*3)	*4, *5 SM400C						1
				558.8*3	□*6(9.5*3)	SM400C*7						2
	サプレッションチェンバ ～ 不活性ガス系 非常用ガス処理配管分岐部	310*2 (kPa)	104	558.8*3	□*6(9.5*3)	SM400C*7						3
			171	*3, *4, *5 558.8	□(9.5*3)	*4, *5 SM400C						4
				558.8*3	□*6(9.5*3)	SM400C*7						5
				*3, *5 558.8 /558.8 /406.4	□(9.5*3) □(9.5*3) □(9.5*3)	*5 SM400C*5						6
不活性ガス系 非常用ガス処理配管分岐部 ～ ドライウエル・サプレッション チェンバ合流部	310*2 (kPa)	171	*3, *4, *5 558.8	□(9.5*3)	*4, *5 SM400C	7						
			558.8*3	□*6(9.5*3)	SM400C*7	8						

変更前						変更後						*20 NO.	
名称	最高使用圧	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
不活性ガス系	*15 ドライウエル・サブプレッション チェンバ合流部 ～ 耐圧強化ベントライン分岐部	310*2 (kPa)	171	*3, *5 558.8	*5 □ (9.5*3)	SM400C*5	*18 ドライウエル・サブプレッション チェンバ合流部 ～ 耐圧強化ベントライン分岐部	変更なし 620*17	変更なし 200*17	変更なし	変更なし	9	
				558.8*3	*6 (9.5*3)							SM400C*7	10
				*3, *4, *5 558.8	*4, *5 □ (9.5*3)							*4, *5 SM400C	11
				*3, *5 558.8 /558.8 /558.8	*5 □ (9.5*3) □ (9.5*3) □ (9.5*3)							SM400C*5	12
	*19 不活性ガス系 非常用ガス処理配管分岐部 ～ T31-F020	310*2 (kPa)	171	*3, *4, *5 406.4	*4, *5 □ (9.5*3)	*4, *5 SM400C		不活性ガス系	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	—
				406.4*3	*6 (9.5*3)	SM400C*7							—
				*3, *5 406.4 /267.4	*3, *5 9.5 /9.3	*5 STS410							—
				267.4*3	9.3*3	*13 STS410							—
			*3, *4, *5 267.4	*3, *4, *5 9.3	*4, *5 STS410							—	

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉区域・タービン区域換気空調系よりドライウエル及びサブプレッションチェンバまで」と記載。

*2 : SI 単位に換算したものである。

*3 : 公称値を示す。

*4 : エルボを示す。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成 4 年 10 月 13 日付け 4 資庁第 8732 号にて認可された工事計画の IV-3-5-2-1-1 「管の基本板厚計算書」による。

*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41C」と記載。記載内容は、設計図書による。

*8 : 差込み継手の差込み部内径を示す。

*9 : 差込み継手の最小厚さを示す。

*10 : 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素補給用配管 第 5 号機不活性ガス系より原子炉格納容器入口配管まで」と記載。

*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。

*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。記載内容は、設計図書による。

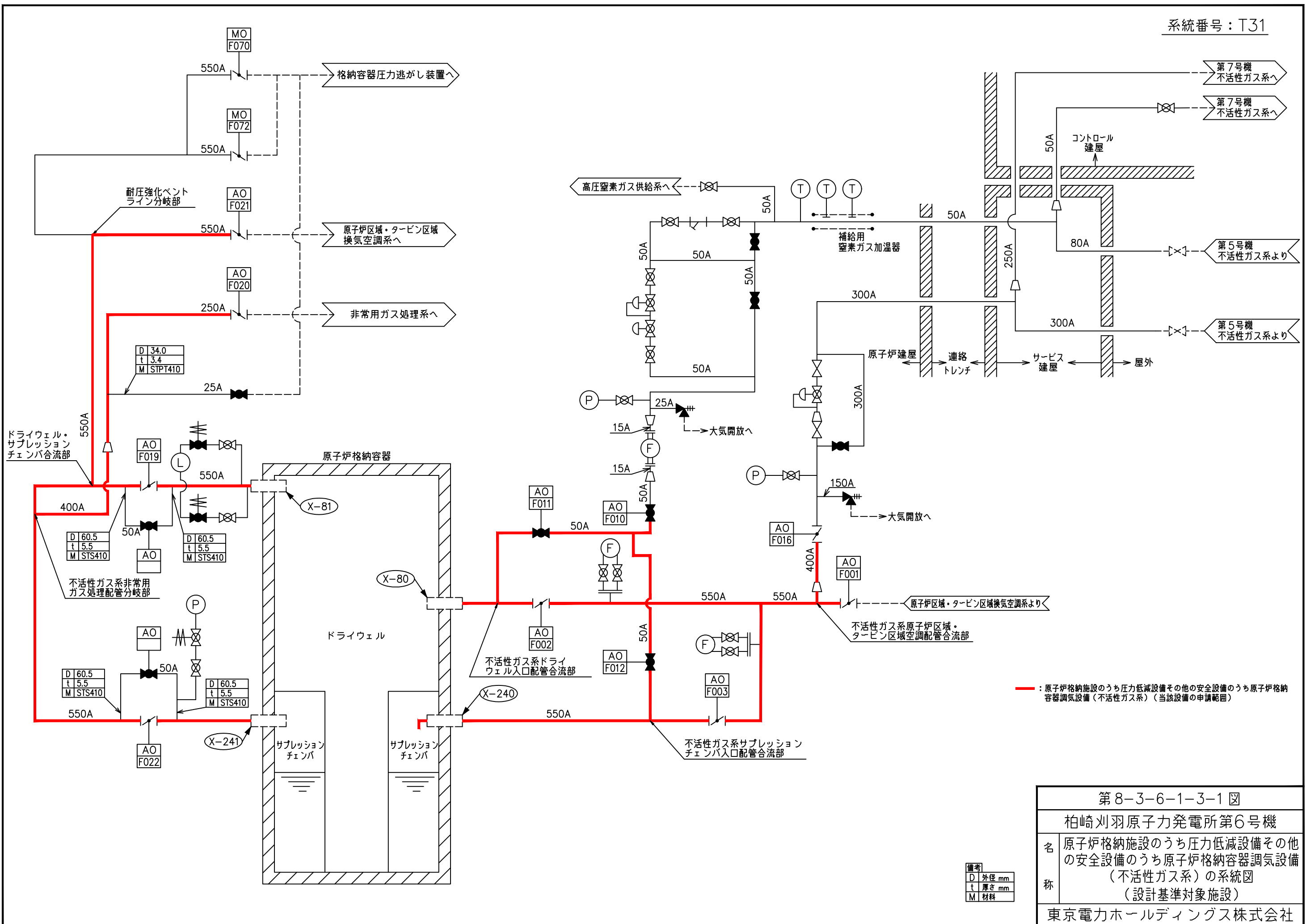
*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素パージ用配管 第 5 号機不活性ガス系より原子炉格納容器入口配管まで」と記載。

*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエル及びサブプレッションチェンバから原子炉区域・タービン区域換気空調系へ」と記載。

*16 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系、格納容器圧力逃がし装置）並びに圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。

*17 : 重大事故等時における使用時の値。

- *18：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系，格納容器圧力逃がし装置）並びに圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系，格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。
- *19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器出口配管から非常用ガス処理系へ」と記載。
- *20：第 8-3-6-1-2-1～2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）に係る主配管の配置を明示した図面に記載の丸番号を示す。



— : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）（当該設備の申請範囲）

第8-3-6-1-3-1 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器調気設備（不活性ガス系）の系統図（設計基準対象施設）
称	東京電力ホールディングス株式会社

備考	
D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料